

地域福祉に係るアンケート調査結果報告書

(市民（18歳以上）、民生委員・児童委員）

令和5年3月
西東京市

目次

I	調査概要.....	1
	1. 調査の目的	1
	2. 調査設計	1
	3. 回答結果	1
	4. 報告書の見方	2
	5. 標本誤差	3
II	市民調査結果.....	4
	1. あなた（ご本人）のことについて	4
	2. 近所付き合いや地域の暮らしについて	13
	3. 地域での活動について	43
	4. 福祉について	57
	5. 「ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）」について	82
	6. これからの取組について	84
III	民生委員・児童委員調査結果.....	100
	1. 活動について	100
	2. 担当地区について	104
	3. 福祉について	116
	4. 「ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）」について	129
	5. これからの取組について	131
IV	経年比較.....	142
	1. 一般市民	142
	2. 民生委員・児童委員	153

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、令和5年度に「第5期地域福祉計画」を策定するに当たり、市民及び民生委員・児童委員の皆様から、近所付き合いやボランティア活動、地域福祉活動等に関する状況や意向などをお聞きし、今後の計画策定に反映するため、実施しました。

2. 調査設計

種類	①一般市民	②民生委員・児童委員
対象	市内在住の18歳以上市民より無作為抽出	全民生委員・児童委員
配付・回答	調査票の郵送配付 調査票の郵送回答／専用WEBサイトからインターネット回答（回答者選択）	調査票の郵送配付 調査票の郵送回答／専用WEBサイトからインターネット回答（回答者選択）
調査期間	令和4年12月14日～同月28日	令和4年11月25日～翌月28日

3. 回答結果

種類	①一般市民	②民生委員・児童委員	合計
配付	2,500件	146件	2,646件
回答	1,020件 (郵送785件) (WEB235件)	130件 (郵送115件) (WEB15件)	1,150件 (郵送900件) (WEB250件)
回答率	40.8%	89.0%	43.5%

<①一般市民：配付数に対する回答率内訳>

区分	配付数 (件)	回答数 (件)	回答率 (%)
男性	1,223	429	35.1
女性	1,277	562	44.0
18～29歳	380	62	16.3
30～39歳	349	123	35.2
40～49歳	435	169	38.9
50～59歳	461	200	43.4
60～69歳	324	165	50.9
70歳以上	551	287	52.1

区分	配付数 (件)	回答数 (件)	回答率 (%)	区分	配付数 (件)	回答数 (件)	回答率 (%)
田無町	169	56	33.1	保谷町	152	54	35.5
南町	154	71	46.1	富士町	141	53	37.6
西原町	85	35	41.2	中町	92	41	44.6
緑町	45	16	35.6	東町	106	43	40.6
谷戸町	170	83	48.8	泉町	108	34	31.5
北原町	53	20	37.7	住吉町	87	40	46.0
向台町	179	74	41.3	ひばりが丘	121	55	45.5
芝久保町	246	92	37.4	ひばりが丘北	58	20	34.5
新町	108	55	50.9	栄町	53	20	37.7
柳沢	138	49	35.5	北町	71	21	29.6
東伏見	61	33	54.1	下保谷	103	40	38.8

4. 報告書の見方

- 図表の「n (number of case)」は、質問項目に対する回答者数を表しています。
- 回答比率は百分率 (%) で表し、小数点第2位を四捨五入して算出するため、合計が100.0%にならない場合があります。
- 質問項目に (○は3つ) などがある場合は、1人の回答者が複数の選択肢に回答することができる質問であるため、すべての回答比率を合計すると100.0%を超えます。
- クロス集計表は分析軸となる設問の「無回答」を非表示にしているため、分析軸のn (回答者数) の合計が全体の合計と一致しない場合があります。
- 自由記述の意見については、主な意見 (原文) を抜粋して掲載しています。なお、誤字や脱字と思われる表記、固有名詞に関しては、内容に影響を及ぼさない範囲で修正しています。

5. 標本誤差

本調査の結果は、調査対象となる母集団（全市民）から一部の方を抽出して実施した調査（標本調査）であるため、対象となる母集団（18歳以上の市民）に当てはめる際、若干の誤差（標本誤差）が生じる可能性があります。

この誤差は、選択肢の回答割合ごとに異なるもので、詳細は下表のとおりです。表の見方は、「全体」のグラフで、一つの選択肢に対し、回答が「50%前後」であった場合、その回答の母集団に対する誤差の範囲は「±3.1%」、つまり、50%の回答を母集団に当てはめると53.1～46.9%の可能性が推定されるとみます。

属性毎で誤差は異なります。全体及び性別と比較すると、年齢別の誤差が大きくなるため、調査結果の取扱いに留意が必要です。

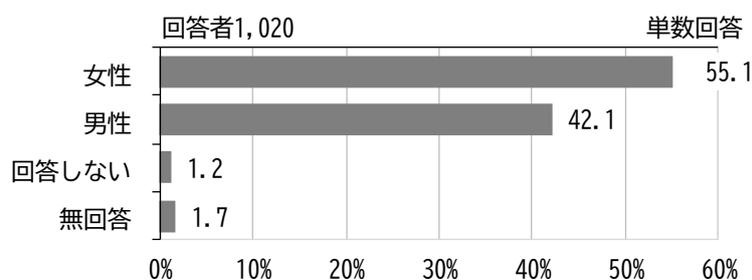
	標本数 (回答数) (件)	99%または 1%前後	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
全体	1,020	0.6%	1.8%	2.4%	2.8%	3.0%	3.1%
男性	429	0.9%	2.8%	3.8%	4.3%	4.6%	4.7%
女性	562	0.8%	2.5%	3.3%	3.8%	4.0%	4.1%
18～29歳	62	2.5%	7.5%	9.9%	11.4%	12.2%	12.4%
30～39歳	123	1.8%	5.3%	7.1%	8.1%	8.6%	8.8%
40～49歳	169	1.5%	4.5%	6.0%	6.9%	7.4%	7.5%
50～59歳	200	1.4%	4.1%	5.5%	6.3%	6.8%	6.9%
60～64歳	98	2.0%	5.9%	7.9%	9.0%	9.7%	9.9%
65～69歳	67	2.4%	7.2%	9.5%	10.9%	11.7%	11.9%
70～74歳	97	2.0%	5.9%	7.9%	9.1%	9.7%	9.9%
75～79歳	74	2.3%	6.8%	9.1%	10.4%	11.1%	11.3%
80歳以上	116	1.8%	5.4%	7.3%	8.3%	8.9%	9.1%

II 市民調査結果

1. あなた（ご本人）のことについて

問1 性別を教えてください。（1つに○）

性別を教えてくださいについて、「女性」（55.1%）が最も多く、次いで「男性」（42.1%）、「回答しない」（1.2%）となっています。



年齢別にみると、65～69歳は「男性」と「女性」が同率となっていますが、そのほかの年齢では「女性」が最も多くなっています。

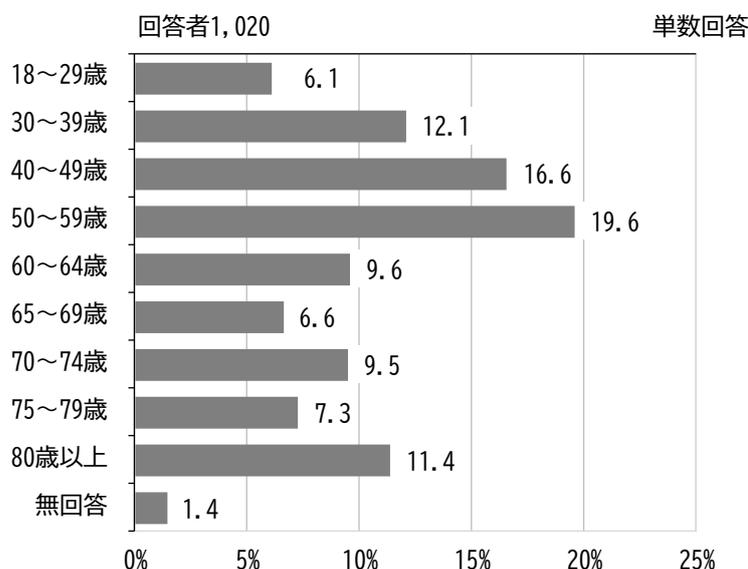
圏域別にみると、すべての圏域で「女性」が最も多くなっています。

(%)

		男性	女性	回答しない	無回答
各項目1位に網掛					
年齢	18～29歳 (n=62)	35.5	58.1	6.5	0.0
	30～39歳 (n=123)	33.3	66.7	0.0	0.0
	40～49歳 (n=169)	44.4	53.8	1.8	0.0
	50～59歳 (n=200)	47.5	50.5	1.5	0.5
	60～64歳 (n=98)	41.8	56.1	1.0	1.0
	65～69歳 (n=67)	49.3	49.3	0.0	1.5
	70～74歳 (n=97)	45.4	54.6	0.0	0.0
	75～79歳 (n=74)	40.5	59.5	0.0	0.0
	80歳以上 (n=116)	41.4	56.9	0.9	0.9
圏域	西部地区 (n=281)	45.2	53.7	1.1	0.0
	北東部地区 (n=238)	41.6	57.1	0.8	0.4
	中部地区 (n=204)	40.2	56.4	2.0	1.5
	南部地区 (n=282)	42.9	56.0	1.1	0.0

問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年9月1日現在)

年齢を教えてくださいについて、「50～59歳」(19.6%)が最も多く、次いで「40～49歳」(16.6%)、「30～39歳」(12.1%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「50～59歳」が最も多くなっています。

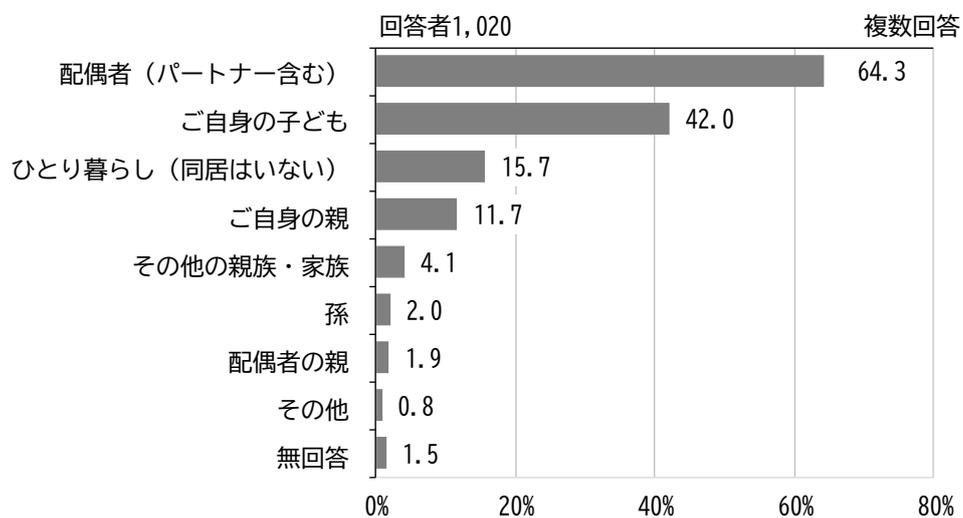
圏域別にみても、すべての圏域で「50～59歳」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		1 8 5 2 9 歳	3 0 3 9 歳	4 0 4 9 歳	5 0 5 9 歳	6 0 6 4 歳	6 5 6 9 歳	7 0 7 4 歳	7 5 7 9 歳	8 0 歳 以上	無 回 答
性別	男性 (n=429)	5.1	9.6	17.5	22.1	9.6	7.7	10.3	7.0	11.2	0.0
	女性 (n=562)	6.4	14.6	16.2	18.0	9.8	5.9	9.4	7.8	11.7	0.2
圏域	西部地区 (n=281)	5.0	15.3	16.4	18.1	11.0	6.4	9.3	6.4	12.1	0.0
	北東部地区 (n=238)	6.3	12.2	15.5	21.0	10.9	7.1	8.4	6.3	12.2	0.0
	中部地区 (n=204)	8.3	11.3	16.7	18.1	7.8	6.4	11.3	9.8	10.3	0.0
	南部地区 (n=282)	5.7	9.9	18.1	22.0	8.9	6.7	9.6	7.4	11.3	0.4

問3 同居している方を教えてください。(いくつでも○)

同居している方を教えてくださいについて、「配偶者（パートナー含む）」（64.3%）が最も多く、次いで「ご自身の子ども」（42.0%）、「ひとり暮らし（同居はいない）」（15.7%）となっています。



性別にみると、すべての区分で「配偶者（パートナー含む）」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「ご自身の親」、30～39歳以上は「配偶者（パートナー含む）」が最も多くなっています。

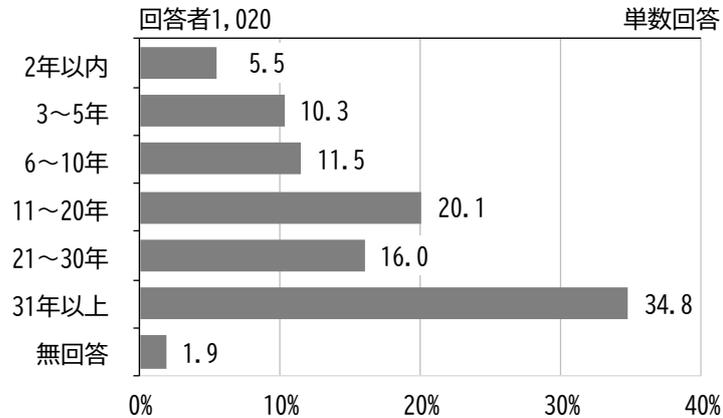
圏域別にみると、すべての圏域で「配偶者（パートナー含む）」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		ひとり暮らし（同居はいない）	配偶者（パートナー含む）	ご自身の子ども	ご自身の親	配偶者の親	孫	その他の親族・家族	その他	無回答
性別	男性 (n=429)	18.6	66.7	37.1	11.4	2.3	1.4	3.0	0.2	0.2
	女性 (n=562)	14.1	64.6	46.6	11.0	1.6	2.5	5.0	0.9	0.4
年齢	18～29歳 (n=62)	12.9	11.3	6.5	69.4	0.0	0.0	29.0	0.0	1.6
	30～39歳 (n=123)	12.2	65.0	53.7	17.9	2.4	0.0	4.9	0.8	0.8
	40～49歳 (n=169)	11.2	76.3	66.3	10.1	5.9	0.0	1.2	0.0	0.0
	50～59歳 (n=200)	15.0	71.5	50.0	11.5	2.0	0.5	1.0	1.5	0.0
	60～64歳 (n=98)	12.2	76.5	36.7	9.2	0.0	3.1	1.0	0.0	1.0
	65～69歳 (n=67)	11.9	73.1	34.3	4.5	1.5	1.5	6.0	0.0	0.0
	70～74歳 (n=97)	18.6	75.3	29.9	1.0	1.0	3.1	2.1	0.0	0.0
	75～79歳 (n=74)	21.6	62.2	28.4	0.0	0.0	5.4	2.7	0.0	0.0
80歳以上 (n=116)	28.4	45.7	31.0	0.0	0.0	6.9	4.3	2.6	0.0	
圏域	西部地区 (n=281)	16.0	65.8	45.6	10.3	2.8	2.5	3.6	0.4	0.0
	北東部地区 (n=238)	13.9	70.2	41.2	11.3	0.8	2.1	3.8	1.7	0.4
	中部地区 (n=204)	16.7	58.3	35.3	14.7	1.5	1.0	5.4	0.5	0.5
	南部地区 (n=282)	16.3	65.6	46.1	11.0	2.1	2.1	4.3	0.4	0.4

問4 市内での居住年数（市外への転居期間を除く通算年数）を教えてください。（1つに○）

市内での居住年数（市外への転居期間を除く通算年数）を教えてくださいについて、「31年以上」（34.8%）が最も多く、次いで「11～20年」（20.1%）、「21～30年」（16.0%）となっています。



性別にみると、すべての区分で「31年以上」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳、40～49歳、50～59歳は「11～20年」、30～39歳は「3～5年」、60～64歳以上は「31年以上」が最も多くなっています。

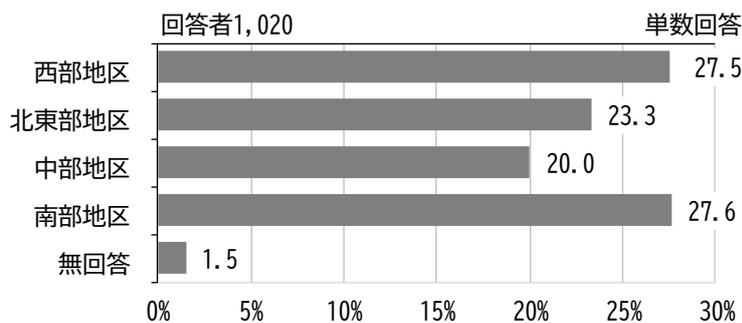
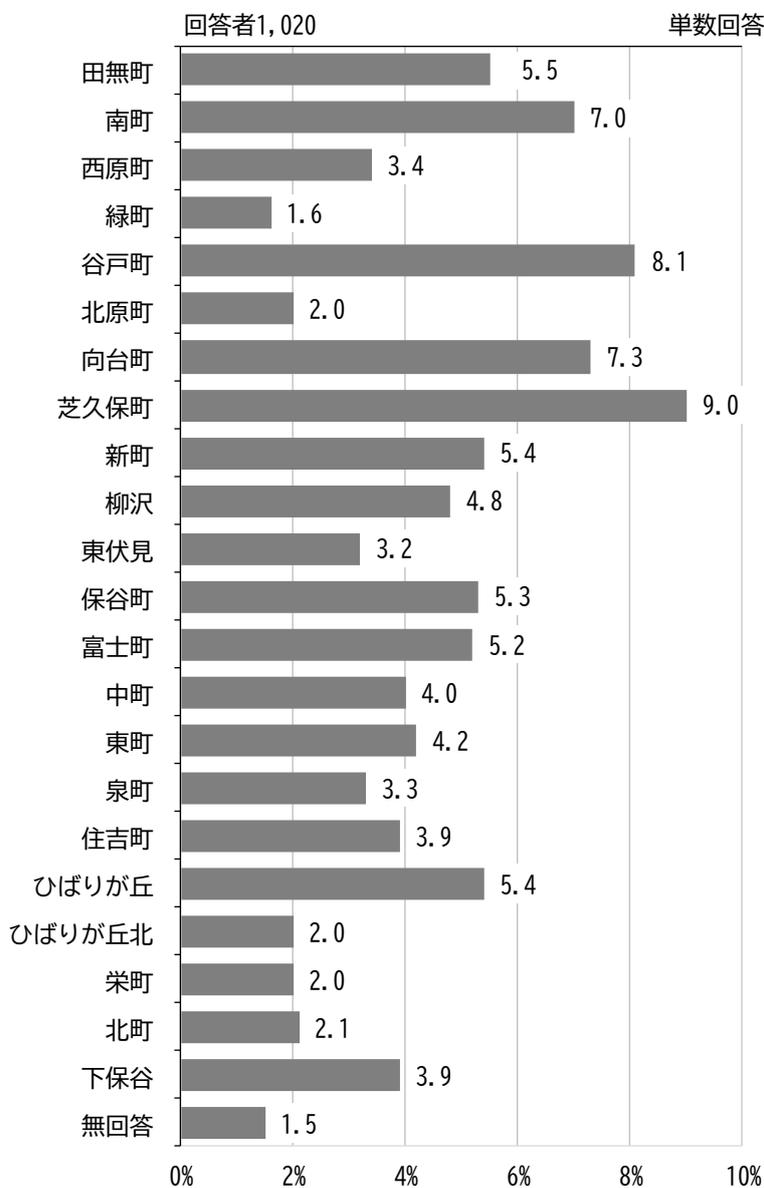
圏域別にみると、すべての圏域で「31年以上」が最も多くなっています。

		(%)						
各項目1位に網掛		2年以内	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31年以上	無回答
性別	男性 (n=429)	6.1	11.0	12.4	21.9	14.0	34.3	0.5
	女性 (n=562)	4.8	10.3	11.2	19.2	17.4	36.3	0.7
年齢	18～29歳 (n=62)	11.3	8.1	9.7	46.8	24.2	0.0	0.0
	30～39歳 (n=123)	13.8	32.5	26.0	8.9	6.5	12.2	0.0
	40～49歳 (n=169)	6.5	15.4	21.3	39.6	7.7	9.5	0.0
	50～59歳 (n=200)	4.5	9.0	9.0	26.5	24.0	26.0	1.0
	60～64歳 (n=98)	5.1	5.1	8.2	13.3	23.5	43.9	1.0
	65～69歳 (n=67)	3.0	7.5	6.0	11.9	20.9	50.7	0.0
	70～74歳 (n=97)	1.0	1.0	6.2	9.3	17.5	63.9	1.0
	75～79歳 (n=74)	2.7	2.7	1.4	8.1	12.2	71.6	1.4
80歳以上 (n=116)	1.7	2.6	5.2	7.8	12.9	69.0	0.9	
圏域	西部地区 (n=281)	6.0	10.0	10.0	23.1	13.5	37.0	0.4
	北東部地区 (n=238)	6.7	11.8	11.3	17.6	18.5	33.2	0.8
	中部地区 (n=204)	5.9	9.8	12.3	17.6	14.2	39.7	0.5
	南部地区 (n=282)	3.9	10.3	13.1	22.0	18.1	31.9	0.7

問5 現在、お住まいの地区を教えてください。(1つに○)

現在、お住まいの地区を教えてくださいについて、「芝久保町」(9.0%)が最も多く、次いで「谷戸町」(8.1%)、「向台町」(7.3%)となっています。

圏域別では、西部地区、南部地区が2割台後半、北東部地区、中部地区は2割台前半となっています。



性別にみると、男性は「西部地区」、女性は「南部地区」が最も多くなっています。

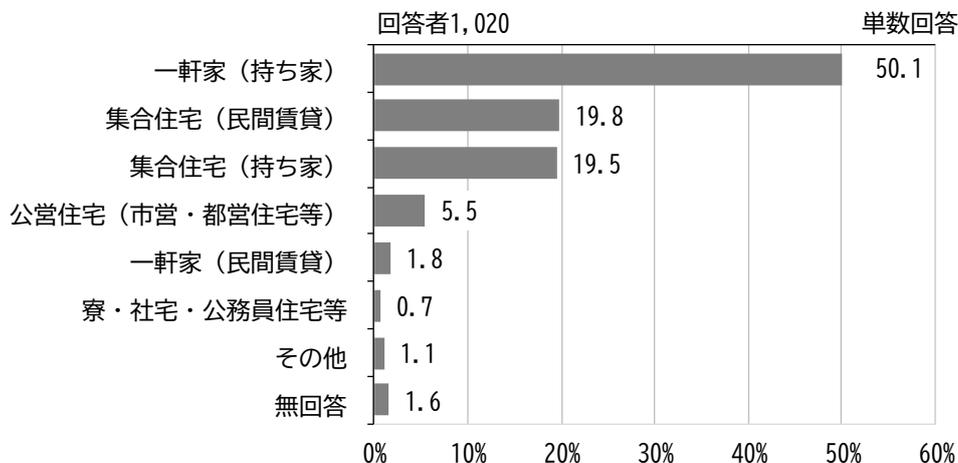
年齢別にみると、18～29歳は「中部地区」、30～39歳、60～64歳、80歳以上は「西部地区」、40～49歳、50～59歳、65～69歳以上（80歳以上を除く）は「南部地区」が最も多くなっています。

(%)

		西部 地区	北 東 部 地 区	中 部 地 区	南 部 地 区	無 回 答
各項目1位に網掛						
性別	男性 (n=429)	29.6	23.1	19.1	28.2	0.0
	女性 (n=562)	26.9	24.2	20.5	28.1	0.4
年齢	18～29歳 (n=62)	22.6	24.2	27.4	25.8	0.0
	30～39歳 (n=123)	35.0	23.6	18.7	22.8	0.0
	40～49歳 (n=169)	27.2	21.9	20.1	30.2	0.6
	50～59歳 (n=200)	25.5	25.0	18.5	31.0	0.0
	60～64歳 (n=98)	31.6	26.5	16.3	25.5	0.0
	65～69歳 (n=67)	26.9	25.4	19.4	28.4	0.0
	70～74歳 (n=97)	26.8	20.6	23.7	27.8	1.0
	75～79歳 (n=74)	24.3	20.3	27.0	28.4	0.0
80歳以上 (n=116)	29.3	25.0	18.1	27.6	0.0	

問6 現在の住居形態を教えてください。(1つに○)

現在の住居形態を教えてくださいについて、「一軒家（持ち家）」（50.1%）が最も多く、次いで「集合住宅（民間賃貸）」（19.8%）、「集合住宅（持ち家）」（19.5%）となっています。

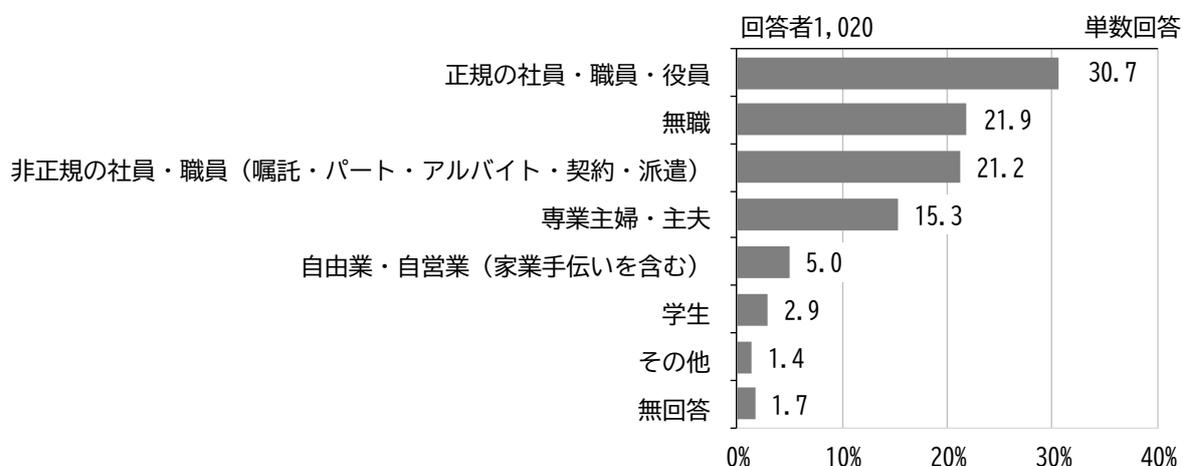


性別にみると、すべての区分で「一軒家（持ち家）」が最も多くなっています。
 年齢別にみても、すべての年齢で「一軒家（持ち家）」が最も多くなっています。
 圏域別にみても、すべての圏域で「一軒家（持ち家）」が最も多くなっています。

各項目1位に網掛		一軒家（持ち家）	集合住宅（持ち家）	一軒家（民間賃貸）	集合住宅（民間賃貸）	公営住宅（市営・都営住宅等）	寮・社宅・公務員住宅等	その他	無回答
性別	男性 (n=429)	46.2	22.4	1.6	22.1	6.1	0.7	0.7	0.2
	女性 (n=562)	54.1	17.8	2.0	18.5	5.2	0.7	1.4	0.4
年齢	18～29歳 (n=62)	53.2	14.5	1.6	24.2	4.8	1.6	0.0	0.0
	30～39歳 (n=123)	38.2	16.3	2.4	33.3	4.9	1.6	2.4	0.8
	40～49歳 (n=169)	42.6	26.0	3.6	21.9	3.0	1.8	0.6	0.6
	50～59歳 (n=200)	48.5	21.0	1.0	24.0	2.5	0.5	2.5	0.0
	60～64歳 (n=98)	45.9	26.5	0.0	17.3	8.2	0.0	1.0	1.0
	65～69歳 (n=67)	55.2	26.9	0.0	10.4	7.5	0.0	0.0	0.0
	70～74歳 (n=97)	54.6	19.6	1.0	13.4	11.3	0.0	0.0	0.0
	75～79歳 (n=74)	66.2	14.9	2.7	13.5	2.7	0.0	0.0	0.0
80歳以上 (n=116)	67.2	7.8	2.6	12.1	9.5	0.0	0.9	0.0	
圏域	西部地区 (n=281)	39.9	38.1	1.1	13.5	5.7	1.1	0.4	0.4
	北東部地区 (n=238)	60.9	10.5	1.7	21.8	3.4	0.8	0.4	0.4
	中部地区 (n=204)	53.9	11.3	2.9	26.5	4.4	0.0	1.0	0.0
	南部地区 (n=282)	51.1	15.2	1.8	20.2	8.2	0.7	2.5	0.4

問7 現在の職業を教えてください。(1つに○)

現在の職業を教えてくださいについて、「正規の社員・職員・役員」(30.7%)が最も多く、次いで「無職」(21.9%)、「非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)」(21.2%)となっています。



性別にみると、男性は「正規の社員・職員・役員」、女性は「非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「学生」、30～39歳から50～59歳までは「正規の社員・職員・役員」、60～64歳、65～69歳は「非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)」、70～74歳以上は「無職」が最も多くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「正規の社員・職員・役員」が最も多くなっています。

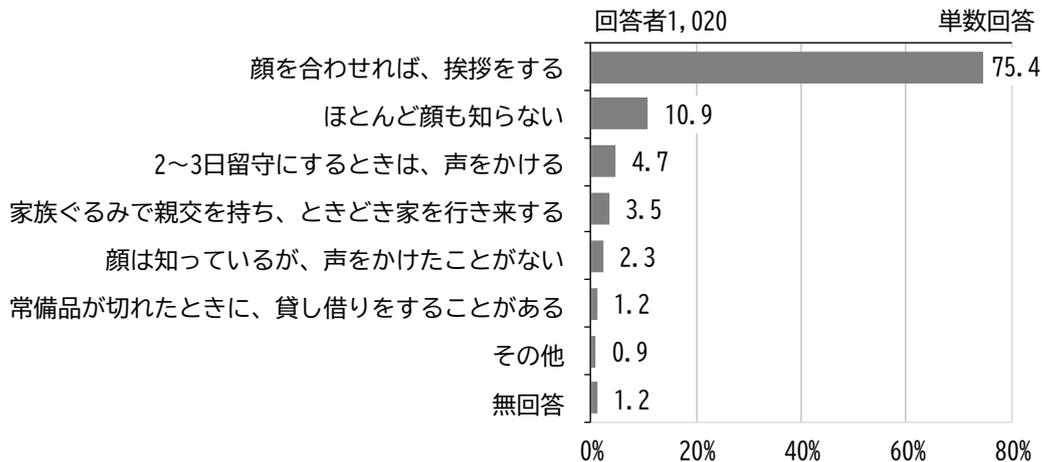
(%)

各項目1位に網掛		正規の社員・職員・役員	非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)	自由業・自営業(家業手伝いを含む)	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
性別	男性 (n=429)	46.6	13.5	5.6	0.7	2.3	29.4	1.6	0.2
	女性 (n=562)	18.9	27.8	4.6	27.0	3.6	16.7	1.1	0.4
年齢	18～29歳 (n=62)	29.0	17.7	0.0	0.0	48.4	3.2	1.6	0.0
	30～39歳 (n=123)	60.2	14.6	4.9	10.6	0.0	7.3	2.4	0.0
	40～49歳 (n=169)	55.0	22.5	4.1	12.4	0.0	4.1	1.2	0.6
	50～59歳 (n=200)	48.5	27.5	5.5	10.0	0.0	7.0	1.0	0.5
	60～64歳 (n=98)	24.5	37.8	8.2	17.3	0.0	12.2	0.0	0.0
	65～69歳 (n=67)	7.5	34.3	4.5	22.4	0.0	31.3	0.0	0.0
	70～74歳 (n=97)	2.1	21.6	9.3	25.8	0.0	39.2	2.1	0.0
	75～79歳 (n=74)	0.0	14.9	4.1	23.0	0.0	56.8	0.0	1.4
	80歳以上 (n=116)	0.0	0.9	3.4	24.1	0.0	67.2	3.4	0.9
圏域	西部地区 (n=281)	33.8	20.6	3.2	16.4	2.5	21.0	1.8	0.7
	北東部地区 (n=238)	30.7	19.7	8.4	16.8	2.5	20.6	1.3	0.0
	中部地区 (n=204)	28.4	23.0	5.9	15.7	3.9	21.1	1.0	1.0
	南部地区 (n=282)	30.9	22.3	3.5	13.1	3.2	25.5	1.4	0.0

2. 近所付き合いや地域の暮らしについて

問8 ふだん、近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか。(主なもの1つに○)

ふだん、近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますかについて、「顔を合わせれば、挨拶をする」(75.4%)が最も多く、次いで「ほとんど顔も知らない」(10.9%)、「2～3日留守にするときは、声をかける」(4.7%)となっています。



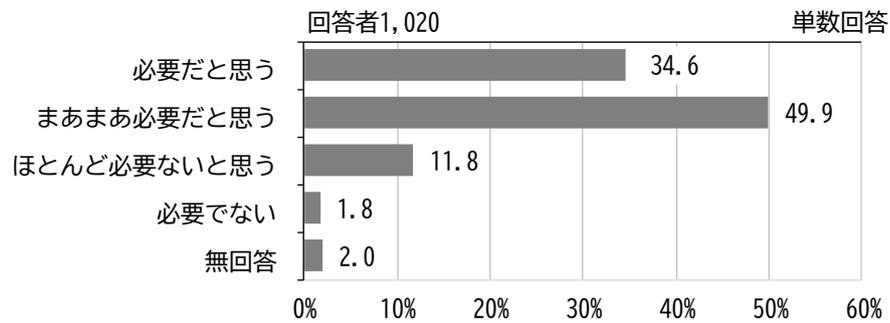
性別にみると、すべての区分で「顔を合わせれば、挨拶をする」が最も多くなっています。年齢別にみても、すべての年齢で「顔を合わせれば、挨拶をする」が最も多くなっています。

圏域別にみても、すべての圏域で「顔を合わせれば、挨拶をする」が最も多くなっています。

各項目1位に網掛			(%)							
性別	年齢	圏域	なほ いと んど 顔も 知ら	とが 顔 が、 は な 声 知 い を か て け い た こ	顔 を 合 わ せ れ ば、 あ い さ つ を す る	2 と き 3 は 日 、 留 守 を に か す	す き 常 備 品 が 切 れ た と き に 貸 し 借 り を す る	家 を 持 ち 、 く る み で 親 交 を す る	そ の 他	無 回 答
性別	男性 (n=429)		12.8	2.6	77.2	3.3	0.9	2.3	0.9	0.0
	女性 (n=562)		9.3	2.1	76.0	6.0	1.4	4.4	0.7	0.0
年齢	18～29歳 (n=62)		19.4	6.5	72.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=123)		22.8	2.4	70.7	1.6	0.0	2.4	0.0	0.0
	40～49歳 (n=169)		11.8	1.2	80.5	2.4	1.8	2.4	0.0	0.0
	50～59歳 (n=200)		12.0	2.5	79.0	2.5	1.0	2.0	1.0	0.0
	60～64歳 (n=98)		5.1	1.0	83.7	3.1	0.0	7.1	0.0	0.0
	65～69歳 (n=67)		9.0	1.5	79.1	6.0	0.0	1.5	3.0	0.0
	70～74歳 (n=97)		6.2	5.2	74.2	10.3	1.0	2.1	1.0	0.0
	75～79歳 (n=74)		5.4	0.0	64.9	16.2	4.1	6.8	2.7	0.0
80歳以上 (n=116)		5.2	1.7	74.1	6.0	2.6	8.6	1.7	0.0	
圏域	西部地区 (n=281)		7.5	2.5	80.8	2.8	0.4	5.0	1.1	0.0
	北東部地区 (n=238)		8.8	2.1	79.0	3.8	2.1	2.9	1.3	0.0
	中部地区 (n=204)		14.2	1.5	74.5	4.4	1.0	2.9	1.5	0.0
	南部地区 (n=282)		13.8	2.8	70.9	7.8	1.4	3.2	0.0	0.0

問9 あなたは、地域での人との付き合いや関わりが必要だと考えますか。(1つに○)

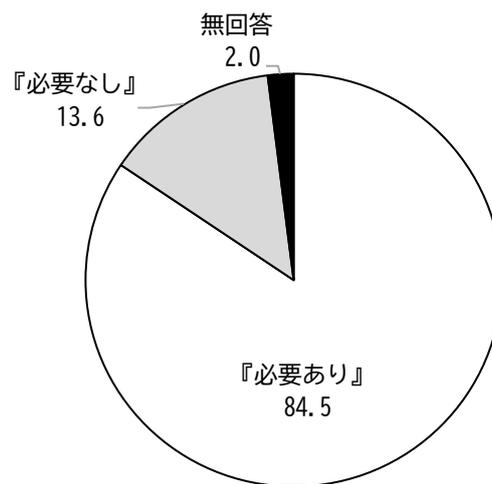
あなたは、地域での人との付き合いや関わりが必要だと考えますかについて、「まあまあ必要だと思う」(49.9%)が最も多く、次いで「必要だと思う」(34.6%)、「ほとんど必要ないと思う」(11.8%)となっています。



『必要あり』(「必要だと思う」+「まあまあ必要だと思う」の合計)と『必要なし』(「ほとんど必要ないと思う」+「必要でない」の合計)でみると、『必要あり』(84.5%)、『必要なし』(13.6%)となっています。

回答者1,020

単数回答



単位 (%)

性別にみると、すべての区分で「まあまあ必要だと思う」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳から65～69歳までは「まあまあ必要だと思う」、70～74歳以上は「必要だと思う」が最も多くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「まあまあ必要だと思う」が最も多くなっています。

各項目1位に網掛		必要だと思う	まあまあ必要だと思う	ほとんど必要ないと思う	必要でない	無回答	(%)	
							『必要あり』	『必要なし』
性別	男性 (n=429)	35.0	48.3	14.0	2.3	0.5	83.3	16.3
	女性 (n=562)	35.4	52.1	10.3	1.2	0.9	87.5	11.5
年齢	18～29歳 (n=62)	11.3	54.8	25.8	8.1	0.0	66.1	33.9
	30～39歳 (n=123)	20.3	57.7	17.1	4.1	0.8	78.0	21.2
	40～49歳 (n=169)	33.7	49.7	15.4	1.2	0.0	83.4	16.6
	50～59歳 (n=200)	30.5	57.0	10.0	0.5	2.0	87.5	10.5
	60～64歳 (n=98)	35.7	53.1	11.2	0.0	0.0	88.8	11.2
	65～69歳 (n=67)	34.3	50.7	11.9	3.0	0.0	85.0	14.9
	70～74歳 (n=97)	46.4	43.3	7.2	2.1	1.0	89.7	9.3
	75～79歳 (n=74)	58.1	35.1	4.1	1.4	1.4	93.2	5.5
	80歳以上 (n=116)	49.1	43.1	6.9	0.0	0.9	92.2	6.9
圏域	西部地区 (n=281)	31.0	57.3	8.5	1.8	1.4	88.3	10.3
	北東部地区 (n=238)	33.6	52.1	12.6	0.8	0.8	85.7	13.4
	中部地区 (n=204)	39.2	43.1	14.7	2.5	0.5	82.3	17.2
	南部地区 (n=282)	37.2	47.9	12.4	2.1	0.4	85.1	14.5

付問 《問9で「必要だと思う」または「まあまあ必要だと思う」とお答えの方におたずねします》

どのようなときに、地域との関わりの必要性を感じますか。【選択欄】から3つまで選んで、最も必要な順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

どのようなときに、地域との関わりの必要性を感じますかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」(37.7%)が最も多く、次いで「高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき」(13.9%)、「近所の人に気軽に相談したいと思ったとき」(13.8%)となっています。

2位は「近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき」(23.2%)が最も多く、次いで「災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」(19.4%)、「高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき」(16.9%)となっています。

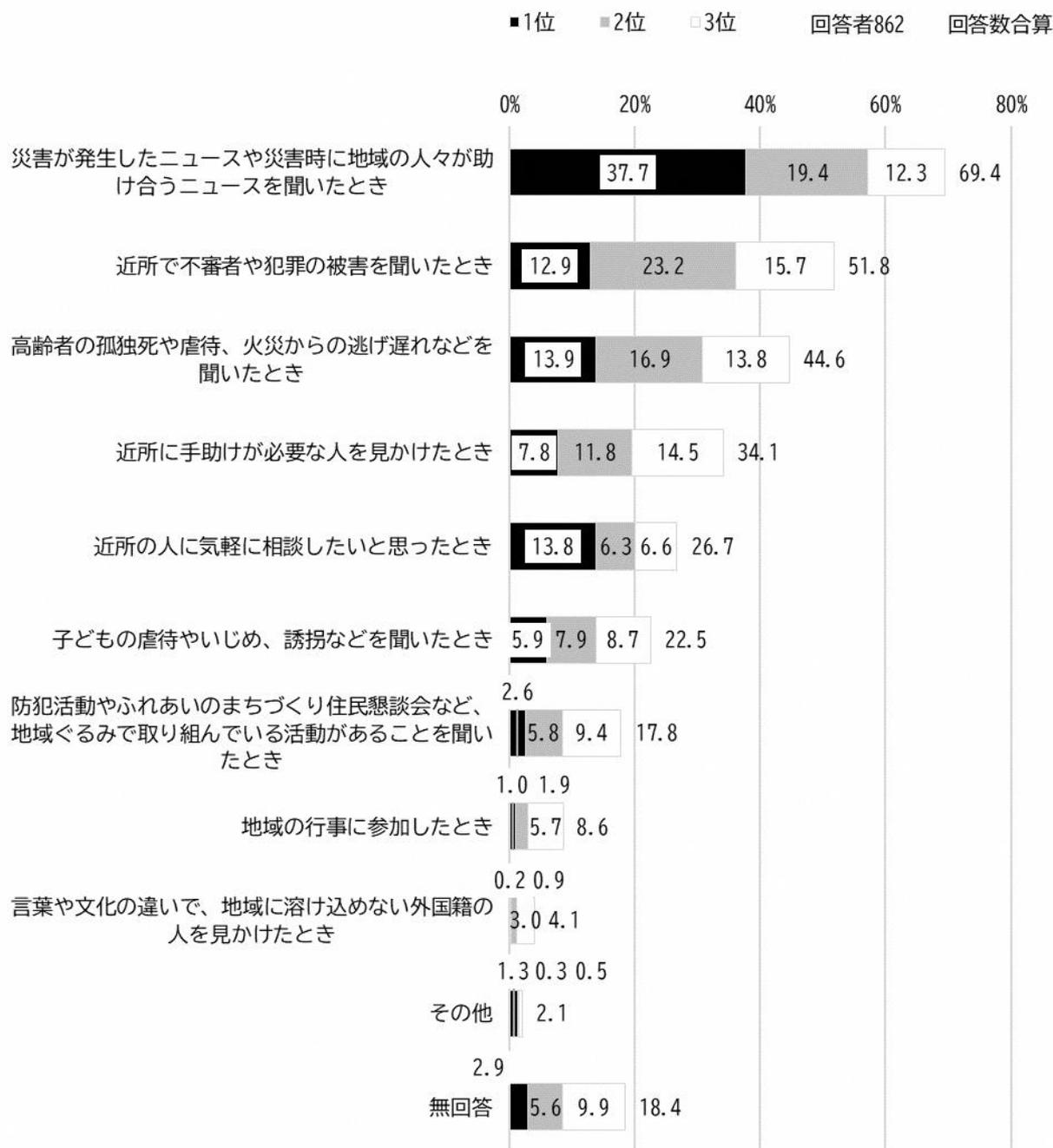
3位は「近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき」(15.7%)が最も多く、次いで「近所に手助けが必要な人を見かけたとき」(14.5%)、「高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき」(13.8%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき (37.7)	近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき (23.2)	近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき (15.7)
2番目に多い回答	高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき (13.9)	災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき (19.4)	近所に手助けが必要な人を見かけたとき (14.5)
3番目に多い回答	近所の人に気軽に相談したいと思ったとき (13.8)	高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき (16.9)	高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき (13.8)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」(69.4%)が最も多く、次いで「近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき」(51.8%)、「高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき」(44.6%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

性別にみると、すべての区分で「災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき」、そのほかでは「災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」が最も多くなっています。

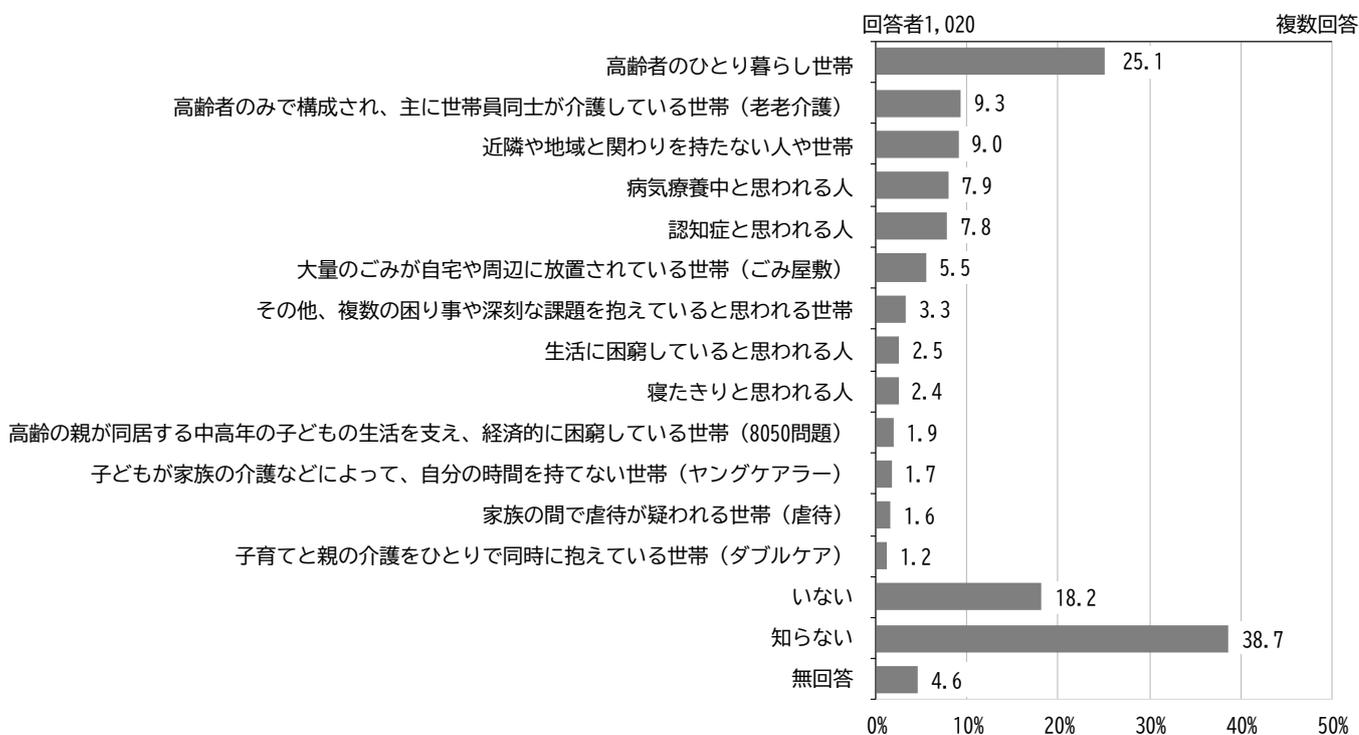
圏域別にみると、すべての圏域で「災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		近所の人に気軽に相談したいと思ったとき	高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき	子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき	言葉や文化の違いで、地域に溶け込めない外国籍の人を見かけたとき	災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき	近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき	近所に手助けが必要な人を見かけたとき	防犯活動やふれあいのまちづくり住民懇談会など、地域ぐるみで取り組んでいる活動があることを聞いたとき	地域の行事に参加したとき	その他	無回答
性別	男性 (n=357)	14.8	14.8	6.7	0.0	33.9	13.7	7.3	3.4	1.7	1.7	2.0
	女性 (n=492)	13.2	12.8	5.1	0.4	40.9	12.0	8.3	2.0	0.6	1.0	3.7
年齢	18～29歳 (n=41)	9.8	12.2	7.3	0.0	19.5	22.0	17.1	0.0	2.4	4.9	4.9
	30～39歳 (n=96)	15.6	8.3	16.7	0.0	34.4	9.4	7.3	4.2	2.1	1.0	1.0
	40～49歳 (n=141)	14.2	7.1	10.6	0.7	43.3	14.9	5.0	0.0	1.4	2.1	0.7
	50～59歳 (n=175)	9.7	13.7	5.1	0.0	46.9	12.0	9.1	1.1	0.0	1.1	1.1
	60～64歳 (n=87)	12.6	14.9	4.6	1.1	42.5	12.6	10.3	0.0	0.0	0.0	1.1
	65～69歳 (n=57)	5.3	26.3	0.0	0.0	45.6	12.3	5.3	1.8	0.0	1.8	1.8
	70～74歳 (n=87)	9.2	19.5	3.4	0.0	35.6	13.8	4.6	8.0	2.3	1.1	2.3
	75～79歳 (n=69)	21.7	20.3	0.0	0.0	27.5	10.1	8.7	4.3	0.0	1.4	5.8
80歳以上 (n=107)	24.3	13.1	0.9	0.0	25.2	12.1	7.5	4.7	1.9	0.0	10.3	
圏域	西部地区 (n=248)	12.9	13.7	4.8	0.4	39.9	12.1	9.7	3.2	1.2	0.8	1.2
	北東部地区 (n=204)	18.6	13.2	3.9	0.0	36.8	11.8	6.9	3.9	0.5	1.5	2.9
	中部地区 (n=168)	15.5	16.7	7.7	0.0	34.5	10.1	7.1	1.8	0.6	2.4	3.6
	南部地区 (n=240)	9.6	12.9	7.5	0.4	38.3	16.3	7.1	1.3	1.7	0.8	4.2

問10 ご自宅や近所に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。(いくつでも○)

ご自宅や近所に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますかについて、「知らない」(38.7%)が最も多く、次いで「高齢者のひとり暮らし世帯」(25.1%)、「いない」(18.2%)となっています。



性別にみると、「知らない」と「いない」以外では、すべての区分で「高齢者のひとり暮らし世帯」が最も多くなっています。

年齢別にみると、60～64歳、75～79歳以上は「高齢者のひとり暮らし世帯」が最も多く、そのほかでは「高齢者のひとり暮らし世帯」が最も多くなっています（「知らない」と「いない」を除く）。

圏域別にみると、「知らない」と「いない」以外では、すべての圏域で「高齢者のひとり暮らし世帯」が最も多くなっています。中部地区は「認知症と思われる人」、「病気療養中と思われる人」、「近隣や地域と関わりを持たない人や世帯」が1割台と若干多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		高齢者のひとり暮らし世帯	寝たきりと思われる人	認知症と思われる人	病気療養中と思われる人	生活に困窮していると思われる人	敷置されている世帯（ごみ屋敷）	大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯（ごみ屋敷）	世帯（老老介護）	高齢者のみで構成されている世帯（老老介護）	近隣や地域と関わりを持たない人	（8050問題） 高齢の親が同居する中高年の子どもが生活を支え、経済的に困窮している世帯
性別	男性 (n=429)	24.0	2.8	8.6	10.0	4.0	5.6	10.0	10.3	2.6		
	女性 (n=562)	26.3	2.0	6.8	6.4	1.4	5.5	9.3	8.0	1.4		
年齢	18～29歳 (n=62)	22.6	4.8	8.1	4.8	4.8	8.1	8.1	11.3	3.2		
	30～39歳 (n=123)	21.1	2.4	8.1	5.7	4.9	8.9	8.1	9.8	2.4		
	40～49歳 (n=169)	21.3	0.6	4.1	2.4	0.6	4.7	7.7	5.3	1.8		
	50～59歳 (n=200)	15.5	2.0	4.5	5.5	3.5	5.0	6.5	8.5	1.5		
	60～64歳 (n=98)	32.7	1.0	8.2	12.2	4.1	4.1	9.2	12.2	4.1		
	65～69歳 (n=67)	26.9	3.0	7.5	9.0	1.5	6.0	13.4	4.5	0.0		
	70～74歳 (n=97)	26.8	4.1	11.3	14.4	0.0	3.1	14.4	12.4	0.0		
	75～79歳 (n=74)	43.2	4.1	18.9	12.2	2.7	8.1	14.9	13.5	1.4		
80歳以上 (n=116)	33.6	1.7	8.6	12.1	1.7	4.3	9.5	7.8	2.6			
圏域	西部地区 (n=281)	23.1	2.1	6.8	7.5	1.8	3.6	11.4	7.8	2.8		
	北東部地区 (n=238)	24.8	1.7	5.9	7.6	2.9	3.4	9.7	8.4	0.8		
	中部地区 (n=204)	27.5	4.9	12.3	10.3	2.9	6.4	9.3	11.3	2.5		
	南部地区 (n=282)	26.2	1.1	7.4	7.1	2.8	8.9	7.4	9.2	1.4		

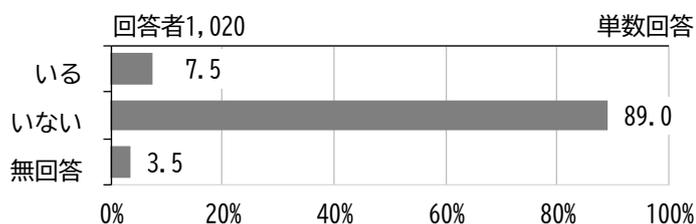
(次ページに続く)

(%)

各項目1位に網掛		子育てと親の介護をひとり同時 に抱えている世帯（ダブルケア）	子どもが家族の介護などによつて、自分の時間を持てない世帯（ヤングケアラー）	家族の間で虐待が疑われる世帯（虐待）	その他、複数の困り事や深刻な課題を抱えていると思われる世帯	いない	知らない	無回答
性別	男性 (n=429)	1.2	1.6	0.7	3.5	17.0	41.7	3.5
	女性 (n=562)	1.2	1.8	2.1	3.2	18.9	36.8	5.3
年齢	18～29歳 (n=62)	3.2	3.2	3.2	3.2	19.4	45.2	0.0
	30～39歳 (n=123)	0.8	3.3	3.3	3.3	8.9	52.0	1.6
	40～49歳 (n=169)	0.6	1.2	2.4	2.4	16.6	49.1	2.4
	50～59歳 (n=200)	2.0	2.0	0.5	3.0	20.0	48.5	3.5
	60～64歳 (n=98)	2.0	1.0	1.0	6.1	21.4	29.6	1.0
	65～69歳 (n=67)	0.0	1.5	0.0	4.5	14.9	34.3	9.0
	70～74歳 (n=97)	0.0	1.0	2.1	2.1	18.6	28.9	8.2
	75～79歳 (n=74)	0.0	1.4	0.0	1.4	24.3	20.3	4.1
80歳以上 (n=116)	1.7	0.9	1.7	5.2	20.7	20.7	12.1	
圏域	西部地区 (n=281)	1.1	1.4	0.7	3.2	15.7	44.8	3.2
	北東部地区 (n=238)	0.8	2.5	2.1	2.5	25.6	34.0	3.8
	中部地区 (n=204)	1.0	2.0	2.0	2.0	16.2	37.3	3.9
	南部地区 (n=282)	1.8	1.1	1.8	5.3	15.6	38.3	6.4

問11 自分自身、ご家族、近所の方、市内に住む親戚・友人などの中に、「ひきこもり」の状態に当てはまる人がいますか。(1つに○)

自分自身、ご家族、近所の方、市内に住む親戚・友人などの中に、「ひきこもり」の状態に当てはまる人がいますかについて、「いる」(7.5%)、「いない」(89.0%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「いない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「いない」が最も多くなっています。30～39歳は「いる」が1割台と若干多くなっています。

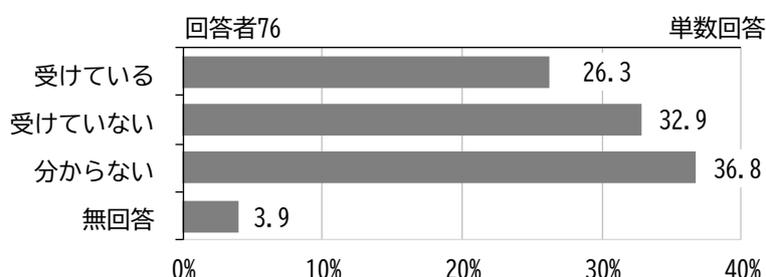
圏域別にみても、すべての圏域で「いない」が最も多くなっています。

		(%)		
		いる	いない	無回答
各項目1位に網掛				
性別	男性 (n=429)	6.8	90.4	2.8
	女性 (n=562)	8.2	87.5	4.3
年齢	18～29歳 (n=62)	3.2	96.8	0.0
	30～39歳 (n=123)	12.2	87.8	0.0
	40～49歳 (n=169)	8.9	91.1	0.0
	50～59歳 (n=200)	7.0	91.5	1.5
	60～64歳 (n=98)	5.1	92.9	2.0
	65～69歳 (n=67)	6.0	88.1	6.0
	70～74歳 (n=97)	8.2	85.6	6.2
	75～79歳 (n=74)	6.8	86.5	6.8
	80歳以上 (n=116)	6.0	80.2	13.8
圏域	西部地区 (n=281)	7.5	90.0	2.5
	北東部地区 (n=238)	6.7	89.5	3.8
	中部地区 (n=204)	6.9	88.7	4.4
	南部地区 (n=282)	8.5	87.6	3.9

付問① 《問11で「いる」とお答えの方におたずねします》

現在、何らかの社会的な支援を受けていますか。(1つに○)

「ひきこもり」の状態に当てはまる人がいると回答した方に、現在、何らかの社会的な支援を受けていますかについて、「分からない」(36.8%)が最も多く、次いで「受けていない」(32.9%)、「受けている」(26.3%)となっています。



性別にみると、男性は「受けていない」、女性は「分からない」が最も多くなっています。

圏域別にみると、西部地区は「受けていない」、北東部地区、南部地区は「分からない」、中部地区は「受けている」が最も多くなっています。

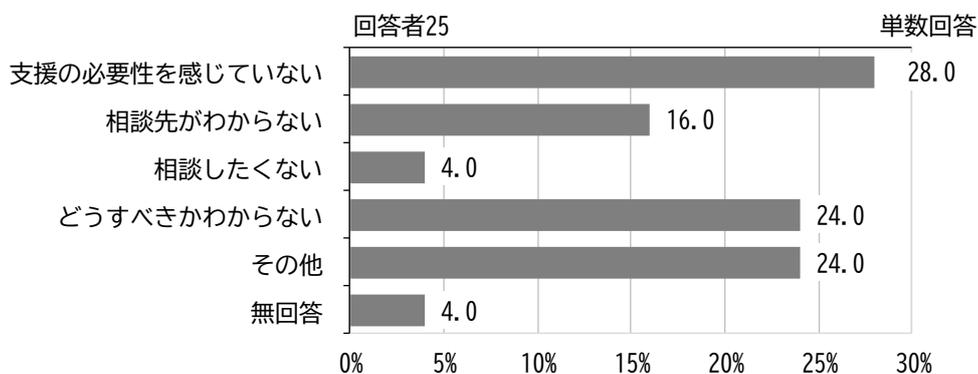
各項目1位に網掛			受けている	受けていない	分からない	無回答
性別	男性 (n=29)		17.2	51.7	27.6	3.4
	女性 (n=46)		32.6	21.7	43.5	2.2
圏域	西部地区 (n=21)		28.6	38.1	28.6	4.8
	北東部地区 (n=16)		18.8	31.3	43.8	6.3
	中部地区 (n=14)		50.0	21.4	28.6	0.0
	南部地区 (n=24)		16.7	37.5	45.8	0.0

*年齢別集計は、対象の回答者数が少数のため、掲載していません。

付問② 《付問①で「受けていない」とお答えの方におたずねします》

何らかの社会的な支援を受けていない主な理由は何ですか。(1つに○)

「ひきこもり」の状態に当てはまる人が社会的な支援を「受けていない」と回答した方に、社会的な支援を受けていない主な理由は何ですかについて、「支援の必要性を感じていない」(28.0%)が最も多く、次いで「どうすべきかわからない」、「その他」(24.0%)となっています。



*クロス集計は、対象の回答者数が少数のため、掲載していません。

問12 「ひきこもり」について、どのように考えていますか。(それぞれ1つに○)

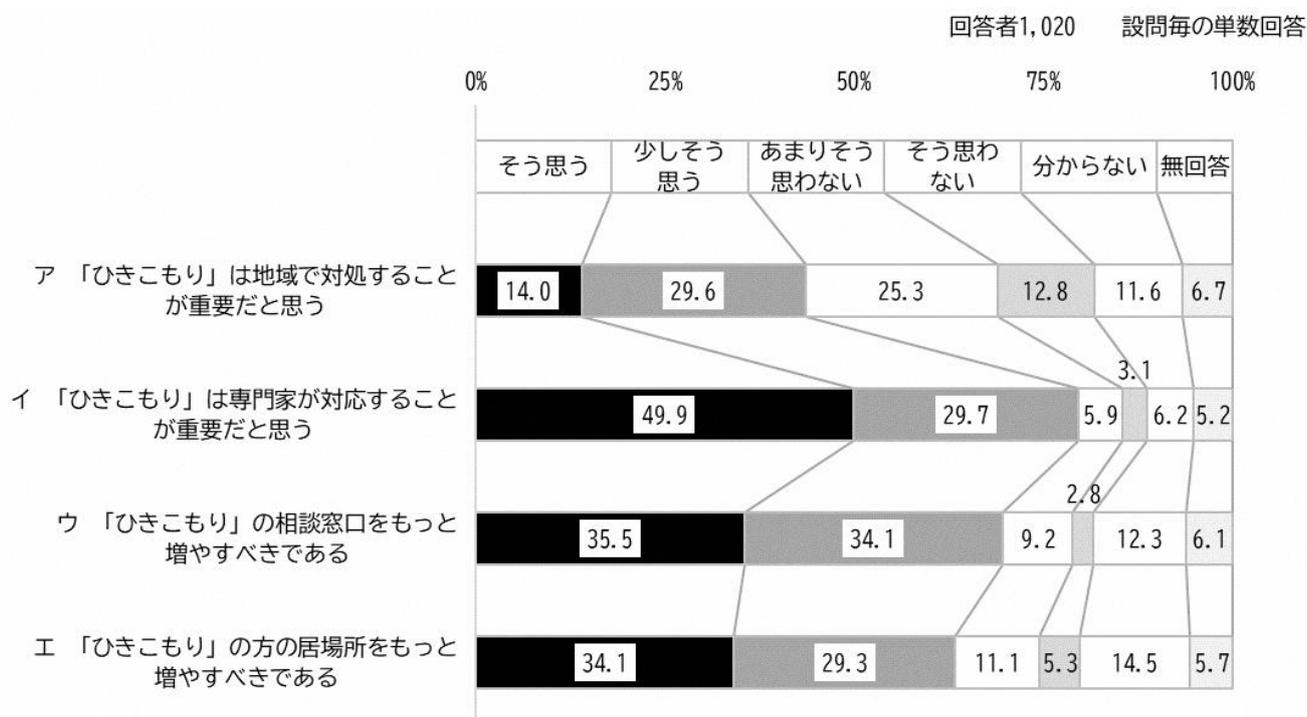
「ひきこもり」について、どのように考えていますかについて、以下のとおりとなっています。

ア「ひきこもり」は地域で対処することが重要だと思うについて、「少しそう思う」(29.6%)が最も多く、次いで「あまりそう思わない」(25.3%)、「そう思う」(14.0%)となっています。

イ「ひきこもり」は専門家が対応することが重要だと思うについて、「そう思う」(49.9%)が最も多く、次いで「少しそう思う」(29.7%)、「分からない」(6.2%)となっています。

ウ「ひきこもり」の相談窓口をもっと増やすべきであるについて、「そう思う」(35.5%)が最も多く、次いで「少しそう思う」(34.1%)、「分からない」(12.3%)となっています。

エ「ひきこもり」の方の居場所をもっと増やすべきであるについて、「そう思う」(34.1%)が最も多く、次いで「少しそう思う」(29.3%)、「分からない」(14.5%)となっています。



<思う割合（「そう思う」と「少しそう思う」の合計）のクロス集計>

性別にみると、すべての区分で「イ 「ひきこもり」は専門家が対応することが重要だと思う」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「イ 「ひきこもり」は専門家が対応することが重要だと思う」が最も多くなっています。

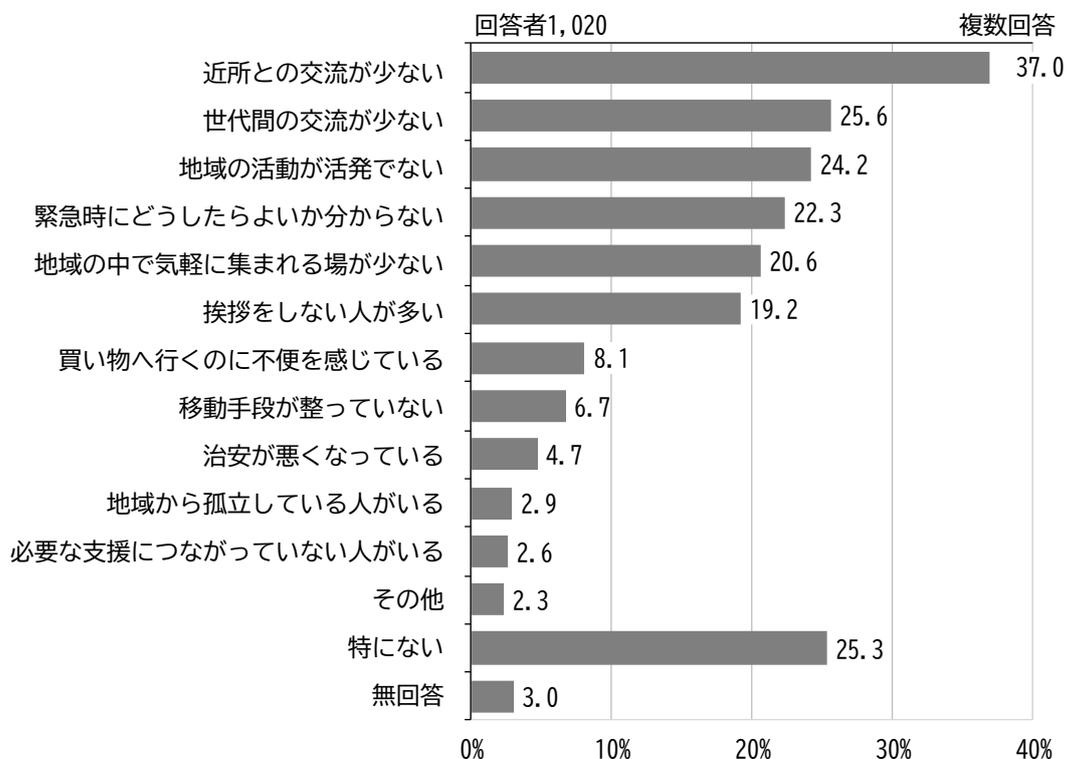
圏域別にみても、すべての圏域で「イ 「ひきこもり」は専門家が対応することが重要だと思う」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		ア 重要 だ と 思 う 「 ひ き こ も り 」 は 地 域 で 対 処 す る こ と	イ が 重 要 だ と 思 う 「 ひ き こ も り 」 は 専 門 家 が 対 応 す る こ	ウ す べ き で あ る 「 ひ き こ も り 」 の 相 談 窓 口 を も つ と 増	エ 増 や す べ き で あ る 「 ひ き こ も り 」 の 方 の 居 場 所 を も つ と
性別	男性 (n=429)	45.0	79.3	65.5	59.2
	女性 (n=562)	43.2	79.7	72.8	66.7
年齢	18～29歳 (n=62)	43.6	72.6	69.4	64.6
	30～39歳 (n=123)	46.3	78.9	72.4	69.9
	40～49歳 (n=169)	46.7	82.3	72.2	63.4
	50～59歳 (n=200)	51.0	86.0	76.5	76.0
	60～64歳 (n=98)	39.8	91.8	75.6	70.4
	65～69歳 (n=67)	23.9	76.2	71.6	59.7
	70～74歳 (n=97)	40.2	79.4	74.3	58.8
	75～79歳 (n=74)	46.0	70.3	62.1	51.4
80歳以上 (n=116)	39.7	66.4	46.6	41.4	
圏域	西部地区 (n=281)	42.7	81.1	69.8	60.8
	北東部地区 (n=238)	41.6	78.6	66.8	62.6
	中部地区 (n=204)	44.6	78.4	70.6	63.8
	南部地区 (n=282)	45.8	79.4	71.3	66.3

問13 お住まいの地域に次のようなことを感じていますか。(いくつでも○)

お住まいの地域に次のようなことを感じていますかについて、「近所との交流が少ない」(37.0%)が最も多く、次いで「世代間の交流が少ない」(25.6%)、「特にない」(25.3%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「近所との交流が少ない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「近所との交流が少ない」が最も多くなっています（18～29歳は「特にない」が同率）。

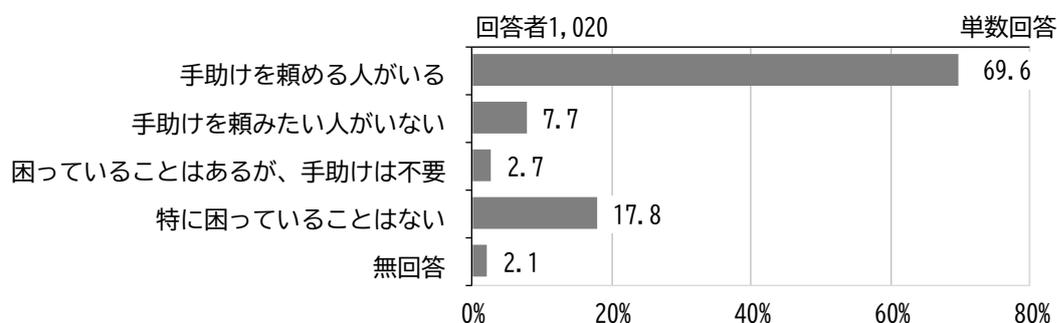
圏域別にみても、すべての圏域で「近所との交流が少ない」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		挨拶をしない人が多い	近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	移動手段が整っていない	買い物へ行くのに不便を感じている	緊急時にどうしたらよいか分からない	治安が悪くなっている	地域から孤立している人がいる	必要な支援につながっていない人がいる	その他	特にない	無回答
性別	男性 (n=429)	20.7	37.1	24.5	25.2	19.8	6.5	6.1	20.5	6.8	3.3	1.4	2.6	26.1	1.9
	女性 (n=562)	17.6	36.7	26.2	22.8	19.9	6.6	9.4	23.3	2.7	2.7	3.4	2.0	24.9	4.1
年齢	18～29歳 (n=62)	24.2	30.6	24.2	27.4	21.0	4.8	4.8	24.2	3.2	0.0	6.5	1.6	30.6	0.0
	30～39歳 (n=123)	17.1	37.4	34.1	22.8	20.3	4.1	4.1	30.9	5.7	3.3	3.3	5.7	23.6	0.8
	40～49歳 (n=169)	11.8	38.5	25.4	26.6	18.3	6.5	10.1	24.3	5.3	1.2	2.4	2.4	28.4	1.8
	50～59歳 (n=200)	19.5	36.0	20.5	21.5	21.0	9.5	9.5	20.0	5.5	2.0	2.0	2.0	25.0	1.5
	60～64歳 (n=98)	23.5	35.7	28.6	27.6	20.4	9.2	9.2	21.4	7.1	5.1	5.1	1.0	23.5	2.0
	65～69歳 (n=67)	17.9	35.8	26.9	13.4	13.4	4.5	6.0	25.4	3.0	3.0	0.0	1.5	29.9	4.5
	70～74歳 (n=97)	20.6	42.3	32.0	33.0	22.7	5.2	3.1	16.5	2.1	4.1	1.0	1.0	22.7	6.2
	75～79歳 (n=74)	18.9	29.7	14.9	21.6	27.0	5.4	5.4	13.5	5.4	6.8	1.4	2.7	24.3	6.8
80歳以上 (n=116)	24.1	39.7	25.0	20.7	18.1	6.9	15.5	21.6	3.4	3.4	3.4	1.7	22.4	6.9	
圏域	西部地区 (n=281)	19.2	35.9	24.2	18.1	18.9	5.0	7.5	21.4	6.0	1.8	1.4	2.8	29.2	2.8
	北東部地区 (n=238)	16.8	36.6	22.3	23.9	22.3	10.1	10.5	20.6	3.4	1.7	1.7	1.7	24.4	2.1
	中部地区 (n=204)	20.6	39.7	29.9	27.9	24.0	4.4	3.9	23.0	5.4	3.4	2.5	2.5	20.6	3.4
	南部地区 (n=282)	19.5	35.8	27.0	26.6	16.7	7.1	9.9	23.4	4.3	5.0	5.0	2.1	25.9	3.9

問14 日常生活で困ったときに、手助けを頼める人がいますか（家族・親族を含む）。（1つに○）

日常生活で困ったときに、手助けを頼める人がいますか（家族・親族を含む）について、「手助けを頼める人がいる」（69.6％）が最も多く、次いで「特に困っていることはない」（17.8％）、「手助けを頼みたい人がいない」（7.7％）となっています。



性別にみると、すべての区分で「手助けを頼める人がいる」が最も多くなっています。年齢別にみても、すべての年齢で「手助けを頼める人がいる」が最も多くなっています。圏域別にみても、すべての圏域で「手助けを頼める人がいる」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛			る手 助 け を 頼 め る 人 が い	い手 助 け を 頼 み た い 人 が	が困 っ て 手 助 け を 頼 め る こ と は あ る	な特 に 困 っ て い る こ と は	無 回 答
性 別	男性	(n=429)	62.9	9.6	3.7	22.1	1.6
	女性	(n=562)	74.2	6.6	2.0	14.8	2.5
年 齢	18～29歳	(n=62)	77.4	3.2	0.0	19.4	0.0
	30～39歳	(n=123)	81.3	7.3	2.4	8.9	0.0
	40～49歳	(n=169)	71.6	10.1	2.4	16.0	0.0
	50～59歳	(n=200)	63.5	12.5	3.5	19.5	1.0
	60～64歳	(n=98)	63.3	10.2	5.1	20.4	1.0
	65～69歳	(n=67)	65.7	7.5	1.5	20.9	4.5
	70～74歳	(n=97)	61.9	4.1	4.1	23.7	6.2
	75～79歳	(n=74)	62.2	4.1	2.7	25.7	5.4
80歳以上	(n=116)	77.6	2.6	1.7	13.8	4.3	
圏 域	西部地区	(n=281)	72.6	7.1	3.6	15.3	1.4
	北東部地区	(n=238)	71.4	7.6	1.3	18.5	1.3
	中部地区	(n=204)	65.7	7.8	2.9	20.6	2.9
	南部地区	(n=282)	67.4	8.5	3.2	18.4	2.5

問15 もし、あなたが高齢・障害や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちに手伝ってほしいことはありますか。【選択欄】から3つまで選んで、最も手伝って欲しい順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

もし、あなたが高齢・障害や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちに手伝ってほしいことはありますかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「急病時の対応」(16.7%)が最も多く、次いで「安否確認の見守り、声かけ」(16.4%)、「災害時の手助け」(14.8%)となっています。

2位は「急病時の対応」(19.0%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(16.4%)、「安否確認の見守り、声かけ」(7.8%)となっています。

3位は「災害時の手助け」(13.5%)が最も多く、次いで「安否確認の見守り、声かけ」(9.3%)、「急病時の対応」(9.0%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	急病時の対応 (16.7)	急病時の対応 (19.0)	災害時の手助け (13.5)
2番目に多い回答	安否確認の見守り、声かけ (16.4)	災害時の手助け (16.4)	安否確認の見守り、声かけ (9.3)
3番目に多い回答	災害時の手助け (14.8)	安否確認の見守り、声かけ (7.8)	急病時の対応 (9.0)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「急病時の対応」と「災害時の手助け」(44.7%)が最も多く、次いで「安否確認の見守り、声かけ」(33.5%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

性別にみると、男性は「急病時の対応」、女性は「安否確認の見守り、声かけ」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳から50～59歳までは「災害時の手助け」（40～49歳は「急病時の対応」が同率）、60～64歳、70～74歳、75～79歳は「安否確認の見守り、声かけ」、65～69歳、80歳以上は「急病時の対応」が最も多くなっています。

圏域別にみると、西部地区は「急病時の対応」、北東部地区、南部地区は「災害時の手助け」、中部地区は「安否確認の見守り、声かけ」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		趣味などの話し相手	安否確認の見守り、声かけ	ごみ出し	ペットの世話	庭の手入れ	ちょっとした買い物	短時間の子どもの預かり	通院・外出などの手伝い	お弁当の配食	食事の支度や片付け
性別	男性 (n=429)	2.3	14.7	2.3	2.3	0.7	4.0	2.6	5.1	4.0	5.1
	女性 (n=562)	2.5	18.1	4.4	1.8	0.9	5.7	2.5	3.9	3.6	2.8
年齢	18～29歳 (n=62)	3.2	9.7	3.2	0.0	0.0	4.8	4.8	1.6	8.1	6.5
	30～39歳 (n=123)	6.5	17.1	3.3	0.8	0.0	2.4	12.2	2.4	6.5	2.4
	40～49歳 (n=169)	2.4	13.0	3.0	3.6	0.6	5.3	3.6	4.1	4.1	5.3
	50～59歳 (n=200)	2.0	17.5	2.0	3.0	0.5	7.5	1.0	5.5	3.5	3.5
	60～64歳 (n=98)	2.0	20.4	5.1	3.1	0.0	6.1	0.0	5.1	3.1	8.2
	65～69歳 (n=67)	0.0	9.0	4.5	3.0	0.0	3.0	0.0	4.5	1.5	1.5
	70～74歳 (n=97)	1.0	26.8	5.2	1.0	0.0	5.2	0.0	4.1	2.1	3.1
	75～79歳 (n=74)	2.7	18.9	2.7	0.0	2.7	2.7	0.0	2.7	1.4	4.1
80歳以上 (n=116)	1.7	12.9	5.2	0.9	3.4	4.3	0.0	6.0	3.4	0.0	
圏域	西部地区 (n=281)	2.8	16.7	5.3	1.8	0.4	3.2	3.9	4.6	2.8	4.6
	北東部地区 (n=238)	2.1	13.9	2.9	3.4	1.7	4.2	2.5	3.8	4.2	4.2
	中部地区 (n=204)	3.4	19.6	2.9	1.5	0.0	7.4	1.5	3.9	3.9	2.9
	南部地区 (n=282)	1.8	16.0	2.8	1.4	1.1	5.7	2.1	5.0	3.9	3.2

(次ページに続く)

(%)

各項目1位に網掛		掃除・洗濯	家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換	急病時の対応	災害時の手助け	子育てや介護など悩み事の相談	地域の情報提供	その他	特にない	無回答
性別	男性 (n=429)	1.9	1.2	18.9	12.8	0.0	0.2	0.5	10.3	11.2
	女性 (n=562)	1.2	1.1	15.3	16.2	0.9	2.1	0.4	6.8	9.8
年齢	18～29歳 (n=62)	6.5	1.6	9.7	24.2	0.0	0.0	0.0	12.9	3.2
	30～39歳 (n=123)	1.6	0.0	14.6	20.3	2.4	1.6	0.0	3.3	2.4
	40～49歳 (n=169)	1.2	0.6	17.8	17.8	1.8	1.2	0.6	7.7	6.5
	50～59歳 (n=200)	1.5	1.0	17.5	19.5	0.0	1.0	0.0	4.5	9.0
	60～64歳 (n=98)	0.0	1.0	17.3	10.2	0.0	3.1	1.0	8.2	6.1
	65～69歳 (n=67)	0.0	3.0	20.9	13.4	0.0	3.0	0.0	14.9	17.9
	70～74歳 (n=97)	3.1	0.0	18.6	10.3	0.0	1.0	1.0	6.2	11.3
	75～79歳 (n=74)	1.4	2.7	14.9	9.5	0.0	0.0	0.0	17.6	16.2
	80歳以上 (n=116)	0.9	2.6	17.2	5.2	0.0	0.9	0.9	9.5	25.0
圏域	西部地区 (n=281)	2.1	0.7	18.5	12.1	1.4	1.4	0.7	8.2	8.5
	北東部地区 (n=238)	1.7	2.1	16.0	16.8	0.0	1.3	0.0	6.3	13.0
	中部地区 (n=204)	2.5	0.5	18.1	13.2	0.0	1.5	0.0	7.4	9.8
	南部地区 (n=282)	0.4	1.4	14.9	17.7	0.7	1.1	0.7	10.3	9.9

問16 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすために、あなた自身にできることはありますか。【選択欄】から3つまで選んで、最もできる順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすために、あなた自身にできることはありますかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「安否確認の見守り、声かけ」(27.3%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(13.4%)、「特にない」(11.3%)となっています。

2位は「ちょっとした買い物」(13.0%)が最も多く、次いで「安否確認の見守り、声かけ」(11.3%)、「災害時の手助け」(10.2%)となっています。

3位は「災害時の手助け」(11.7%)が最も多く、次いで「ちょっとした買い物」(7.5%)、「安否確認の見守り、声かけ」(7.0%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	安否確認の見守り、声かけ (27.3)	ちょっとした買い物 (13.0)	災害時の手助け (11.7)
2番目に多い回答	災害時の手助け (13.4)	安否確認の見守り、声かけ (11.3)	ちょっとした買い物 (7.5)
3番目に多い回答	特にない (11.3)	災害時の手助け (10.2)	安否確認の見守り、声かけ (7.0)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「安否確認の見守り、声かけ」(45.6%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(35.3%)、「ちょっとした買い物」(29.8%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

性別にみると、すべての区分で「安否確認の見守り、声かけ」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「趣味などの話し相手」と「特にない」、30～39歳と50～59歳以上は「安否確認の見守り、声かけ」、40～49歳は「災害時の手助け」が最も多くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「安否確認の見守り、声かけ」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		趣味などの話し相手	安否確認の見守り、声かけ	ごみ出し	ペットの世話	庭の手入れ	ちょっとした買った買い物	短時間の子どもの預かり	通院・外出などの手伝い	お弁当の配食	食事の支度や片付け
性別	男性 (n=429)	7.5	24.5	3.0	1.6	0.2	8.9	0.9	1.6	0.5	0.5
	女性 (n=562)	11.0	29.5	6.6	1.2	0.5	9.6	2.5	1.2	0.2	0.7
年齢	18～29歳 (n=62)	22.6	12.9	4.8	3.2	0.0	8.1	1.6	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=123)	10.6	23.6	0.8	0.8	0.8	13.0	4.9	0.8	0.0	0.0
	40～49歳 (n=169)	7.1	19.5	5.3	2.4	0.0	10.7	4.7	1.2	1.8	0.0
	50～59歳 (n=200)	7.0	32.5	4.5	2.0	0.0	8.5	1.5	1.0	0.5	1.0
	60～64歳 (n=98)	9.2	33.7	7.1	2.0	1.0	11.2	0.0	1.0	0.0	0.0
	65～69歳 (n=67)	3.0	38.8	1.5	0.0	1.5	7.5	0.0	3.0	0.0	0.0
	70～74歳 (n=97)	4.1	34.0	10.3	1.0	1.0	11.3	0.0	1.0	0.0	3.1
	75～79歳 (n=74)	20.3	29.7	6.8	0.0	0.0	2.7	0.0	4.1	0.0	1.4
80歳以上 (n=116)	10.3	20.7	5.2	0.9	0.0	7.8	0.0	1.7	0.0	0.0	
圏域	西部地区 (n=281)	10.0	27.0	5.3	1.1	0.4	10.0	1.4	1.8	0.4	0.7
	北東部地区 (n=238)	9.7	28.6	5.0	2.1	0.4	9.7	0.8	2.1	0.0	0.4
	中部地区 (n=204)	11.8	27.9	3.9	1.5	0.5	6.9	2.5	0.5	1.0	0.5
	南部地区 (n=282)	7.1	25.9	5.7	1.4	0.4	10.3	2.5	1.1	0.4	0.7
各項目1位に網掛		掃除・洗濯	交換の家具類や生活機器など	急病時の対応	災害時の手助け	子育てや介護など悩み	地域の情報提供	その他	特にない	無回答	
性別	男性 (n=429)	0.7	2.6	5.8	16.6	0.7	1.2	0.5	14.2	8.6	
	女性 (n=562)	0.4	0.4	2.8	10.9	1.4	2.0	0.5	8.9	9.6	
年齢	18～29歳 (n=62)	0.0	0.0	3.2	16.1	1.6	1.6	0.0	22.6	1.6	
	30～39歳 (n=123)	0.0	1.6	3.3	18.7	4.1	3.3	0.8	10.6	2.4	
	40～49歳 (n=169)	0.0	1.2	5.3	21.3	1.8	0.6	0.0	10.7	6.5	
	50～59歳 (n=200)	1.5	1.5	4.0	14.5	0.5	2.0	0.0	9.0	8.5	
	60～64歳 (n=98)	0.0	0.0	6.1	14.3	0.0	0.0	2.0	8.2	4.1	
	65～69歳 (n=67)	0.0	3.0	3.0	14.9	0.0	1.5	0.0	10.4	11.9	
	70～74歳 (n=97)	1.0	3.1	4.1	7.2	1.0	1.0	0.0	9.3	7.2	
	75～79歳 (n=74)	1.4	0.0	4.1	4.1	0.0	1.4	0.0	12.2	12.2	
80歳以上 (n=116)	0.0	0.9	2.6	2.6	0.0	2.6	1.7	16.4	26.7		
圏域	西部地区 (n=281)	0.7	1.4	4.6	14.2	0.7	2.5	1.1	10.0	6.8	
	北東部地区 (n=238)	0.0	1.3	5.5	11.8	1.3	0.0	0.0	9.7	11.8	
	中部地区 (n=204)	0.5	2.5	3.4	11.8	1.0	1.0	0.5	11.3	11.3	
	南部地区 (n=282)	0.7	0.4	2.8	14.9	1.4	2.5	0.4	14.5	7.1	

問17 新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか（影響があった時期は問いません）。（それぞれ1つに○）

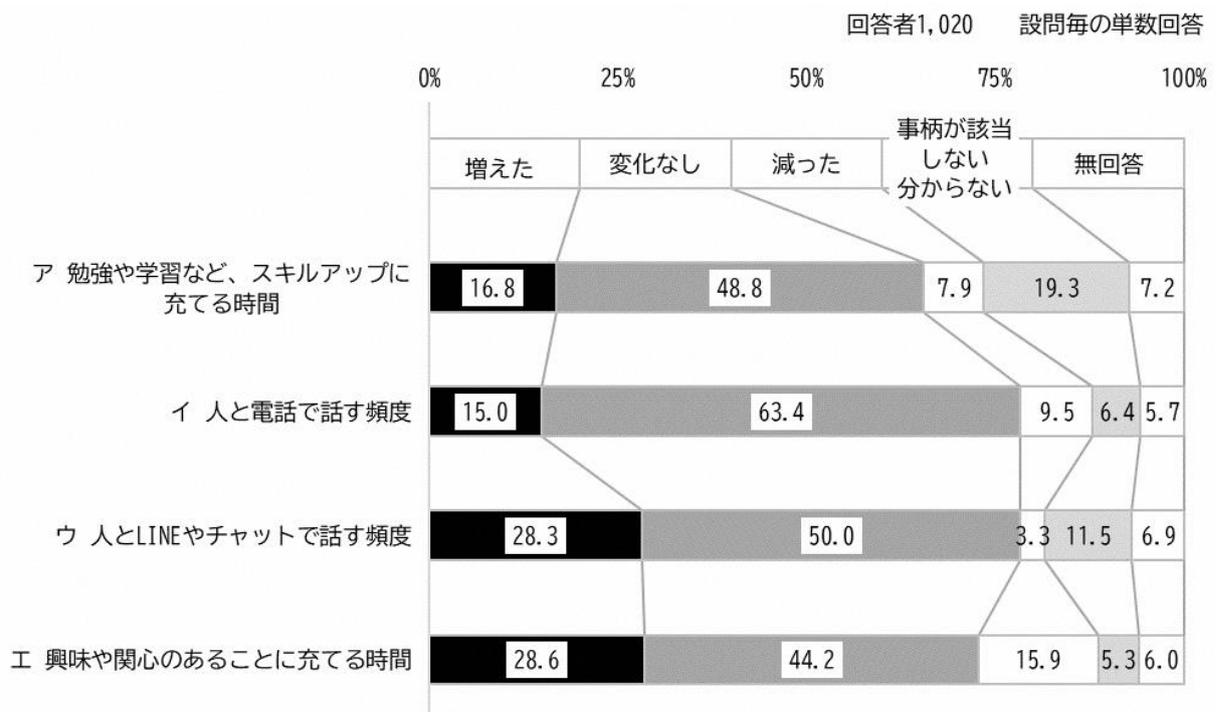
新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか（影響があった時期は問いません）について、以下のとおりとなっています。

ア 勉強や学習など、スキルアップに充てる時間について、「変化なし」（48.8％）が最も多く、次いで「増えた」（16.8％）、「減った」（7.9％）となっています（「事柄が該当しない 分からない」を除く）。

イ 人と電話で話す頻度について、「変化なし」（63.4％）が最も多く、次いで「増えた」（15.0％）、「減った」（9.5％）となっています。

ウ 人とLINEやチャットで話す頻度について、「変化なし」（50.0％）が最も多く、次いで「増えた」（28.3％）、「減った」（3.3％）となっています（「事柄が該当しない 分からない」を除く）。

エ 興味や関心のあることに充てる時間について、「変化なし」（44.2％）が最も多く、次いで「増えた」（28.6％）、「減った」（15.9％）となっています。



<増えた割合のクロス集計>

性別にみると、男性は「エ 興味や関心のあることに充てる時間」、女性は「ウ 人とLINEやチャットで話す頻度」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳、50～59歳、70～74歳、75～79歳は「エ 興味や関心のあることに充てる時間」、30～39歳、40～49歳、60～64歳は「ウ 人とLINEやチャットで話す頻度」、65～69歳は「ウ 人とLINEやチャットで話す頻度」、「エ 興味や関心のあることに充てる時間」、80歳以上は「イ 人と電話で話す頻度」が最も多くなっています。

圏域別にみると、西部地区、中部地区、南部地区は「エ 興味や関心のあることに充てる時間」、北東部地区は「ウ 人とLINEやチャットで話す頻度」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		にどア 充、 てス勉 るキ強 時ルや 間ア学 ツ習 ブな	すイ 頻 度人 と 電 話 で 話	頻やウ 度チ ヤ人 ツと トL でI 話N すE	時あ工 間る こ興 と味 にや 充関 て心 るの
性別	男性 (n=429)	15.9	11.7	23.1	25.4
	女性 (n=562)	17.1	17.6	32.7	30.8
年齢	18～29歳 (n=62)	33.9	33.9	54.8	61.3
	30～39歳 (n=123)	17.1	22.0	44.7	30.1
	40～49歳 (n=169)	20.1	10.1	33.1	31.4
	50～59歳 (n=200)	19.5	5.5	29.5	33.0
	60～64歳 (n=98)	15.3	11.2	28.6	24.5
	65～69歳 (n=67)	16.4	13.4	22.4	22.4
	70～74歳 (n=97)	9.3	15.5	22.7	23.7
	75～79歳 (n=74)	12.2	16.2	12.2	18.9
80歳以上 (n=116)	6.9	24.1	7.8	16.4	
圏域	西部地区 (n=281)	14.6	16.7	25.6	27.0
	北東部地区 (n=238)	14.7	13.4	34.0	27.7
	中部地区 (n=204)	20.6	16.7	28.9	30.4
	南部地区 (n=282)	17.4	13.5	26.2	30.5

<減った割合のクロス集計>

性別にみると、すべての区分で「エ 興味や関心のあることに充てる時間」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「ア 勉強や学習など、スキルアップに充てる時間」と「イ 人と電話で話す頻度」、50～59歳は「イ 人と電話で話す頻度」、それ以外の年齢は「エ 興味や関心のあることに充てる時間」が最も多くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「エ 興味や関心のあることに充てる時間」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		にどア 充、 てス勉 るキ強 時ルや 間ア学 ツ習 ブな	すイ 頻度 人 と 電 話 で 話	頻やウ 度チ ヤ人 ツと トL でI 話N すE	時あ工 間る こ興 と味 にや 充関 て心 るの
性別	男性 (n=429)	6.5	11.2	2.6	14.5
	女性 (n=562)	9.4	8.5	3.9	17.4
年齢	18～29歳 (n=62)	8.1	8.1	1.6	3.2
	30～39歳 (n=123)	8.1	8.1	1.6	14.6
	40～49歳 (n=169)	10.1	7.1	2.4	10.7
	50～59歳 (n=200)	5.5	15.0	4.5	9.5
	60～64歳 (n=98)	7.1	10.2	4.1	22.4
	65～69歳 (n=67)	4.5	4.5	1.5	23.9
	70～74歳 (n=97)	12.4	9.3	5.2	22.7
	75～79歳 (n=74)	9.5	10.8	5.4	18.9
80歳以上 (n=116)	7.8	7.8	2.6	25.0	
圏域	西部地区 (n=281)	7.1	11.4	3.9	16.0
	北東部地区 (n=238)	9.2	8.8	1.7	17.2
	中部地区 (n=204)	7.4	7.8	2.0	14.7
	南部地区 (n=282)	8.2	9.2	4.6	15.2

問18 新型コロナウイルス感染症の流行が原因で、特に困った事がありましたか（影響があった時期は問いません）。【選択欄】から3つまで選んで、最も困った順に記入してください。

（1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式）

1位	2位	3位

新型コロナウイルス感染症の流行が原因で、特に困った事がありましたか（影響があった時期は問いません）について、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「特に困った事はなかった」（36.9%）が最も多く、次いで「外出や運動する機会が減り、健康を害した」（19.9%）、「収入が減り、生活に困った」（10.5%）となっています。

2位は「友人・知人と接する機会が減り、関係が悪化した」（12.5%）が最も多く、次いで「外出や運動する機会が減り、健康を害した」（11.7%）、「地域での活動やつながりが減り、孤独や孤立感を感じた」（5.1%）となっています。

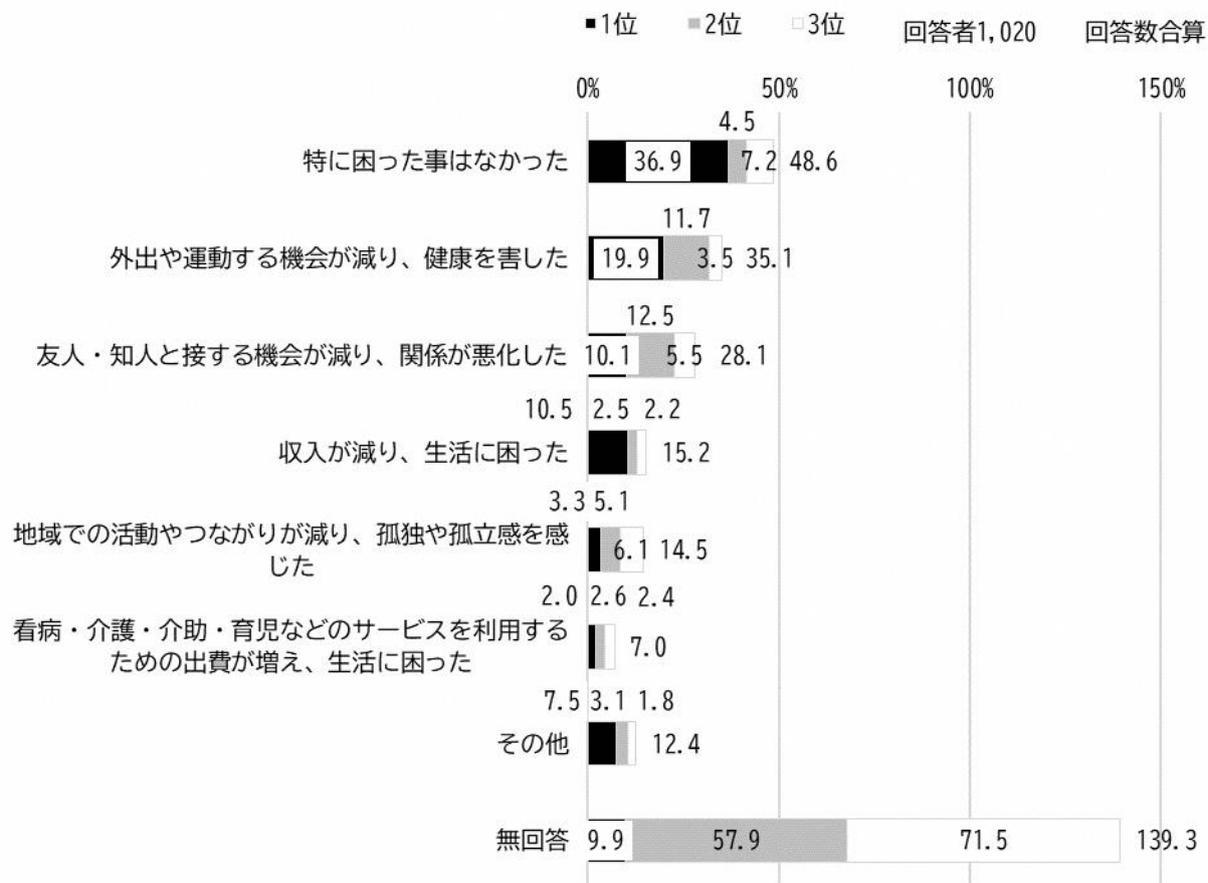
3位は「特に困った事はなかった」（7.2%）が最も多く、次いで「地域での活動やつながりが減り、孤独や孤立感を感じた」（6.1%）、「友人・知人と接する機会が減り、関係が悪化した」（5.5%）となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	特に困った事はなかった（36.9）	友人・知人と接する機会が減り、関係が悪化した（12.5）	特に困った事はなかった（7.2）
2番目に多い回答	外出や運動する機会が減り、健康を害した（19.9）	外出や運動する機会が減り、健康を害した（11.7）	地域での活動やつながりが減り、孤独や孤立感を感じた（6.1）
3番目に多い回答	収入が減り、生活に困った（10.5）	地域での活動やつながりが減り、孤独や孤立感を感じた（5.1）	友人・知人と接する機会が減り、関係が悪化した（5.5）

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「特に困った事はなかった」(48.6%)が最も多く、次いで「外出や運動する機会が減り、健康を害した」(35.1%)、「友人・知人と接する機会が減り、関係が悪化した」(28.1%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

いずれの属性も「特に困った事はなかった」が最も多くなっています。それ以外の結果は次のとおりです。

性別にみると、すべての区分で「特に困った事はなかった」が最も多く、次いで「外出や運動する機会が減り、健康を害した」となっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「特に困った事はなかった」が最も多く、次いで「外出や運動する機会が減り、健康を害した」となっています。

圏域別にみても、すべての圏域で「特に困った事はなかった」が最も多く、次いで「外出や運動する機会が減り、健康を害した」となっています。

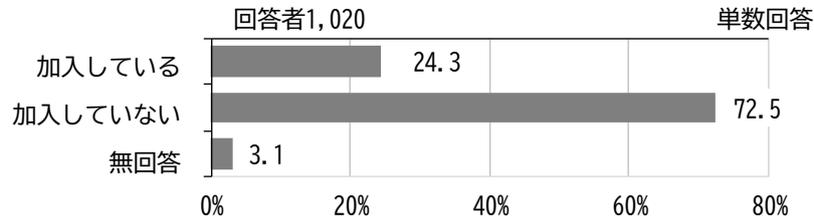
*白抜き文字は次点を示しています (％)

		収入が減り、生活に困った	看病・介護の利用するたための出費が増え、生活に困った	外出や運動する機会が減り、健康を害した	友人・知人と接する機会が減り、関係が悪化した	地域での活動やつながりが減り、孤独感を感じた	その他	特に困った事はなかった	無回答
各項目1位に網掛									
性別	男性 (n=429)	13.1	2.3	18.6	10.0	2.1	4.9	39.6	9.3
	女性 (n=562)	8.2	1.8	20.6	10.1	3.9	9.4	35.9	10.0
年齢	18～29歳 (n=62)	9.7	1.6	25.8	11.3	3.2	6.5	40.3	1.6
	30～39歳 (n=123)	15.4	4.1	21.1	13.8	1.6	13.8	26.8	3.3
	40～49歳 (n=169)	8.9	1.8	21.3	10.7	4.1	9.5	39.1	4.7
	50～59歳 (n=200)	14.5	2.0	16.0	7.5	4.0	7.0	39.0	10.0
	60～64歳 (n=98)	14.3	2.0	18.4	11.2	4.1	8.2	40.8	1.0
	65～69歳 (n=67)	11.9	1.5	17.9	7.5	1.5	1.5	46.3	11.9
	70～74歳 (n=97)	11.3	0.0	19.6	8.2	1.0	4.1	43.3	12.4
	75～79歳 (n=74)	2.7	2.7	17.6	10.8	2.7	5.4	35.1	23.0
80歳以上 (n=116)	0.9	1.7	23.3	10.3	6.0	6.0	28.4	23.3	
圏域	西部地区 (n=281)	10.3	2.1	20.6	10.0	4.3	8.5	37.7	6.4
	北東部地区 (n=238)	9.2	2.1	22.3	9.2	1.7	5.0	37.0	13.4
	中部地区 (n=204)	11.8	0.5	17.6	9.3	4.4	7.8	37.7	10.8
	南部地区 (n=282)	10.6	2.8	18.1	11.7	3.2	8.2	36.5	8.9

3. 地域での活動について

問19 現在、自治（町）会に加入していますか。（1つに○）

現在、自治（町）会に加入していますかについて、「加入している」（24.3%）、「加入していない」（72.5%）となっています。



性別にみると、すべての区分で「加入していない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「加入していない」が最も多くなっています。65～69歳は「加入している」が約3割、70～74歳以上は「加入している」が3割台となっています。

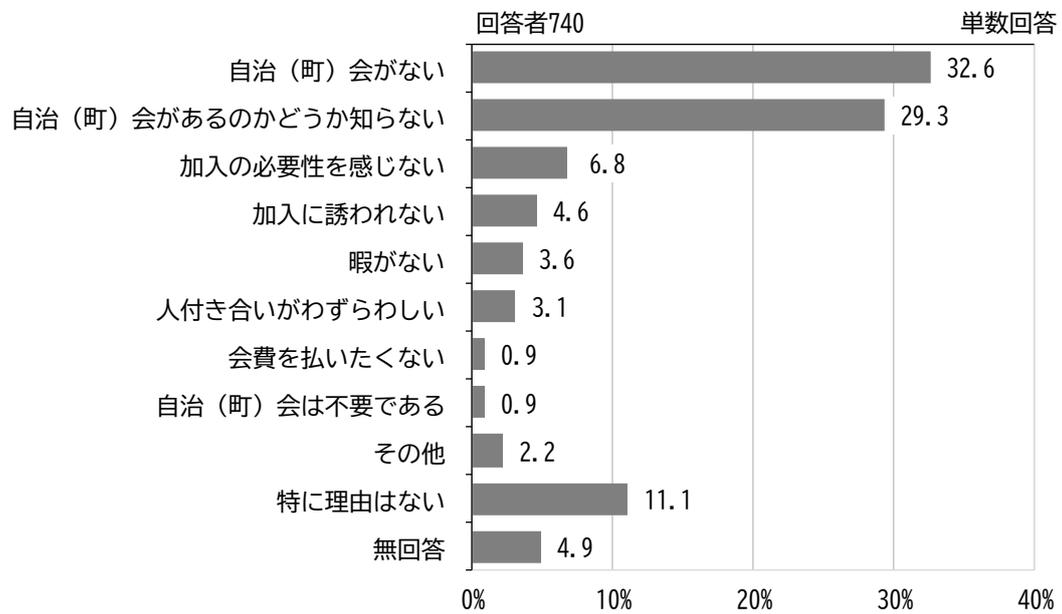
圏域別にみても、すべての圏域で「加入していない」が最も多くなっています。西部地区は「加入している」が3割台となっています。

		各項目1位に網掛			(%)		
			加入している	加入していない	無回答		
性別	男性 (n=429)		24.7	72.0	3.3		
	女性 (n=562)		24.4	72.4	3.2		
年齢	18～29歳 (n=62)		11.3	87.1	1.6		
	30～39歳 (n=123)		14.6	85.4	0.0		
	40～49歳 (n=169)		20.7	76.9	2.4		
	50～59歳 (n=200)		21.5	77.0	1.5		
	60～64歳 (n=98)		26.5	71.4	2.0		
	65～69歳 (n=67)		29.9	67.2	3.0		
	70～74歳 (n=97)		33.0	59.8	7.2		
	75～79歳 (n=74)		32.4	60.8	6.8		
	80歳以上 (n=116)		36.2	56.9	6.9		
圏域	西部地区 (n=281)		34.2	64.1	1.8		
	北東部地区 (n=238)		15.1	81.5	3.4		
	中部地区 (n=204)		22.1	72.5	5.4		
	南部地区 (n=282)		24.5	72.7	2.8		

付問 《問19で「加入していない」とお答えの方におたずねします》

加入していない主な理由は何ですか。(1つに○)

現在、自治(町)会に「加入していない」と回答した方の加入していない主な理由は何ですかについて、「自治(町)会がない」(32.6%)が最も多く、次いで「自治(町)会があるのかどうか知らない」(29.3%)、「特に理由はない」(11.1%)となっています。



性別にみると、男性は「自治（町）会があるのかどうか知らない」、女性は「自治（町）会がない」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳から40～49歳までは「自治（町）会があるのかどうか知らない」、50～59歳以上は「自治（町）会がない」が最も多くなっています。

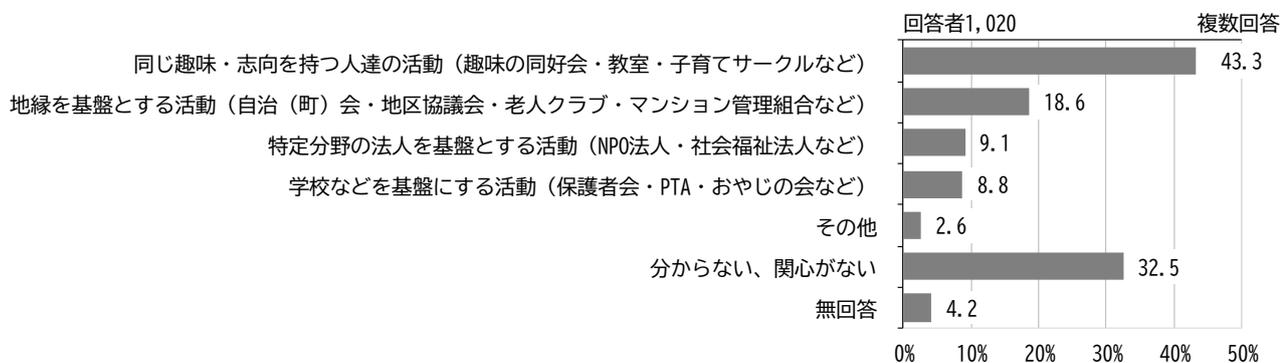
圏域別にみると、西部地区、北東部地区、中部地区は「自治（町）会がない」、南部地区は「自治（町）会があるのかどうか知らない」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		自治（町）会がない	自治（町）会があるのかどうか知らない	加入の必要性を感じない	会費を払いたくない	暇がない	人付き合いがわずらわしい	自治（町）会は不要である	加入に誘われない	その他	特に理由はない	無回答
性別	男性 (n=309)	27.5	30.1	8.4	1.0	2.9	2.6	1.3	5.2	2.3	13.3	5.5
	女性 (n=407)	36.6	29.2	5.7	0.2	4.2	3.4	0.7	3.9	1.7	9.6	4.7
年齢	18～29歳 (n=54)	14.8	33.3	11.1	1.9	0.0	3.7	1.9	9.3	0.0	18.5	5.6
	30～39歳 (n=105)	16.2	45.7	4.8	1.0	8.6	4.8	0.0	4.8	1.0	8.6	4.8
	40～49歳 (n=130)	22.3	43.1	8.5	0.8	3.1	3.8	1.5	3.8	1.5	8.5	3.1
	50～59歳 (n=154)	35.7	29.2	5.8	1.3	3.9	2.6	1.3	3.2	1.3	11.0	4.5
	60～64歳 (n=70)	35.7	25.7	5.7	1.4	1.4	1.4	2.9	4.3	4.3	12.9	4.3
	65～69歳 (n=45)	33.3	26.7	4.4	0.0	6.7	4.4	0.0	4.4	4.4	13.3	2.2
	70～74歳 (n=58)	50.0	12.1	6.9	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	1.7	12.1	13.8
	75～79歳 (n=45)	68.9	15.6	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	4.4	2.2	4.4	0.0
圏域	80歳以上 (n=66)	40.9	6.1	10.6	0.0	3.0	3.0	0.0	7.6	6.1	15.2	7.6
	西部地区 (n=180)	29.4	28.9	8.9	0.0	3.9	2.8	0.0	4.4	3.9	13.3	4.4
	北東部地区 (n=194)	38.7	27.8	7.7	1.0	4.6	2.1	1.0	3.6	1.5	7.2	4.6
	中部地区 (n=148)	33.1	31.1	5.4	0.7	2.0	5.4	1.4	2.7	2.0	9.5	6.8
	南部地区 (n=205)	29.3	30.7	4.9	1.5	3.4	2.4	1.5	6.8	1.5	13.7	4.4

問20 次のうち、あなたが参加しやすい活動はどれですか。(いくつでも○)

次のうち、あなたが参加しやすい活動はどれですかについて、「同じ趣味・志向を持つ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)」(43.3%)が最も多く、次いで「分からない、関心がない」(32.5%)、「地縁を基盤とする活動(自治(町)会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)」(18.6%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「同じ趣味・志向を持つ人達の活動（趣味の同好会・教室・子育てサークルなど）」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「分からない、関心がない」、そのほかの年齢では「同じ趣味・志向を持つ人達の活動（趣味の同好会・教室・子育てサークルなど）」が最も多くなっています。

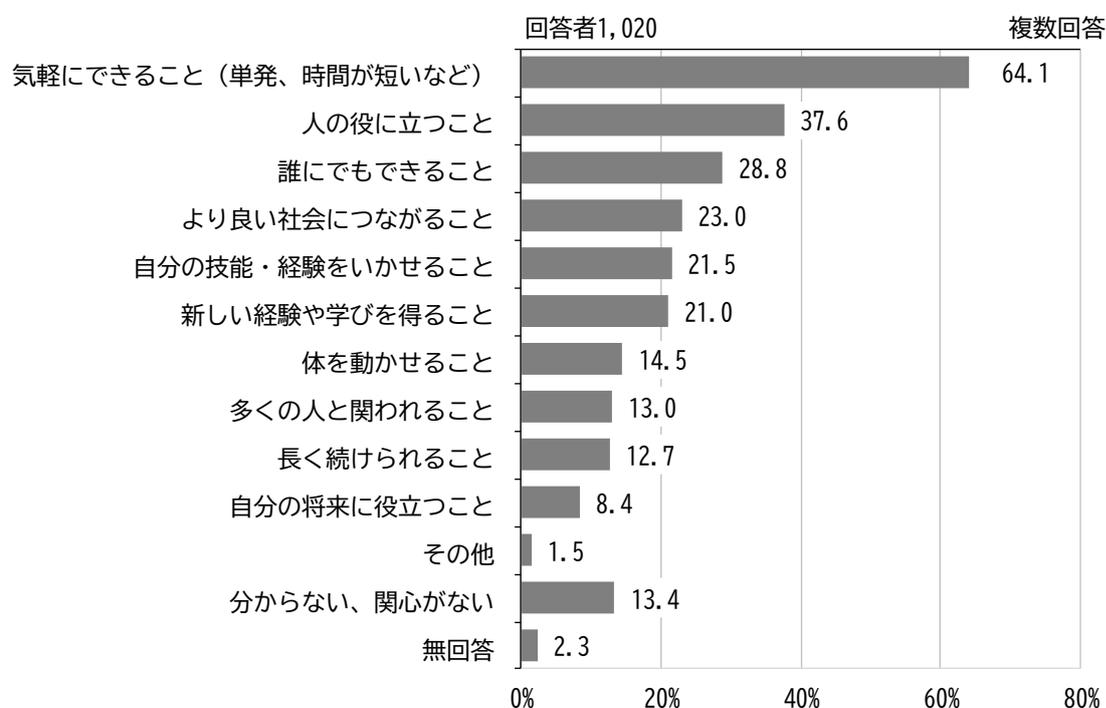
圏域別にみると、すべての圏域で「同じ趣味・志向を持つ人達の活動（趣味の同好会・教室・子育てサークルなど）」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		シヨ ン地 管区 理協 議組 合会 など	（特 定分 野の 法人 ・社 会福 祉法 人な ど）	（同 じ趣 味・ 志向 を持 つ人 達の 活動 （趣 味）	学 校な どを 基盤 とし ての 活動 （保 護者 など）	そ の 他	分 か ら な い、 関 心 が な い	無 回 答
性別	男性 (n=429)	20.7	9.3	39.4	6.5	2.3	35.7	3.5
	女性 (n=562)	17.4	8.0	45.7	10.7	2.8	30.1	5.0
年齢	18～29歳 (n=62)	8.1	17.7	37.1	4.8	6.5	46.8	1.6
	30～39歳 (n=123)	10.6	5.7	52.0	15.4	0.8	35.0	1.6
	40～49歳 (n=169)	13.6	7.1	43.8	24.9	1.2	32.0	1.8
	50～59歳 (n=200)	19.0	15.0	40.0	6.5	3.0	33.0	3.5
	60～64歳 (n=98)	26.5	9.2	42.9	6.1	3.1	28.6	3.1
	65～69歳 (n=67)	17.9	6.0	43.3	1.5	1.5	37.3	3.0
	70～74歳 (n=97)	26.8	5.2	43.3	2.1	3.1	30.9	5.2
	75～79歳 (n=74)	23.0	9.5	45.9	0.0	1.4	29.7	10.8
80歳以上 (n=116)	25.0	3.4	40.5	1.7	5.2	25.9	10.3	
圏域	西部地区 (n=281)	27.0	7.1	45.2	7.8	3.6	30.6	1.1
	北東部地区 (n=238)	14.3	8.0	42.0	9.7	2.1	34.5	8.0
	中部地区 (n=204)	12.3	9.8	45.1	8.3	3.4	35.3	4.9
	南部地区 (n=282)	19.1	10.6	41.1	9.6	1.8	30.1	3.9

問21 地域活動・ボランティア活動に参加しようとする際、どのような点を重視しますか。
(いくつでも○)

地域活動・ボランティア活動に参加しようとする際、どのような点を重視しますかについて、「気軽にできること（単発、時間が短いなど）」(64.1%) が最も多く、次いで「人の役に立つこと」(37.6%)、「誰にでもできること」(28.8%) となっています。



性別にみると、すべての区分で「気軽にできること（単発、時間が短いなど）」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「気軽にできること（単発、時間が短いなど）」が最も多くなっています。

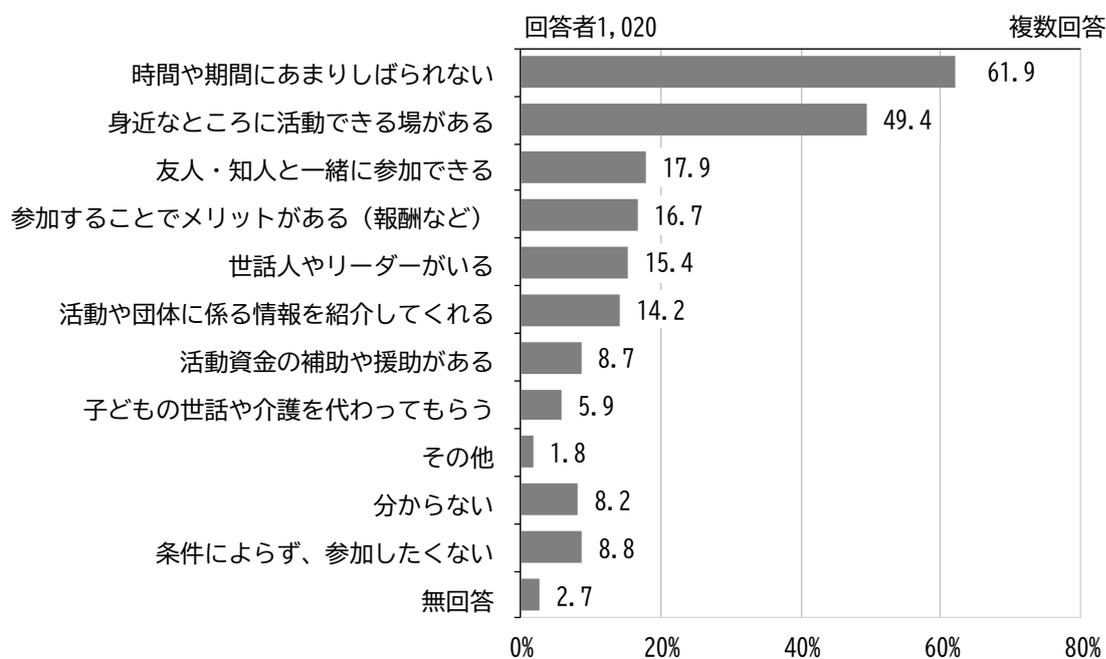
圏域別にみても、すべての圏域で「気軽にできること（単発、時間が短いなど）」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		い な ど	気 軽 に で き る こ と （ 単 発 、 時 間 が 短 い な ど ）	長 く 続 け ら れ る こ と	誰 に で も で き る こ と	体 を 動 か せ る こ と	多 く の 人 と 関 わ れ る こ と	新 し い 経 験 や 学 び を 得 る こ と	自 分 の 将 来 に 役 立 つ こ と	自 分 の 技 能 ・ 経 験 を い か せ る こ と	人 の 役 に 立 つ こ と	よ り 良 い 社 会 に つ な が る こ と	そ の 他	分 か ら な い 、 関 心 が な い	無 回 答
性別	男性 (n=429)	61.1	14.7	24.2	18.4	12.8	17.5	7.0	22.6	38.2	24.2	0.2	16.1	1.6	
	女性 (n=562)	66.2	11.0	32.4	11.4	13.3	24.2	9.3	20.5	37.9	22.1	2.3	11.6	2.8	
年齢	18～29歳 (n=62)	58.1	8.1	19.4	8.1	11.3	27.4	25.8	24.2	27.4	17.7	1.6	16.1	1.6	
	30～39歳 (n=123)	69.1	8.9	29.3	8.1	11.4	25.2	15.4	23.6	35.8	21.1	3.3	15.4	0.0	
	40～49歳 (n=169)	69.2	7.1	28.4	10.1	10.7	23.7	8.3	20.7	36.1	22.5	0.6	15.4	0.6	
	50～59歳 (n=200)	75.0	16.0	30.0	11.0	15.0	17.5	9.5	21.5	52.5	29.5	1.5	7.5	1.5	
	60～64歳 (n=98)	68.4	18.4	28.6	15.3	10.2	19.4	5.1	23.5	46.9	30.6	0.0	9.2	0.0	
	65～69歳 (n=67)	56.7	19.4	35.8	20.9	6.0	19.4	4.5	19.4	37.3	22.4	1.5	17.9	3.0	
	70～74歳 (n=97)	55.7	12.4	30.9	20.6	17.5	21.6	1.0	28.9	32.0	19.6	1.0	15.5	1.0	
	75～79歳 (n=74)	62.2	9.5	23.0	27.0	20.3	23.0	2.7	14.9	29.7	23.0	1.4	12.2	6.8	
80歳以上 (n=116)	44.0	15.5	30.2	19.8	14.7	17.2	5.2	15.5	25.9	15.5	2.6	17.2	8.6		
圏域	西部地区 (n=281)	68.0	14.9	27.0	15.7	13.9	21.0	7.8	17.1	39.1	20.6	0.7	13.2	0.4	
	北東部地区 (n=238)	62.6	11.8	28.2	11.3	10.1	20.2	8.4	19.7	39.1	23.9	1.7	13.0	2.9	
	中部地区 (n=204)	63.2	10.8	31.4	15.2	13.7	22.5	10.8	22.1	36.3	24.0	2.9	12.7	2.9	
	南部地区 (n=282)	62.1	12.8	29.4	15.6	14.5	21.3	7.4	26.2	36.5	24.1	1.1	14.2	3.2	

問22 地域活動・ボランティア活動で、どのような条件があると参加しやすいですか。
(いくつでも○)

地域活動・ボランティア活動で、どのような条件があると参加しやすいですかについて、「時間や期間にあまりしぼられない」(61.9%)が最も多く、次いで「身近なところに活動できる場がある」(49.4%)、「友人・知人と一緒に参加できる」(17.9%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「時間や期間にあまりしぼられない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「時間や期間にあまりしぼられない」が最も多くなっています。18～29歳から50～59歳までは「参加することでメリットがある（報酬など）」が2割台と多くなっています。

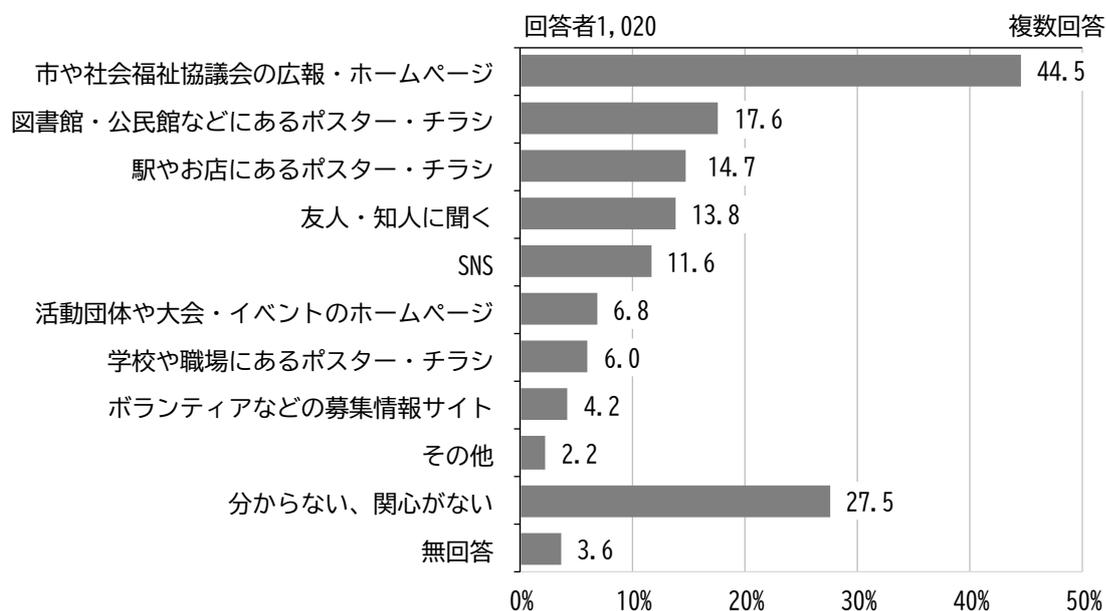
圏域別にみても、すべての圏域で「時間や期間にあまりしぼられない」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		子どもの世話や介護を代わってもらう	活動や団体に係る情報を紹介してくれる	友人・知人と一緒に参加できる	時間や期間にあまりしぼられない	身近なところに活動できる場がある	世話人やリーダーがいる	参加することでメリットがある（報酬など）	活動資金の補助や援助がある	その他	分からない	条件によらず、参加したくない	無回答
性別	男性 (n=429)	4.9	15.4	12.6	60.1	46.4	14.5	17.2	10.3	0.7	8.6	10.5	1.9
	女性 (n=562)	6.8	13.2	21.9	63.2	51.8	16.2	16.4	7.5	2.5	8.0	7.3	3.6
年齢	18～29歳 (n=62)	4.8	6.5	29.0	54.8	38.7	8.1	27.4	8.1	1.6	9.7	9.7	1.6
	30～39歳 (n=123)	21.1	15.4	22.8	64.2	48.0	13.8	27.6	12.2	2.4	5.7	13.0	0.0
	40～49歳 (n=169)	10.7	12.4	18.9	66.3	49.7	18.3	21.3	11.2	0.6	5.9	10.7	1.2
	50～59歳 (n=200)	4.5	16.0	16.0	68.5	54.5	14.0	22.0	9.0	2.0	8.0	3.0	1.5
	60～64歳 (n=98)	2.0	19.4	14.3	67.3	53.1	17.3	17.3	12.2	0.0	9.2	5.1	0.0
	65～69歳 (n=67)	0.0	13.4	6.0	61.2	49.3	17.9	11.9	9.0	0.0	7.5	13.4	3.0
	70～74歳 (n=97)	0.0	15.5	15.5	70.1	57.7	22.7	6.2	5.2	0.0	6.2	10.3	1.0
	75～79歳 (n=74)	0.0	17.6	20.3	52.7	47.3	13.5	5.4	2.7	2.7	12.2	8.1	8.1
	80歳以上 (n=116)	1.7	8.6	19.0	39.7	38.8	12.1	2.6	6.0	6.0	12.9	10.3	11.2
圏域	西部地区 (n=281)	6.8	14.9	21.7	63.3	54.1	16.7	18.5	7.8	1.1	7.1	9.3	1.8
	北東部地区 (n=238)	5.9	14.3	15.5	61.8	41.6	15.1	18.1	9.2	3.4	6.3	8.0	2.9
	中部地区 (n=204)	2.9	13.2	15.2	59.8	54.4	14.7	14.2	11.3	1.0	8.3	10.3	2.9
	南部地区 (n=282)	7.4	13.5	18.4	62.1	47.5	14.9	15.6	7.4	1.8	10.6	7.8	3.5

問23 地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますかについて、「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ」(44.5%)が最も多く、次いで「分からない、関心がない」(27.5%)、「図書館・公民館などにあるポスター・チラシ」(17.6%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「SNS」、そのほかの年齢では「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ」が最も多くなっています。

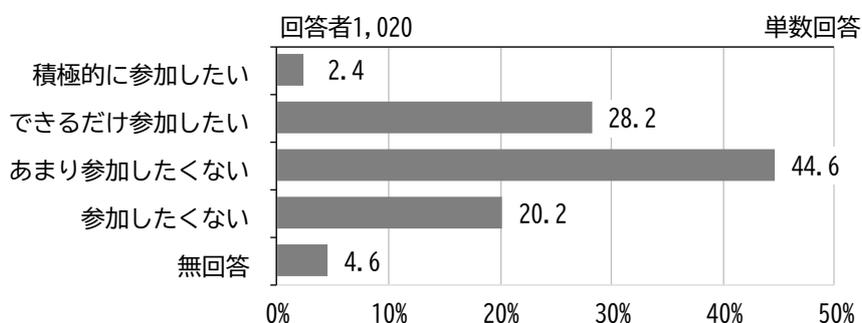
圏域別にみると、すべての圏域で「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		市や社会福祉協議会の広報・ホームページ	図書館・公民館などにあるポスター・チラシ	学校や職場にあるポスター・チラシ	駅やお店にあるポスター・チラシ	ボランティアなどの募集情報サイト	活動団体や大会・イベントのホームページ	SNS	友人・知人に聞く	その他	分からない、関心がない	無回答
性別	男性 (n=429)	44.3	16.1	4.0	15.2	5.6	8.6	10.3	10.7	1.2	31.2	2.3
	女性 (n=562)	44.1	19.4	7.8	14.4	3.2	5.2	12.5	16.7	2.8	24.9	4.6
年齢	18～29歳 (n=62)	25.8	11.3	8.1	12.9	8.1	1.6	37.1	11.3	1.6	30.6	0.0
	30～39歳 (n=123)	35.8	14.6	13.8	22.8	3.3	4.9	27.6	9.8	1.6	34.1	0.8
	40～49歳 (n=169)	40.8	20.7	14.8	20.1	3.0	8.3	13.0	10.1	1.2	31.4	1.8
	50～59歳 (n=200)	56.0	16.5	5.5	15.5	7.0	9.0	13.0	9.5	2.0	23.0	1.5
	60～64歳 (n=98)	51.0	21.4	2.0	16.3	5.1	9.2	7.1	18.4	4.1	24.5	0.0
	65～69歳 (n=67)	49.3	19.4	0.0	10.4	1.5	1.5	3.0	13.4	0.0	26.9	3.0
	70～74歳 (n=97)	50.5	18.6	0.0	10.3	4.1	8.2	2.1	17.5	1.0	27.8	5.2
	75～79歳 (n=74)	51.4	18.9	0.0	5.4	2.7	8.1	0.0	21.6	2.7	24.3	8.1
80歳以上 (n=116)	29.3	18.1	0.9	8.6	2.6	2.6	0.9	22.4	5.2	26.7	13.8	
圏域	西部地区 (n=281)	45.2	17.4	5.7	13.2	3.6	7.5	13.2	14.6	2.8	24.9	2.1
	北東部地区 (n=238)	43.7	16.0	5.9	15.1	3.8	5.9	8.0	13.4	2.1	30.7	3.4
	中部地区 (n=204)	43.6	19.6	7.4	18.6	6.4	7.8	10.3	13.7	2.5	27.0	3.4
	南部地区 (n=282)	44.7	18.8	5.7	13.5	3.9	5.3	14.2	14.2	1.4	28.0	5.0

問24 今後、福祉に係るボランティア活動に参加したいとお考えですか。(1つに○)

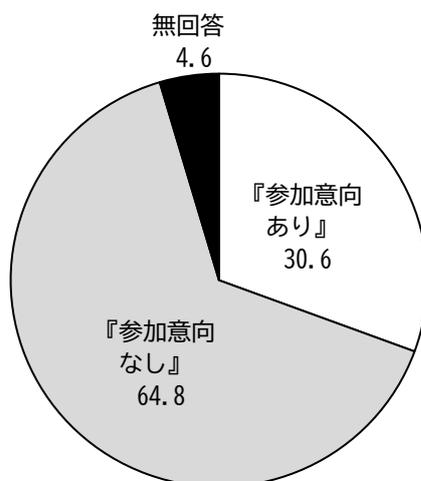
今後、福祉に係るボランティア活動に参加したいとお考えですかについて、「あまり参加したくない」(44.6%)が最も多く、次いで「できるだけ参加したい」(28.2%)、「参加したくない」(20.2%)となっています。



『参加意向あり』(「積極的に参加したい」+「できるだけ参加したい」の合計)と『参加意向なし』(「あまり参加したくない」+「参加したくない」の合計)でみると、『参加意向あり』(30.6%)、『参加意向なし』(64.8%)となっています。

回答者1,020

単数回答



単位 (%)

上の番号(『参加意向あり』『参加意向なし』)を選んだ理由がありましたら、お書きください。(自由記述)

<意見>

『参加意向あり』の理由

- ✓ 学びを得られる。知りあいが増える。
- ✓ 助け合える社会にしたい。
- ✓ 相手の人が喜んでくれる、こちらも楽しい。
- ✓ 中学生・小学生がいるので、子供たちの経験になるようなボランティアなら、家族で参加するかもしれません。

『参加意向なし』の理由

- ✓ 体調不良の為。
- ✓ 高齢のため。
- ✓ 子育てに忙しいから。
- ✓ 自分の親の介護で精一杯だから。
- ✓ 仕事をしているため時間がない。
- ✓ 自分の興味あることで忙しい。

性別にみると、すべての区分で「あまり参加したくない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「あまり参加したくない」が最も多くなっています。75～79歳は「できるだけ参加したい」が同率となっています。

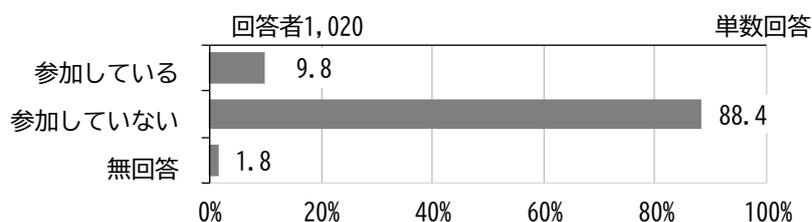
圏域別にみても、すべての圏域で「あまり参加したくない」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛			積極的に参加したい	できるだけ参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	無回答	『参加意向あり』	『参加意向なし』
性別	男性	(n=429)	2.6	27.3	45.9	20.7	3.5	29.9	66.6
	女性	(n=562)	2.3	29.5	43.8	19.0	5.3	31.8	62.8
年齢	18～29歳	(n=62)	3.2	29.0	50.0	17.7	0.0	32.2	67.7
	30～39歳	(n=123)	2.4	24.4	47.2	24.4	1.6	26.8	71.6
	40～49歳	(n=169)	2.4	23.7	52.1	18.9	3.0	26.1	71.0
	50～59歳	(n=200)	4.5	31.0	47.5	13.0	4.0	35.5	60.5
	60～64歳	(n=98)	1.0	37.8	39.8	18.4	3.1	38.8	58.2
	65～69歳	(n=67)	1.5	29.9	40.3	20.9	7.5	31.4	61.2
	70～74歳	(n=97)	2.1	26.8	47.4	19.6	4.1	28.9	67.0
	75～79歳	(n=74)	2.7	33.8	33.8	21.6	8.1	36.5	55.4
	80歳以上	(n=116)	0.0	25.0	32.8	30.2	12.1	25.0	63.0
圏域	西部地区	(n=281)	1.1	32.4	46.3	15.7	4.6	33.5	62.0
	北東部地区	(n=238)	3.4	27.3	43.3	21.0	5.0	30.7	64.3
	中部地区	(n=204)	2.0	28.9	43.6	23.0	2.5	30.9	66.6
	南部地区	(n=282)	3.2	25.5	44.0	21.3	6.0	28.7	65.3

問25 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(1つに○)

日ごろから地域の防災訓練に参加していますかについて、「参加していない」(88.4%)が最も多く、次いで「参加している」(9.8%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「参加していない」が最も多くなっています。65～69歳以上は「参加している」が若干多くなっています。

圏域別にみても、すべての圏域で「参加していない」が最も多くなっています。西部地区は「参加している」が若干多くなっています。

(%)

		参加している	参加していない	無回答
各項目1位に網掛				
性別	男性 (n=429)	11.0	87.9	1.2
	女性 (n=562)	8.9	88.8	2.3
年齢	18～29歳 (n=62)	4.8	95.2	0.0
	30～39歳 (n=123)	4.9	95.1	0.0
	40～49歳 (n=169)	8.9	89.3	1.8
	50～59歳 (n=200)	5.5	93.5	1.0
	60～64歳 (n=98)	8.2	91.8	0.0
	65～69歳 (n=67)	16.4	80.6	3.0
	70～74歳 (n=97)	18.6	79.4	2.1
	75～79歳 (n=74)	13.5	81.1	5.4
	80歳以上 (n=116)	13.8	81.9	4.3
圏域	西部地区 (n=281)	15.3	83.6	1.1
	北東部地区 (n=238)	7.1	90.3	2.5
	中部地区 (n=204)	4.4	92.6	2.9
	南部地区 (n=282)	10.3	88.7	1.1

4. 福祉について

問26 福祉に係る用語、市や関係機関の事業等についてお聞きします。

①ア～サについて知っていますか。(それぞれ1つに○)

福祉に係る用語、市や関係機関の事業等についてア～サについて知っていますかについて、以下のとおりとなっています。

ア 成年後見制度について、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(30.4%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(24.8%)、「名前も内容も知っている」(21.4%)となっています。

イ 生活困窮者自立支援制度について、「名前は知っているが、内容は知らない」(41.8%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(24.3%)、「名前も内容も知らない」(21.7%)となっています。

ウ 地域包括支援センターについて、「名前は知っているが、内容は知らない」(30.5%)が最も多く、次いで「名前も内容も知らない」(23.3%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(22.4%)となっています。

エ 西東京市社会福祉協議会について、「名前は知っているが、内容は知らない」(39.4%)が最も多く、次いで「名前も内容も知らない」(26.2%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(18.3%)となっています。

オ 民生委員・児童委員について、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(33.1%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(31.5%)、「名前も内容も知っている」(18.1%)となっています。

カ ほっとするまちネットワークシステム(通称 ほっとネット)について、「名前も内容も知らない」(72.5%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(17.9%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(4.1%)となっています。

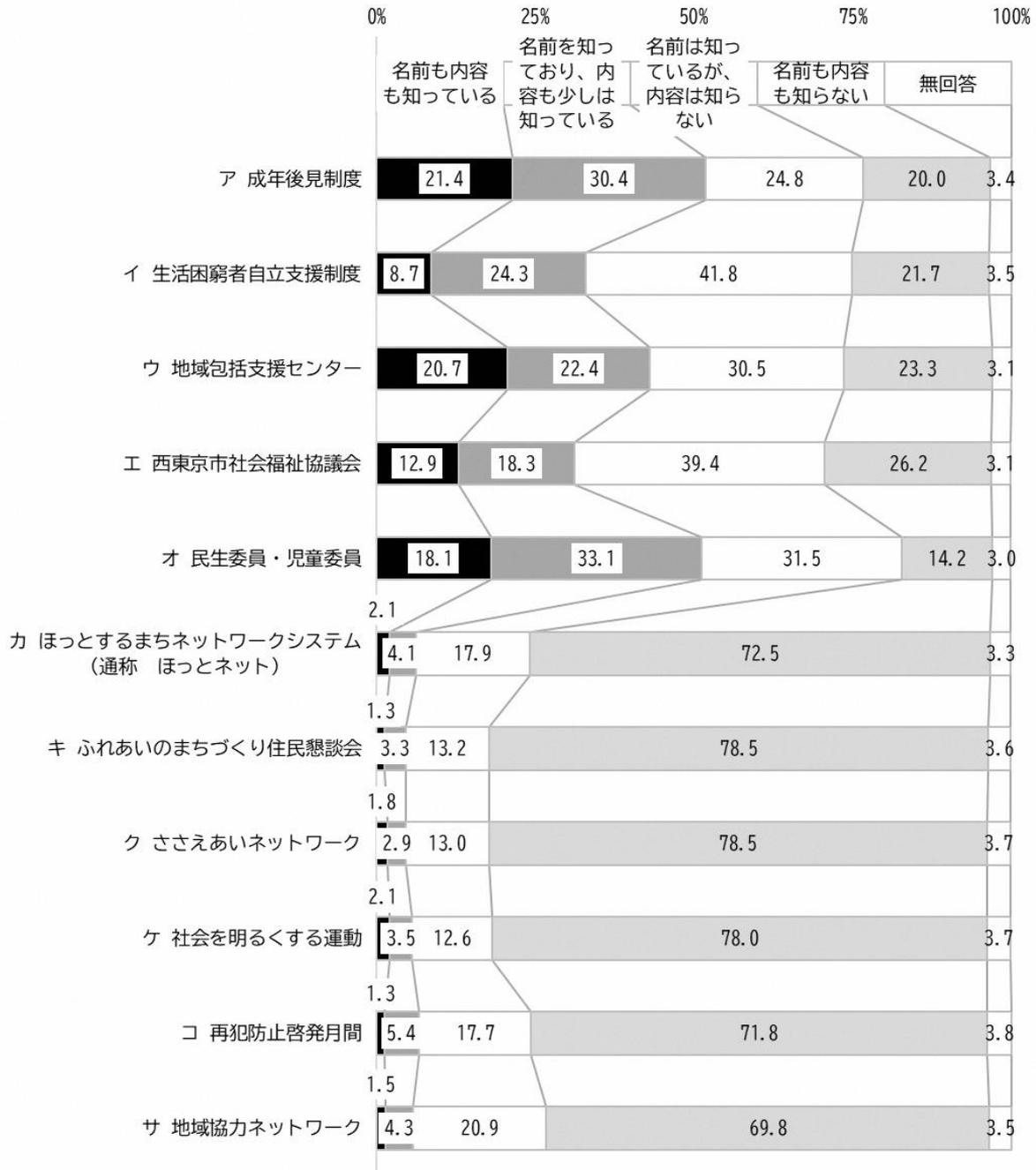
キ ふれあいのまちづくり住民懇談会について、「名前も内容も知らない」(78.5%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(13.2%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(3.3%)となっています。

ク ささえあいネットワークについて、「名前も内容も知らない」(78.5%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(13.0%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(2.9%)となっています。

ケ 社会を明るくする運動について、「名前も内容も知らない」(78.0%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(12.6%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(3.5%)となっています。

コ 再犯防止啓発月間について、「名前も内容も知らない」(71.8%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(17.7%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(5.4%)となっています。

サ 地域協力ネットワークについて、「名前も内容も知らない」(69.8%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(20.9%)、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(4.3%)となっています。



<名前や内容を知っている割合（「名前も内容も知っている」と「名前を知っており、内容も少しは知っている」の合計）のクロス集計>

名前や内容を知っている割合について、性別にみると、男性は「ア 成年後見制度」、女性は「オ 民生委員・児童委員」が最も多くなっています。

年齢別にみると、60～64歳、70～74歳、80歳以上は「オ 民生委員・児童委員」、そのほかの年齢は「ア 成年後見制度」が最も多くなっています。50～59歳は「ア 成年後見制度」と「オ 民生委員・児童委員」が同率となっています。

圏域別にみると、西部地区、北東部地区、中部地区は「ア 成年後見制度」、南部地区は「オ 民生委員・児童委員」が最も多くなっています。

		(%)										
各項目1位に網掛		ア 成年後見制度	イ 生活困窮者自立支援制度	ウ 地域包括支援センター	エ 西東京市社会福祉協議会	オ 民生委員・児童委員	カ （通称）ほっとするまちネットワークシステム	キ ふれあいのまちづくり住民懇談会	ク ささえあいネットワーク	ケ 社会を明るくする運動	コ 再犯防止啓発月間	サ 地域協力ネットワーク
性別	男性 (n=429)	49.8	31.4	36.6	28.2	46.6	5.4	2.5	4.0	4.9	6.3	4.5
	女性 (n=562)	53.2	33.1	47.5	33.4	54.3	6.8	6.1	5.5	6.3	7.3	6.8
年齢	18～29歳 (n=62)	29.0	27.5	27.4	8.0	24.2	6.4	0.0	1.6	4.8	8.1	4.8
	30～39歳 (n=123)	40.6	28.4	28.5	18.7	33.3	4.9	4.1	2.4	3.2	8.1	4.9
	40～49歳 (n=169)	49.1	24.3	34.3	28.4	43.8	3.6	3.0	1.8	6.5	5.3	3.6
	50～59歳 (n=200)	56.0	36.5	43.0	31.5	56.0	5.0	4.0	5.5	7.5	9.0	5.5
	60～64歳 (n=98)	64.3	44.9	50.0	32.6	70.4	6.1	4.1	4.1	5.1	5.1	4.1
	65～69歳 (n=67)	64.2	37.3	59.7	35.8	52.3	7.5	6.0	10.4	4.5	6.0	1.5
	70～74歳 (n=97)	57.7	35.0	52.6	37.1	58.8	8.3	5.2	3.1	6.2	5.2	7.2
	75～79歳 (n=74)	66.2	43.2	45.9	48.6	59.4	10.8	8.1	6.8	8.2	10.9	16.3
80歳以上 (n=116)	40.5	24.1	53.4	37.9	56.9	7.8	7.7	9.4	2.6	3.4	6.9	
圏域	西部地区 (n=281)	50.9	29.9	39.9	28.8	50.6	6.4	6.4	5.0	4.6	5.7	4.6
	北東部地区 (n=238)	52.6	32.3	39.5	32.3	51.7	3.8	2.9	3.0	4.2	5.9	5.4
	中部地区 (n=204)	50.5	30.9	44.6	29.0	44.1	11.2	5.9	8.3	7.4	8.8	7.4
	南部地区 (n=282)	53.2	37.2	47.9	33.3	56.0	4.3	3.2	3.6	6.7	7.1	6.0

②ア～ケについて知っているか、関わったことはありますか。(それぞれ1つに○)

ア～ケについて知っているか、関わったことはありますかについて、以下のとおりとなっています。

ア ほっとネット推進員について、「知らなかった」(85.7%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(9.4%)、「関わったことがある」(1.0%)となっています。

イ ささえあい訪問協力員について、「知らなかった」(84.4%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(9.9%)、「関わったことがある」(1.6%)となっています。

ウ 地域福祉コーディネーターについて、「知らなかった」(78.3%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(16.5%)、「関わったことがある」(1.2%)となっています。

エ 生活支援コーディネーターについて、「知らなかった」(73.9%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(20.5%)、「関わったことがある」(1.2%)となっています。

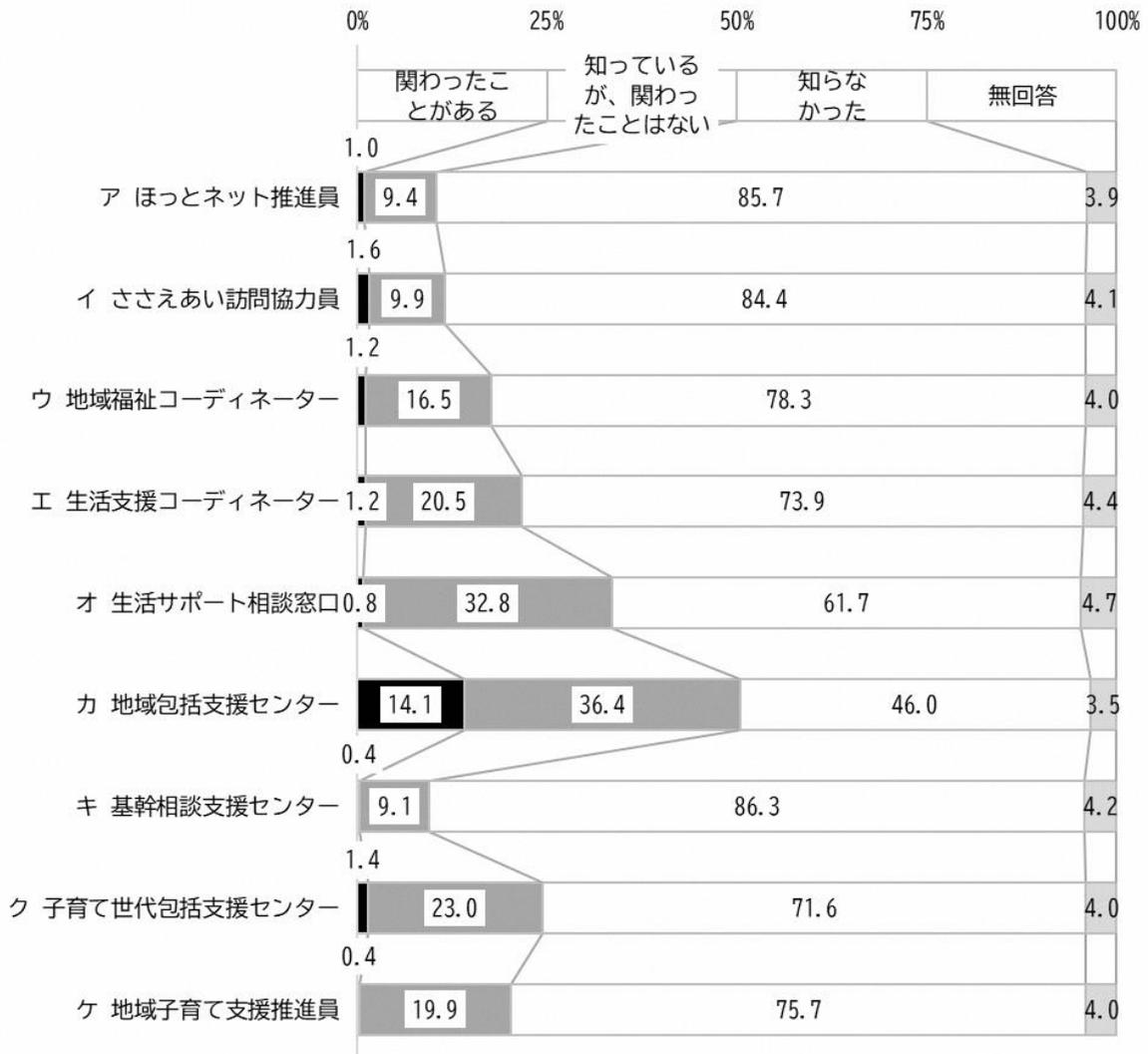
オ 生活サポート相談窓口について、「知らなかった」(61.7%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(32.8%)、「関わったことがある」(0.8%)となっています。

カ 地域包括支援センターについて、「知らなかった」(46.0%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(36.4%)、「関わったことがある」(14.1%)となっています。

キ 基幹相談支援センターについて、「知らなかった」(86.3%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(9.1%)、「関わったことがある」(0.4%)となっています。

ク 子育て世代包括支援センターについて、「知らなかった」(71.6%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(23.0%)、「関わったことがある」(1.4%)となっています。

ケ 地域子育て支援推進員について、「知らなかった」(75.7%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(19.9%)、「関わったことがある」(0.4%)となっています。



<関わったことや知っている割合（「関わったことがある」と「知っているが、関わったことはない」の合計）のクロス集計>

関わったことや知っている割合について、性別にみると、すべての区分で「カ 地域包括支援センター」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳と30～39歳は「オ 生活サポート相談窓口」、そのほかの年齢では「カ 地域包括支援センター」が最も多くなっています。

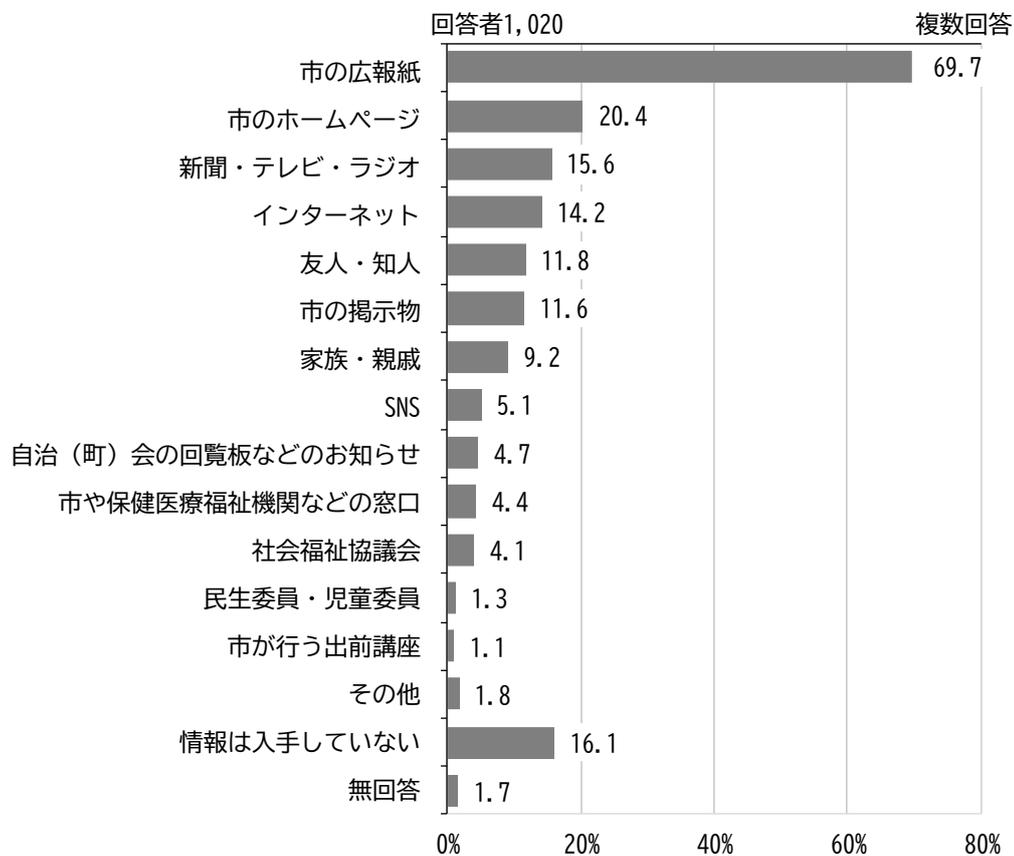
圏域別にみると、すべての圏域で「カ 地域包括支援センター」が最も多くなっています。

(%)

		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
		ほつとネット推進員	ささえあい訪問協力員	地域福祉コーディネーター	生活支援コーディネーター	生活サポート相談窓口	地域包括支援センター	基幹相談支援センター	子育て世代包括支援センター	地域子育て支援推進員
各項目1位に網掛										
性別	男性 (n=429)	9.6	10.3	16.5	19.3	31.2	41.8	9.3	21.9	16.8
	女性 (n=562)	11.2	12.5	18.8	23.2	34.9	56.8	9.8	26.4	22.9
年齢	18～29歳 (n=62)	4.8	1.6	11.3	22.6	38.7	32.2	8.1	17.7	12.9
	30～39歳 (n=123)	3.2	1.6	14.6	15.4	34.1	32.5	6.5	28.5	20.3
	40～49歳 (n=169)	4.2	6.5	14.2	17.8	29.6	37.3	4.7	20.2	17.2
	50～59歳 (n=200)	9.5	10.5	16.0	22.0	34.0	51.5	10.5	25.5	22.5
	60～64歳 (n=98)	11.2	9.2	18.3	26.5	35.7	59.2	15.3	25.5	22.4
	65～69歳 (n=67)	9.0	14.9	22.4	25.4	26.9	61.2	10.4	22.4	17.9
	70～74歳 (n=97)	20.6	19.6	18.6	25.8	36.1	64.0	9.3	27.8	24.7
	75～79歳 (n=74)	19.0	23.0	24.3	24.3	32.4	62.1	14.9	31.1	24.3
	80歳以上 (n=116)	18.1	21.6	23.3	21.5	33.6	62.1	9.5	19.8	17.2
圏域	西部地区 (n=281)	10.7	12.5	15.3	21.0	33.8	52.3	9.3	25.6	21.4
	北東部地区 (n=238)	10.0	9.7	17.7	21.4	35.3	44.1	8.4	24.0	19.3
	中部地区 (n=204)	14.8	12.8	20.1	23.6	33.9	54.4	13.7	23.1	21.6
	南部地区 (n=282)	7.5	11.0	18.5	21.6	31.2	50.4	7.4	24.5	19.1

問27 ふだん、福祉に係る情報をどのように得ていますか。(いくつでも○)

ふだん、福祉に係る情報をどのように得ていますかについて、「市の広報紙」(69.7%)が最も多く、次いで「市のホームページ」(20.4%)、「情報は入手していない」(16.1%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「市の広報紙」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「情報は入手していない」、そのほかの年齢では「市の広報紙」が最も多くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「市の広報紙」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		市の広報紙	市のホームページ	機関や保健医療福祉などの窓口	市の揭示物	市が行う出前講座	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	自治(町)会のお知らせ	新聞・テレビ・ラジオ	インターネット
性別	男性 (n=429)	65.0	21.2	4.2	10.7	0.5	0.5	4.7	4.4	15.6	15.9
	女性 (n=562)	73.1	19.2	4.8	12.3	1.6	2.0	3.7	5.0	15.7	12.8
年齢	18～29歳 (n=62)	33.9	12.9	1.6	6.5	1.6	1.6	1.6	8.1	6.5	11.3
	30～39歳 (n=123)	49.6	29.3	4.1	10.6	1.6	0.0	0.0	2.4	5.7	19.5
	40～49歳 (n=169)	65.7	26.0	3.6	10.1	0.6	0.6	1.8	4.7	4.7	16.0
	50～59歳 (n=200)	69.5	23.5	6.5	8.5	0.5	0.0	1.5	1.0	9.0	19.5
	60～64歳 (n=98)	80.6	19.4	4.1	13.3	0.0	2.0	3.1	4.1	13.3	17.3
	65～69歳 (n=67)	82.1	17.9	3.0	4.5	3.0	1.5	6.0	3.0	23.9	11.9
	70～74歳 (n=97)	85.6	16.5	5.2	17.5	0.0	0.0	4.1	9.3	30.9	12.4
	75～79歳 (n=74)	82.4	9.5	4.1	14.9	1.4	4.1	10.8	8.1	31.1	6.8
80歳以上 (n=116)	76.7	12.9	5.2	19.0	2.6	4.3	12.9	7.8	31.9	3.4	
圏域	西部地区 (n=281)	68.3	17.1	3.9	12.8	1.4	1.1	3.2	5.3	13.5	13.2
	北東部地区 (n=238)	71.8	21.0	4.6	9.7	0.8	0.8	3.8	2.1	15.1	11.8
	中部地区 (n=204)	70.1	19.1	4.4	14.2	0.5	0.5	4.4	5.4	16.2	14.7
	南部地区 (n=282)	68.4	23.8	5.0	10.3	1.4	2.5	5.0	6.0	17.4	17.4

各項目1位に網掛		S N S	家族・親戚	友人・知人	その他	情報は入手していない	無回答
性別	男性 (n=429)	4.9	9.3	8.2	1.6	21.2	1.6
	女性 (n=562)	5.2	9.3	14.6	2.0	12.8	1.8
年齢	18～29歳 (n=62)	16.1	17.7	6.5	3.2	37.1	0.0
	30～39歳 (n=123)	13.0	9.8	9.8	4.1	26.8	0.8
	40～49歳 (n=169)	5.9	7.7	8.3	1.2	21.3	1.2
	50～59歳 (n=200)	4.0	6.5	7.5	0.5	17.0	0.5
	60～64歳 (n=98)	3.1	6.1	9.2	2.0	11.2	0.0
	65～69歳 (n=67)	1.5	7.5	14.9	1.5	10.4	0.0
	70～74歳 (n=97)	2.1	11.3	18.6	1.0	8.2	1.0
	75～79歳 (n=74)	0.0	6.8	21.6	0.0	5.4	5.4
80歳以上 (n=116)	1.7	15.5	16.4	3.4	6.9	6.9	
圏域	西部地区 (n=281)	6.4	8.2	12.8	1.8	17.8	0.4
	北東部地区 (n=238)	5.0	8.8	9.2	2.5	15.1	1.7
	中部地区 (n=204)	3.9	9.8	11.8	2.5	14.2	2.0
	南部地区 (n=282)	5.0	10.6	12.8	0.7	17.4	2.8

問28 インターネットを使う情報端末、アプリ、サービスについて、①使用状況、②今後の使用意向を教えてください。(①、②それぞれ1つに○)

①使用状況

インターネットを使う情報端末、アプリ、サービスについて、①使用状況、②今後の使用意向を教えてくださいについて、使用状況は以下のとおりとなっています。

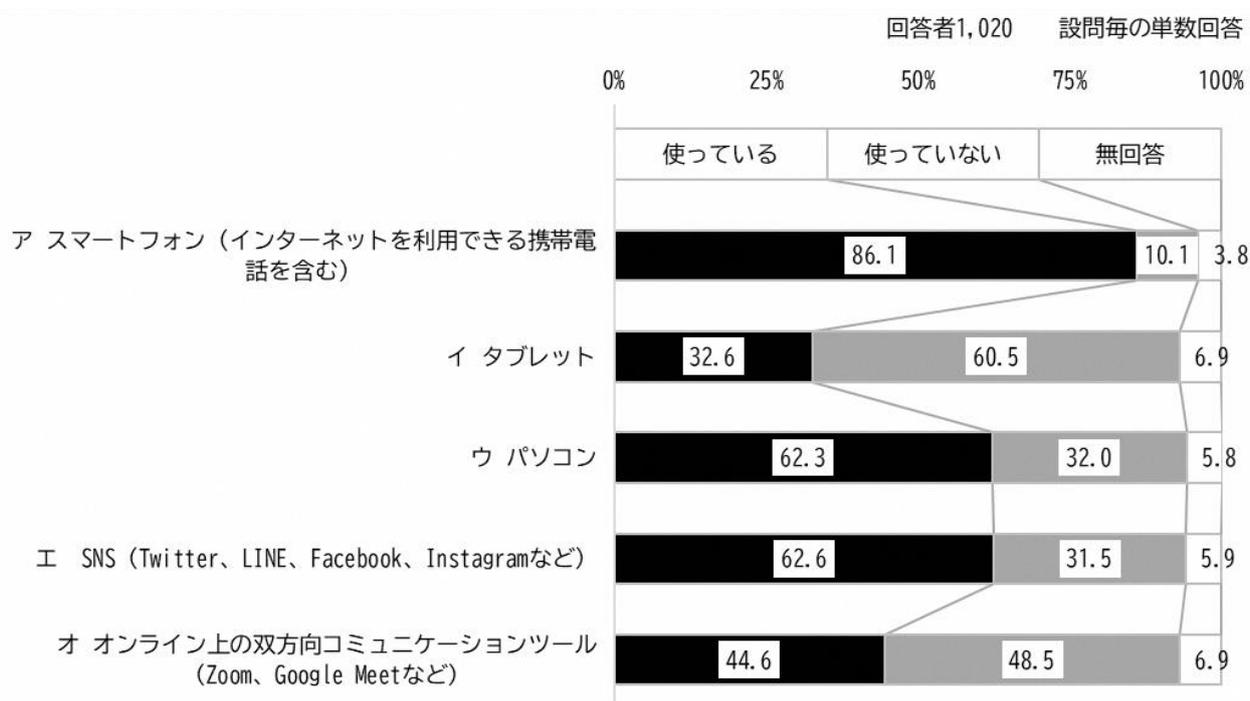
ア スマートフォン（インターネットを利用できる携帯電話を含む）について、「使っている」(86.1%)、「使っていない」(10.1%)となっています。

イ タブレットについて、「使っている」(32.6%)、「使っていない」(60.5%)となっています。

ウ パソコンについて、「使っている」(62.3%)、「使っていない」(32.0%)となっています。

エ SNS (Twitter、LINE、Facebook、Instagramなど) について、「使っている」(62.6%)、「使っていない」(31.5%)となっています。

オ オンライン上の双方向コミュニケーションツール (Zoom、Google Meet など) について、「使っている」(44.6%)、「使っていない」(48.5%)となっています。



<使っている割合のクロス集計>

性別にみると、すべての区分で「ア スマートフォン」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「ア スマートフォン」が最も多くなっています。なお、18～29歳から50～59歳までは「オ オンライン上の双方向コミュニケーションツール」が5割を超えています。

圏域別にみても、すべての圏域で「ア スマートフォン」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛			ア ス マ ー ト フ ォ ン	イ タ ブ レ ッ ト	ウ パ ソ コ ン	エ S N S	ケ ー シ ョ ン ラ イ ン 上 の 双 方 向 コ ミ ュ ニ
性別	男性	(n=429)	84.6	33.8	72.5	63.2	47.3
	女性	(n=562)	87.0	31.9	54.4	62.5	42.3
年齢	18～29歳	(n=62)	100.0	51.6	74.2	98.4	71.0
	30～39歳	(n=123)	98.4	46.3	75.6	90.2	62.6
	40～49歳	(n=169)	97.0	45.0	72.8	84.6	63.9
	50～59歳	(n=200)	96.0	36.0	72.5	74.0	55.5
	60～64歳	(n=98)	94.9	29.6	68.4	63.3	39.8
	65～69歳	(n=67)	89.6	37.3	65.7	50.7	44.8
	70～74歳	(n=97)	77.3	19.6	52.6	41.2	21.6
	75～79歳	(n=74)	70.3	21.6	47.3	28.4	18.9
80歳以上	(n=116)	39.7	4.3	19.8	10.3	4.3	
圏域	西部地区	(n=281)	88.3	32.0	62.6	63.3	44.5
	北東部地区	(n=238)	84.5	31.1	60.9	62.6	41.6
	中部地区	(n=204)	83.8	35.3	57.8	60.8	48.0
	南部地区	(n=282)	86.9	33.7	66.7	64.2	45.4

②今後の使用意向

インターネットを使う情報端末、アプリ、サービスについて、①使用状況、②今後の使用意向を教えてくださいについて、今後の使用意向は以下のとおりとなっています。

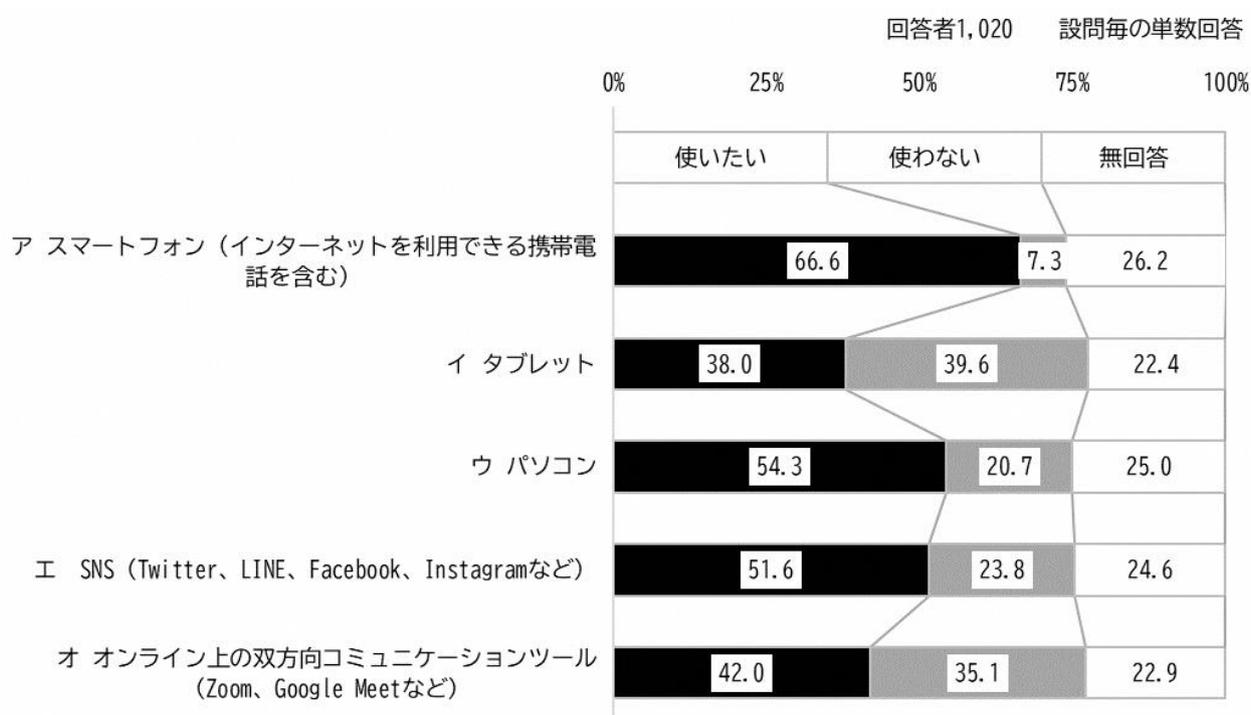
ア スマートフォン（インターネットを利用できる携帯電話を含む）について、「使いたい」（66.6%）、「使わない」（7.3%）となっています。

イ タブレットについて、「使いたい」（38.0%）、「使わない」（39.6%）となっています。

ウ パソコンについて、「使いたい」（54.3%）、「使わない」（20.7%）となっています。

エ SNS（Twitter、LINE、Facebook、Instagramなど）について、「使いたい」（51.6%）、「使わない」（23.8%）となっています。

オ オンライン上の双方向コミュニケーションツール（Zoom、Google Meetなど）について、「使いたい」（42.0%）、「使わない」（35.1%）となっています。



<使いたい割合のクロス集計>

使いたい割合について、性別にみると、すべての区分で「ア スマートフォン」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「ア スマートフォン」が最も多くなっています。

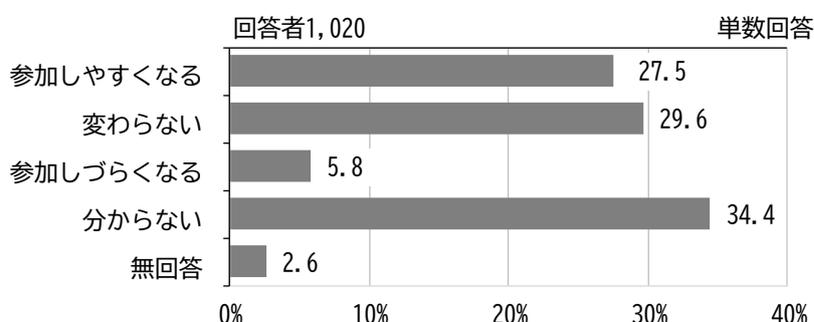
圏域別にみても、すべての圏域で「ア スマートフォン」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		ア ス マ ー ト フ ォ ン	イ タ ブ レ ッ ト	ウ パ ソ コ ン	エ S N S	ケ ー シ ョ ン ラ イ ン ツ ー ル 上 の 双 方 向 コ ミ ュ ニ
性別	男性 (n=429)	65.0	37.5	59.0	52.4	43.6
	女性 (n=562)	67.6	38.1	51.1	51.4	41.1
年齢	18～29歳 (n=62)	95.2	66.1	88.7	93.5	69.4
	30～39歳 (n=123)	87.8	56.9	74.8	82.1	63.4
	40～49歳 (n=169)	85.8	49.7	69.2	72.2	60.9
	50～59歳 (n=200)	72.5	40.0	61.5	59.0	49.5
	60～64歳 (n=98)	74.5	44.9	62.2	53.1	39.8
	65～69歳 (n=67)	53.7	35.8	46.3	41.8	37.3
	70～74歳 (n=97)	43.3	18.6	32.0	22.7	15.5
	75～79歳 (n=74)	37.8	18.9	31.1	13.5	17.6
80歳以上 (n=116)	31.0	6.9	14.7	9.5	9.5	
圏域	西部地区 (n=281)	69.4	38.4	56.2	54.4	42.0
	北東部地区 (n=238)	70.6	37.8	57.1	54.2	40.3
	中部地区 (n=204)	62.7	37.7	50.0	48.5	45.1
	南部地区 (n=282)	63.8	38.7	54.3	49.6	42.6

問29 今後、市や社会福祉協議会の講座・イベントがオンラインで開催（インターネットを介して参加する方法）される場合、参加しやすくなりますか。（1つに○）

今後、市や社会福祉協議会の講座・イベントがオンラインで開催（インターネットを介して参加する方法）される場合、参加しやすくなりますかについて、「分からない」（34.4%）が最も多く、次いで「変わらない」（29.6%）、「参加しやすくなる」（27.5%）となっています。



性別にみると、すべての区分で「分からない」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳、30～39歳、50～59歳は「参加しやすくなる」、40～49歳、60～64歳は「変わらない」、65～69歳以上は「分からない」が最も多くなっています。

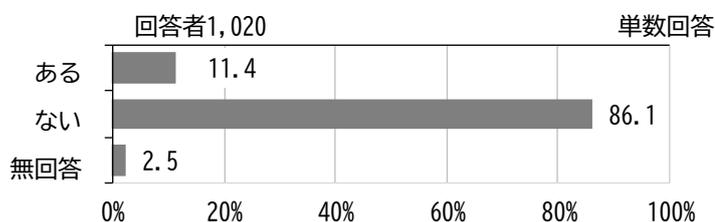
圏域別にみると、西部地区、北東部地区、中部地区は「分からない」、南部地区は「変わらない」が最も多くなっています。

(%)

		参加しやすくなる	変わらない	参加しづらくなる	分からない	無回答
各項目1位に網掛						
性別	男性 (n=429)	29.8	31.2	4.9	31.7	2.3
	女性 (n=562)	25.8	28.5	6.4	36.3	3.0
年齢	18～29歳 (n=62)	40.3	27.4	6.5	25.8	0.0
	30～39歳 (n=123)	42.3	32.5	0.0	24.4	0.8
	40～49歳 (n=169)	32.5	33.7	2.4	29.6	1.8
	50～59歳 (n=200)	36.0	31.0	5.5	26.5	1.0
	60～64歳 (n=98)	21.4	39.8	7.1	31.6	0.0
	65～69歳 (n=67)	19.4	22.4	4.5	50.7	3.0
	70～74歳 (n=97)	18.6	34.0	7.2	40.2	0.0
	75～79歳 (n=74)	13.5	20.3	12.2	44.6	9.5
80歳以上 (n=116)	9.5	16.4	12.1	51.7	10.3	
圏域	西部地区 (n=281)	26.3	30.6	7.1	34.2	1.8
	北東部地区 (n=238)	26.1	26.9	4.6	39.5	2.9
	中部地区 (n=204)	30.4	24.0	8.3	34.3	2.9
	南部地区 (n=282)	28.4	34.4	3.9	30.1	3.2

問30 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない困り事を抱えていますか。(1つに○)

現在、あなた自身やご家族はどこに相談すればいいかわからない困り事を抱えていますかについて、「ない」(86.1%)が最も多く、次いで「ある」(11.4%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「ない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「ない」が最も多くなっています。

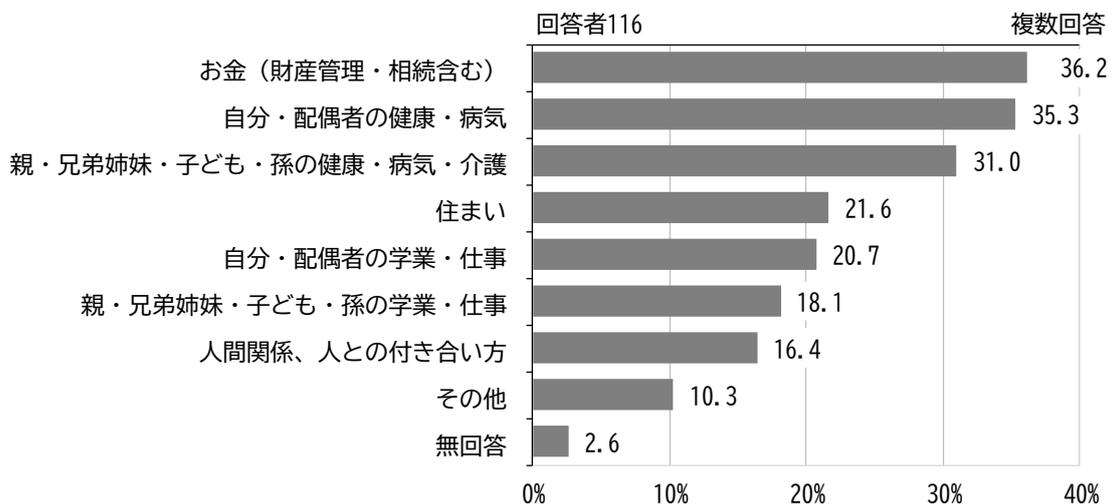
圏域別にみても、すべての圏域で「ない」が最も多くなっています。

		(%)		
		ある	ない	無回答
各項目1位に網掛				
性別	男性 (n=429)	11.9	85.8	2.3
	女性 (n=562)	10.7	86.5	2.8
年齢	18～29歳 (n=62)	3.2	96.8	0.0
	30～39歳 (n=123)	9.8	88.6	1.6
	40～49歳 (n=169)	14.2	84.0	1.8
	50～59歳 (n=200)	16.5	82.5	1.0
	60～64歳 (n=98)	9.2	89.8	1.0
	65～69歳 (n=67)	13.4	86.6	0.0
	70～74歳 (n=97)	6.2	91.8	2.1
	75～79歳 (n=74)	5.4	83.8	10.8
圏域	80歳以上 (n=116)	12.1	81.0	6.9
	西部地区 (n=281)	11.7	86.8	1.4
	北東部地区 (n=238)	11.8	84.5	3.8
	中部地区 (n=204)	10.8	85.8	3.4
	南部地区 (n=282)	10.6	87.6	1.8

付問 《問30で「ある」とお答えの方におたずねします》

差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

あなた自身やご家族がどこに相談すればいいか分からない困り事を抱えているかに「ある」と回答した方に、差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせくださいについて、「お金（財産管理・相続含む）」(36.2%) が最も多く、次いで「自分・配偶者の健康・病気」(35.3%)、「親・兄弟姉妹・子ども・孫の健康・病気・介護」(31.0%) となっています。



性別にみると、男性は「お金（財産管理・相続含む）」、女性は「親・兄弟姉妹・子ども・孫の健康・病気・介護」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「人間関係、人との付き合い方」、40～49歳は「お金（財産管理・相続含む）」、50～59歳は「親・兄弟姉妹・子ども・孫の健康・病気・介護」、60～64歳と70～74歳以上は「自分・配偶者の健康・病気」、30～39歳は「自分・配偶者の健康・病気」、「自分・配偶者の学業・仕事」、「人間関係、人との付き合い方」、「お金（財産管理・相続含む）」、65～69歳は「親・兄弟姉妹・子ども・孫の健康・病気・介護」、「住まい」、「お金（財産管理・相続含む）」が最も多くなっています。

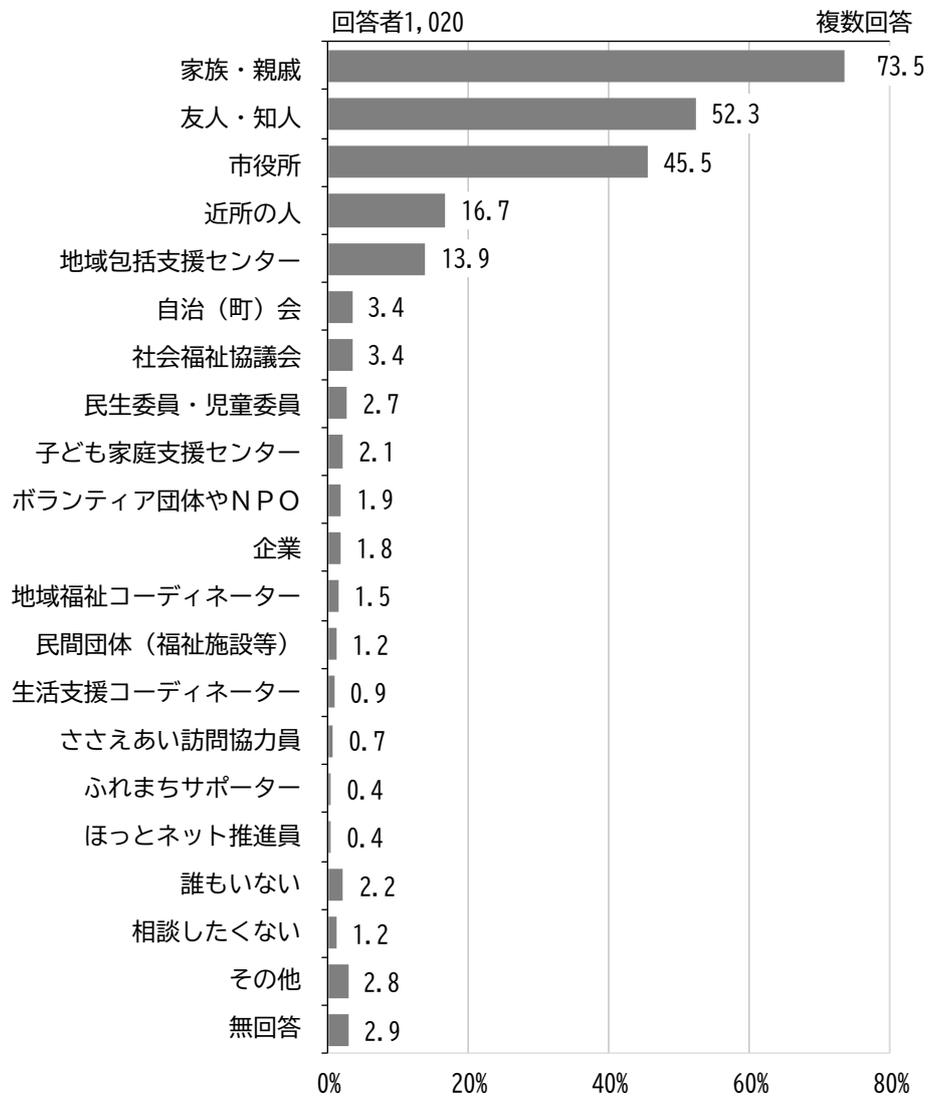
圏域別にみると、西部地区と中部地区は「お金（財産管理・相続含む）」、北東部地区は「自分・配偶者の健康・病気」、南部地区は「自分・配偶者の健康・病気」、「親・兄弟姉妹・子ども・孫の健康・病気・介護」、「お金（財産管理・相続含む）」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		自分・配偶者の健康・病気	自分・配偶者の学業・仕事	介護 親・兄弟姉妹・子ども・孫の健康・病気・	親・兄弟姉妹・子ども・孫の学業・仕事	人間関係、人との付き合い方	住まい	お金（財産管理・相続含む）	その他	無回答
性別	男性 (n=51)	33.3	21.6	19.6	21.6	15.7	27.5	39.2	13.7	3.9
	女性 (n=60)	36.7	21.7	40.0	15.0	16.7	18.3	35.0	5.0	1.7
年齢	18～29歳 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=12)	41.7	41.7	33.3	25.0	41.7	8.3	41.7	0.0	0.0
	40～49歳 (n=24)	20.8	25.0	29.2	16.7	12.5	25.0	58.3	8.3	0.0
	50～59歳 (n=33)	21.2	27.3	42.4	27.3	15.2	15.2	36.4	12.1	3.0
	60～64歳 (n=9)	55.6	11.1	44.4	11.1	0.0	22.2	22.2	22.2	0.0
	65～69歳 (n=9)	22.2	11.1	33.3	11.1	22.2	33.3	33.3	11.1	0.0
	70～74歳 (n=6)	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3	0.0
	75～79歳 (n=4)	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
80歳以上 (n=14)	64.3	0.0	7.1	14.3	0.0	35.7	28.6	0.0	14.3	
圏域	西部地区 (n=33)	33.3	15.2	30.3	18.2	18.2	21.2	45.5	9.1	3.0
	北東部地区 (n=28)	35.7	21.4	25.0	7.1	21.4	21.4	25.0	10.7	0.0
	中部地区 (n=22)	22.7	18.2	22.7	22.7	9.1	22.7	31.8	13.6	4.5
	南部地区 (n=30)	43.3	30.0	43.3	23.3	13.3	23.3	43.3	6.7	3.3

問31 地域で暮らす中で困ったときは、誰（機関）に相談したいですか。もしくは相談したことがありますか。（いくつでも○）

地域で暮らす中で困ったときに誰（機関）に相談したいか、もしくは相談したことがありますかについて、「家族・親戚」（73.5%）が最も多く、次いで「友人・知人」（52.3%）、「市役所」（45.5%）となっています。



性別にみると、すべての区分で「家族・親戚」が最も多くなっています。
 年齢別にみても、すべての年齢で「家族・親戚」が最も多くなっています。
 圏域別にみても、すべての圏域で「家族・親戚」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		家族・親戚	友人・知人	近所の人	自治(町)会	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	民間団体(福祉施設等)	地域包括支援センター	子ども家庭支援センター	ボランティア団体	市役所
性別	男性 (n=429)	69.9	45.0	14.7	5.1	3.5	4.4	1.6	12.4	1.2	2.1	51.5
	女性 (n=562)	76.3	57.8	18.1	2.3	2.0	2.8	0.7	15.1	2.8	1.6	41.1
年齢	18～29歳 (n=62)	85.5	69.4	4.8	0.0	1.6	1.6	0.0	4.8	6.5	3.2	19.4
	30～39歳 (n=123)	83.7	61.0	17.9	2.4	0.8	0.0	0.8	2.4	8.9	3.3	40.7
	40～49歳 (n=169)	81.1	64.5	16.6	1.8	1.2	1.2	2.4	2.4	1.2	1.8	45.0
	50～59歳 (n=200)	70.0	55.0	16.5	4.0	3.0	3.0	1.0	13.5	2.0	2.0	53.0
	60～64歳 (n=98)	65.3	51.0	20.4	3.1	2.0	4.1	0.0	11.2	0.0	2.0	52.0
	65～69歳 (n=67)	62.7	37.3	13.4	6.0	1.5	7.5	0.0	23.9	0.0	0.0	53.7
	70～74歳 (n=97)	71.1	47.4	18.6	3.1	2.1	6.2	4.1	19.6	0.0	1.0	56.7
	75～79歳 (n=74)	64.9	35.1	25.7	5.4	5.4	6.8	0.0	24.3	0.0	2.7	40.5
80歳以上 (n=116)	72.4	36.2	13.8	6.0	6.9	5.2	0.0	33.6	0.0	0.9	37.1	
圏域	西部地区 (n=281)	76.2	52.7	18.5	4.3	2.1	2.8	1.4	14.2	2.1	1.4	40.9
	北東部地区 (n=238)	73.1	47.9	13.4	2.9	0.8	3.4	1.3	12.2	1.7	0.4	46.6
	中部地区 (n=204)	69.6	51.5	14.2	2.0	3.4	3.9	2.0	15.2	1.0	2.5	48.0
	南部地区 (n=282)	74.5	56.4	19.5	4.3	4.3	3.9	0.0	14.2	3.2	3.2	47.5

各項目1位に網掛		企業	ふれまちなちサポーター	ほっとネット推進員	地域福祉コーディネーター	生活支援コーディネーター	力ささえあい訪問協力員	誰もいない	相談したくない	その他	無回答
性別	男性 (n=429)	3.0	0.2	0.2	2.1	1.4	0.5	4.0	2.1	2.3	2.3
	女性 (n=562)	0.9	0.5	0.4	1.1	0.5	0.9	0.9	0.4	3.0	3.6
年齢	18～29歳 (n=62)	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0
	30～39歳 (n=123)	4.1	0.8	0.8	1.6	1.6	0.8	1.6	0.8	1.6	1.6
	40～49歳 (n=169)	2.4	0.0	0.6	1.8	0.6	0.0	3.0	1.2	3.0	0.6
	50～59歳 (n=200)	2.5	0.0	0.5	2.5	1.5	0.0	2.5	1.0	2.0	1.5
	60～64歳 (n=98)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	2.0	3.1	6.1	1.0
	65～69歳 (n=67)	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	6.0	3.0	3.0	1.5
	70～74歳 (n=97)	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.1	0.0	0.0	4.1
	75～79歳 (n=74)	0.0	1.4	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	2.7	6.8
80歳以上 (n=116)	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	3.4	0.0	0.9	6.0	11.2	
圏域	西部地区 (n=281)	1.4	0.7	0.4	1.1	1.1	1.1	2.8	1.4	3.2	1.1
	北東部地区 (n=238)	2.5	0.0	0.8	0.8	0.4	0.8	1.7	1.3	2.9	3.4
	中部地区 (n=204)	0.5	0.5	0.5	2.5	1.5	0.5	2.5	1.0	2.0	5.9
	南部地区 (n=282)	2.5	0.4	0.0	1.8	0.7	0.4	1.4	1.1	2.8	2.5

問 31 の選択肢（1～3、18、19 以外 ※以下参照）のうち、実際に相談してよかったこと（機関名・団体名、解決できたことなど）がありましたらお書きください。（自由記述）

<意見>

- ✓ 地域包括支援センターには父や母が急に介護が必要になった時相談してアドバイスをもらい動いてもらい助かった。
- ✓ 教育相談から、若者支援窓口を相談してもらった。
- ✓ 保育園の支援センターを利用しています。子育てについて先生や栄養士さん、養護の先生が相談に乗って下さり助かっています。
- ✓ ほっとネットに相談し、話を聞いてもらい落ち着いて対応が出来ました。
- ✓ 鳩にえさをやる人がおり、道路管理課が即対応してくれてすばらしい看板（文句が良かった）を設置してくれた。
- ✓ 体調がひどく悪くなりメンタルでもおちこんで、市の情報誌でみて市役所の相談窓口にてtelしました。ていねいな対応でした。

（その他の意見）

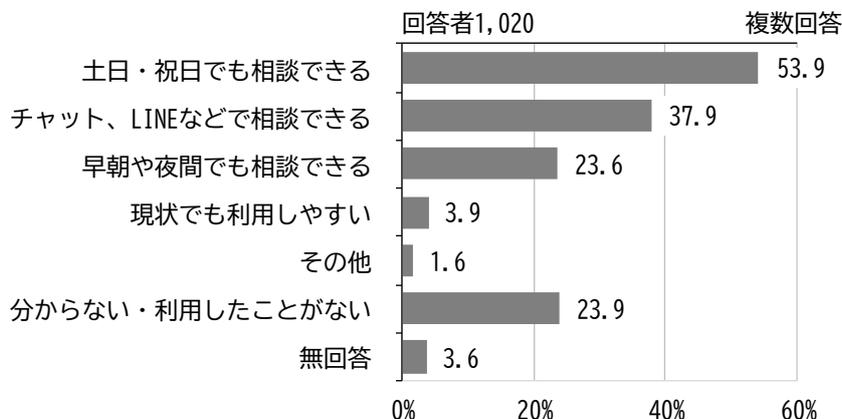
- ✓ 公の仕事をしている方には守秘義務があることをしっかり守っていただきたい。そうでないと、本当に心から相談できるかどうか私は不安です。
- ✓ 市役所はあまり頼りにならなかった。

※問 31 選択肢（1～3、18、19 以外）

- 4 自治（町）会
- 5 民生委員・児童委員
- 6 社会福祉協議会
- 7 民間団体（福祉施設等）
- 8 地域包括支援センター
- 9 子ども家庭支援センター
- 10 ボランティア団体やNPO
- 11 市役所
- 12 企業
- 13 ふれまちサポーター
- 14 ほっとネット推進員
- 15 地域福祉コーディネーター
- 16 生活支援コーディネーター
- 17 ささえあい訪問協力員
- 20 その他

問32 相談窓口をより利用しやすくする方法は何ですか。(いくつでも○)

相談窓口をより利用しやすくする方法は何ですかについて、「土日・祝日でも相談できる」(53.9%)が最も多く、次いで「チャット、LINEなどで相談できる」(37.9%)、「分からない・利用したことがない」(23.9%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「土日・祝日でも相談できる」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「チャット、LINEなどで相談できる」、30～39歳から70～74歳までは「土日・祝日でも相談できる」、75～79歳以上は「分からない・利用したことがない」が最も多くなっています。

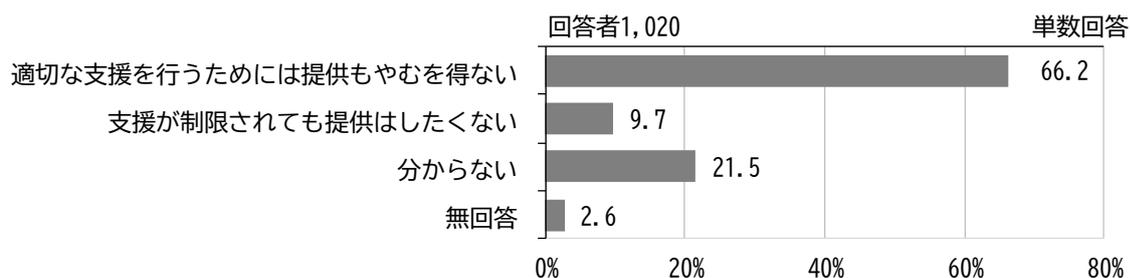
圏域別にみると、すべての圏域で「土日・祝日でも相談できる」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		土日・祝日でも相談できる	早朝や夜間でも相談できる	LINE、チャットなどで相談できる	その他	現状でも利用しやすい	分からない・利用しない	無回答
性別	男性 (n=429)	55.9	25.9	36.1	1.6	5.1	22.1	4.0
	女性 (n=562)	52.1	21.9	38.4	1.6	3.2	25.3	3.6
年齢	18～29歳 (n=62)	35.5	21.0	64.5	0.0	1.6	24.2	0.0
	30～39歳 (n=123)	68.3	36.6	65.0	1.6	0.8	8.9	1.6
	40～49歳 (n=169)	62.1	30.8	55.0	2.4	3.6	16.6	1.2
	50～59歳 (n=200)	63.5	28.5	48.0	1.5	1.5	17.0	0.5
	60～64歳 (n=98)	64.3	21.4	35.7	2.0	4.1	22.4	0.0
	65～69歳 (n=67)	46.3	16.4	14.9	1.5	9.0	29.9	9.0
	70～74歳 (n=97)	44.3	12.4	18.6	0.0	5.2	37.1	1.0
	75～79歳 (n=74)	39.2	10.8	2.7	0.0	6.8	40.5	12.2
80歳以上 (n=116)	33.6	18.1	4.3	3.4	7.8	38.8	13.8	
圏域	西部地区 (n=281)	57.7	26.0	37.0	1.8	4.3	24.2	1.4
	北東部地区 (n=238)	52.5	24.4	40.3	0.8	2.5	25.2	4.2
	中部地区 (n=204)	55.9	20.6	35.8	2.0	4.4	21.1	4.9
	南部地区 (n=282)	50.7	23.8	37.9	1.8	4.6	24.1	4.6

問33 生活支援や福祉サービスをより適切に実施するために、個人情報保護法を遵守する関係機関がご本人の承諾を得た個人情報を必要とするケースがあります。あなたは、関係機関に個人情報を提供することについてどう考えますか。(1つに○)

生活支援や福祉サービスをより適切に実施するために、個人情報保護法を遵守する関係機関がご本人の承諾を得た個人情報を必要とするケースがあります。あなたは、関係機関に個人情報を提供することについてどう考えますかについて、「適切な支援を行うためには提供もやむを得ない」(66.2%)が最も多く、次いで「分からない」(21.5%)、「支援が制限されても提供はしたくない」(9.7%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「適切な支援を行うためには提供もやむを得ない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「適切な支援を行うためには提供もやむを得ない」が最も多くなっています。

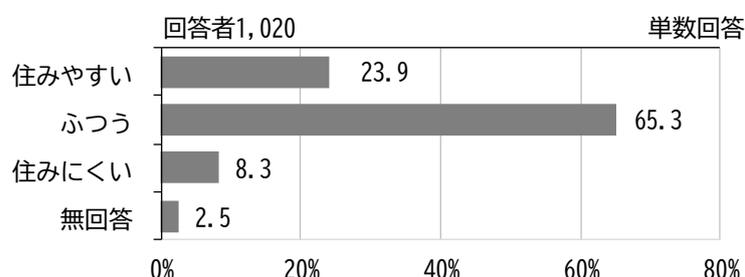
圏域別にみても、すべての圏域で「適切な支援を行うためには提供もやむを得ない」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		むた適 をめ切 得にな は支 い提 供を も行 やう	いも支 提援 供が は制 し限 たさ くれ なて	分 か ら な い	無 回 答
性別	男性 (n=429)	69.7	10.0	18.2	2.1
	女性 (n=562)	64.4	8.4	24.0	3.2
年齢	18~29歳 (n=62)	61.3	11.3	27.4	0.0
	30~39歳 (n=123)	72.4	6.5	18.7	2.4
	40~49歳 (n=169)	70.4	8.9	19.5	1.2
	50~59歳 (n=200)	67.0	12.0	19.5	1.5
	60~64歳 (n=98)	71.4	10.2	18.4	0.0
	65~69歳 (n=67)	65.7	14.9	17.9	1.5
	70~74歳 (n=97)	63.9	12.4	22.7	1.0
	75~79歳 (n=74)	63.5	5.4	24.3	6.8
80歳以上 (n=116)	56.0	5.2	28.4	10.3	
圏域	西部地区 (n=281)	68.0	11.0	19.6	1.4
	北東部地区 (n=238)	64.7	9.7	22.3	3.4
	中部地区 (n=204)	64.7	9.3	22.1	3.9
	南部地区 (n=282)	67.7	8.2	22.0	2.1

問34 お住まいの地域は、高齢者、障害者、子どもなど、誰にとっても住みやすいと思いますか。(1つに○)

お住まいの地域は、高齢者、障害者、子どもなど、誰にとっても住みやすいと思いますかについて、「ふつう」(65.3%)が最も多く、次いで「住みやすい」(23.9%)、「住みにくい」(8.3%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「ふつう」が最も多くなっています。
 年齢別にみても、すべての年齢で「ふつう」が最も多くなっています。
 圏域別にみても、すべての圏域で「ふつう」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		住みやすい	ふつう	住みにくい	無回答
性別	男性 (n=429)	24.5	66.0	7.7	1.9
	女性 (n=562)	23.7	64.6	8.7	3.0
年齢	18~29歳 (n=62)	30.6	62.9	6.5	0.0
	30~39歳 (n=123)	26.8	62.6	8.9	1.6
	40~49歳 (n=169)	27.2	58.0	13.6	1.2
	50~59歳 (n=200)	21.0	68.5	8.5	2.0
	60~64歳 (n=98)	22.4	73.5	4.1	0.0
	65~69歳 (n=67)	28.4	61.2	7.5	3.0
	70~74歳 (n=97)	15.5	75.3	8.2	1.0
	75~79歳 (n=74)	24.3	66.2	6.8	2.7
	80歳以上 (n=116)	25.0	58.6	6.0	10.3
圏域	西部地区 (n=281)	27.4	63.3	7.1	2.1
	北東部地区 (n=238)	23.9	63.9	9.2	2.9
	中部地区 (n=204)	20.1	67.6	8.8	3.4
	南部地区 (n=282)	24.1	65.6	8.5	1.8

付問 《問34で「住みにくい」とお答えの方におたずねします》

住みにくいと思う理由は何ですか。【選択欄】から3つまで選んで、最も感じる順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

居住地区が誰にとっても住みやすいと思うかに「住みにくい」と回答した方に、住みにくいと思う理由は何ですかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」(32.9%)が最も多く、次いで「買い物などが不便」、「地域住民の理解や協力が少ない」(10.6%)となっています(「その他」を除く)。

2位は「交通機関が不便・利用しにくい」(14.1%)が最も多く、次いで「親子で遊べる場所が少ない」、「利用しやすい医療機関が少ない」(11.8%)となっています。

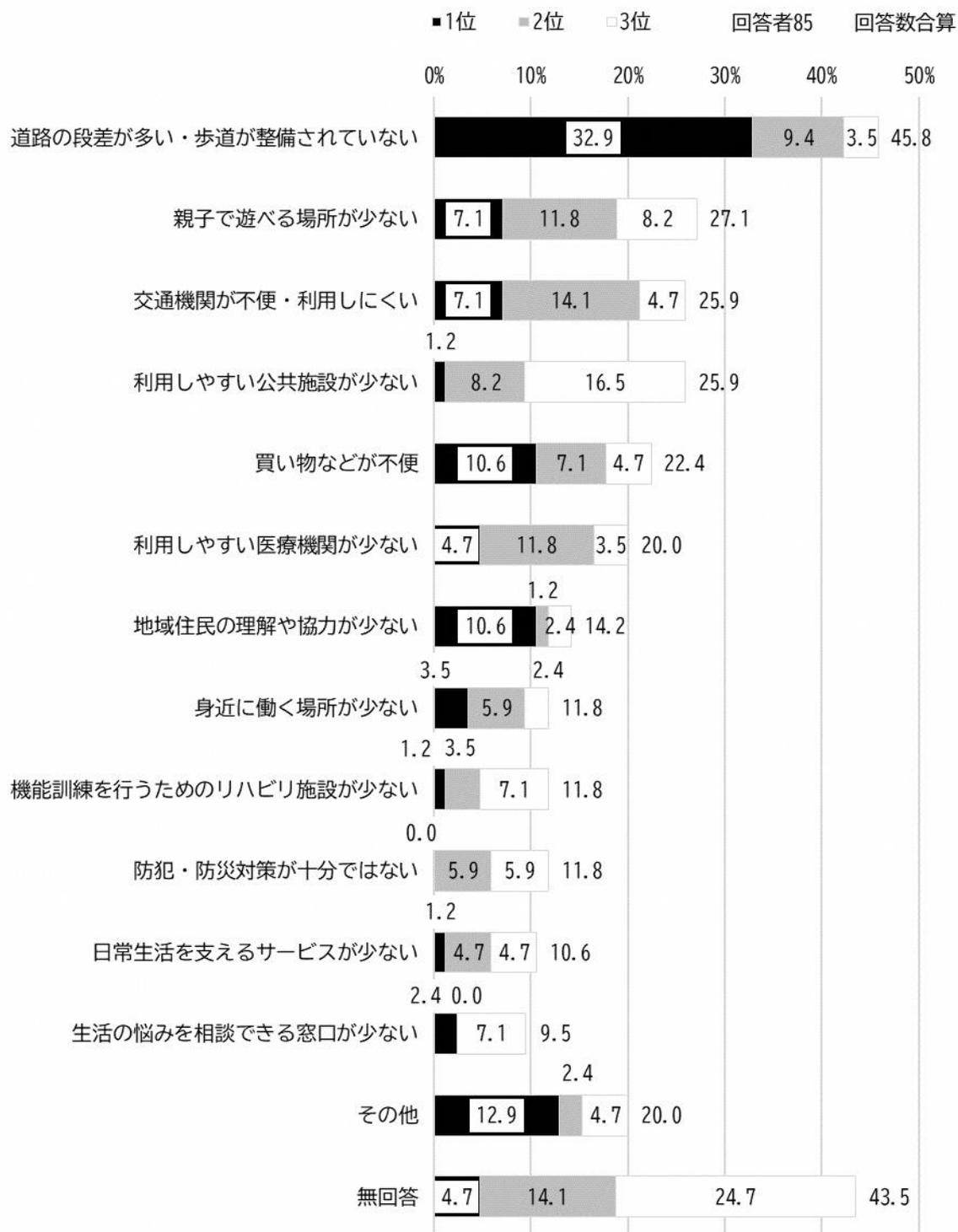
3位は「利用しやすい公共施設が少ない」(16.5%)が最も多く、次いで「親子で遊べる場所が少ない」(8.2%)、「機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない」、「生活の悩みを相談できる窓口が少ない」(7.1%)となっています。

(%)			
	1位の回答※	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	道路の段差が多い・歩道が整備されていない (32.9)	交通機関が不便・利用しにくい (14.1)	利用しやすい公共施設が少ない (16.5)
2番目に多い回答	買い物などが不便 (10.6) 地域住民の理解や協力が少ない (10.6)	親子で遊べる場所が少ない (11.8) 利用しやすい医療機関が少ない (11.8)	親子で遊べる場所が少ない (8.2)
3番目に多い回答			機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない (7.1) 生活の悩みを相談できる窓口が少ない (7.1)

※「その他」を除く

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」(45.8%) が最も多く、次いで「親子で遊べる場所が少ない」(27.1%)、「交通機関が不便・利用しにくい」、「利用しやすい医療機関が少ない」(25.9%) となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

性別にみると、すべての区分で「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳、40～49歳、50～59歳、70～74歳は「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」、65～69歳は「買い物などが不便」、75～79歳は「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多くなっています。30～39歳は「買い物などが不便」、「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」、「その他」が最も多くなっています。60～64歳は「日常生活を支えるサービスが少ない」、「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」、「利用しやすい医療機関が少ない」、「その他」が最も多くなっています。80歳以上は「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」が最も多くなっています（無回答を除く）。

圏域別にみると、すべての圏域で「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」が最も多くなっています。

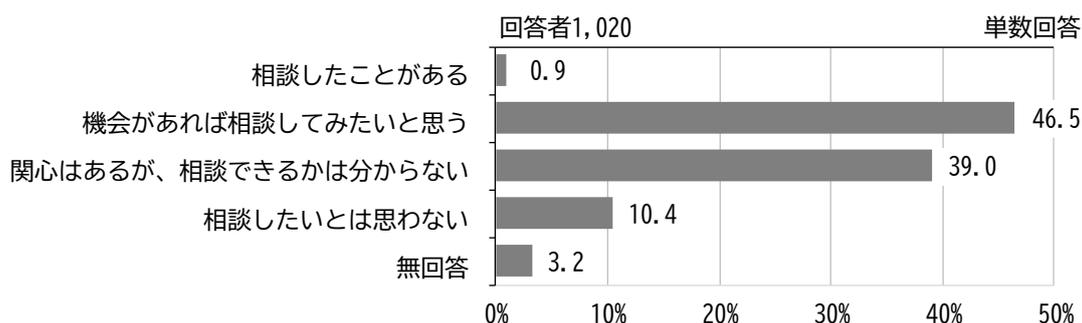
(%)

各項目1位に網掛		地域住民の理解や協力が少ない	交通機関が不便・利用しにくい	買い物などが不便	生活の悩みを相談できる窓口が少ない	日常生活を支えるサービスが少ない	利用しやすい公共施設が少ない	道路の段差が多い・歩道が整備されていない	身近に働く場所が少ない	利用しやすい医療機関が少ない	機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない	防犯・防災対策が十分ではない	親子で遊べる場所が少ない	その他	無回答
性別	男性 (n=33)	3.0	3.0	9.1	3.0	3.0	0.0	33.3	0.0	12.1	0.0	0.0	9.1	18.2	6.1
	女性 (n=49)	14.3	10.2	12.2	2.0	0.0	2.0	34.7	4.1	0.0	2.0	0.0	6.1	8.2	4.1
年齢	18～29歳 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	30～39歳 (n=11)	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0
	40～49歳 (n=23)	21.7	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	26.1	4.3	4.3	4.3	0.0	17.4	13.0	0.0
	50～59歳 (n=17)	5.9	0.0	11.8	11.8	0.0	0.0	47.1	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0
	60～64歳 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	65～69歳 (n=5)	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	70～74歳 (n=8)	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	75～79歳 (n=5)	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=7)	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
圏域	西部地区 (n=20)	20.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	北東部地区 (n=22)	4.5	9.1	22.7	0.0	0.0	0.0	31.8	4.5	4.5	0.0	0.0	13.6	9.1	0.0
	中部地区 (n=18)	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	16.7
	南部地区 (n=24)	8.3	4.2	16.7	8.3	4.2	4.2	20.8	4.2	4.2	4.2	0.0	4.2	12.5	4.2

5. 「ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）」について

問35 地域の皆様からの、生活上の困り事の相談を受け付ける窓口として、「ほっとネットステーション」を設置しており、「地域福祉コーディネーター」が常駐しております。今後、日常生活の中で何か困り事があったときに、相談してみたいと思いますか。（1つに○）

地域の皆様からの、生活上の困り事の相談を受け付ける窓口として、「ほっとネットステーション」を設置しており、「地域福祉コーディネーター」が常駐しております。今後、日常生活の中で何か困り事があったときに、相談してみたいと思いますかについて、「機会があれば相談してみたいと思う」（46.5%）が最も多く、次いで「関心はあるが、相談できるかは分からない」（39.0%）、「相談したいとは思わない」（10.4%）となっています。



性別にみると、すべての区分で「機会があれば相談してみたいと思う」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳から65～69歳までと80歳以上は「機会があれば相談してみたいと思う」、70～74歳と75～79歳は「関心はあるが、相談できるかは分からない」が最も多くなっています。

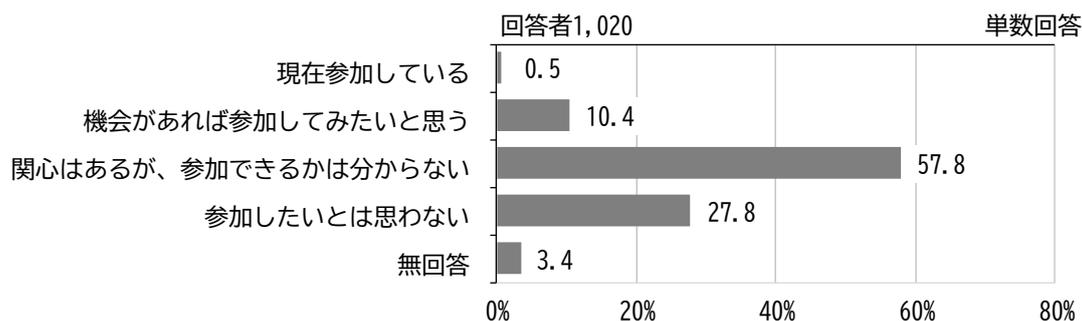
圏域別にみると、すべての圏域で「機会があれば相談してみたいと思う」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		る相 談し たこ とが あ	し機 て会 み が た あ い れ と ば 思 相 う 談	ら談 な で 心 い き は あ る か が 分 か 相	わ相 な 談 い し た い と は 思	無 回 答
性別	男性 (n=429)	0.9	43.4	40.8	12.8	2.1
	女性 (n=562)	0.9	48.8	38.1	8.2	4.1
年齢	18～29歳 (n=62)	0.0	45.2	40.3	14.5	0.0
	30～39歳 (n=123)	0.8	48.0	35.8	13.0	2.4
	40～49歳 (n=169)	1.8	47.9	37.3	12.4	0.6
	50～59歳 (n=200)	0.5	54.5	34.5	8.5	2.0
	60～64歳 (n=98)	0.0	49.0	39.8	11.2	0.0
	65～69歳 (n=67)	0.0	40.3	38.8	14.9	6.0
	70～74歳 (n=97)	1.0	41.2	50.5	6.2	1.0
	75～79歳 (n=74)	0.0	39.2	44.6	8.1	8.1
80歳以上 (n=116)	2.6	39.7	37.9	7.8	12.1	
圏域	西部地区 (n=281)	1.8	45.6	42.7	8.5	1.4
	北東部地区 (n=238)	0.8	45.8	37.0	11.8	4.6
	中部地区 (n=204)	0.5	49.5	37.3	8.3	4.4
	南部地区 (n=282)	0.4	46.1	37.9	12.8	2.8

問36 ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）の中で、地域の問題や課題を発見し、解決のために協力してくださる市民の方（ほっとネット推進員）を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。（1つに○）

ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）の中で、地域の問題や課題を発見し、解決のために協力してくださる市民の方（ほっとネット推進員）を募集しています。今後、参加してみたいと思いますかについて、「関心はあるが、参加できるかは分からない」（57.8%）が最も多く、次いで「参加したいとは思わない」（27.8%）、「機会があれば参加してみたいと思う」（10.4%）となっています。



性別にみると、すべての区分で「関心はあるが、参加できるかは分からない」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「関心はあるが、参加できるかは分からない」が最も多くなっています。

圏域別にみても、すべての圏域で「関心はあるが、参加できるかは分からない」が最も多くなっています。

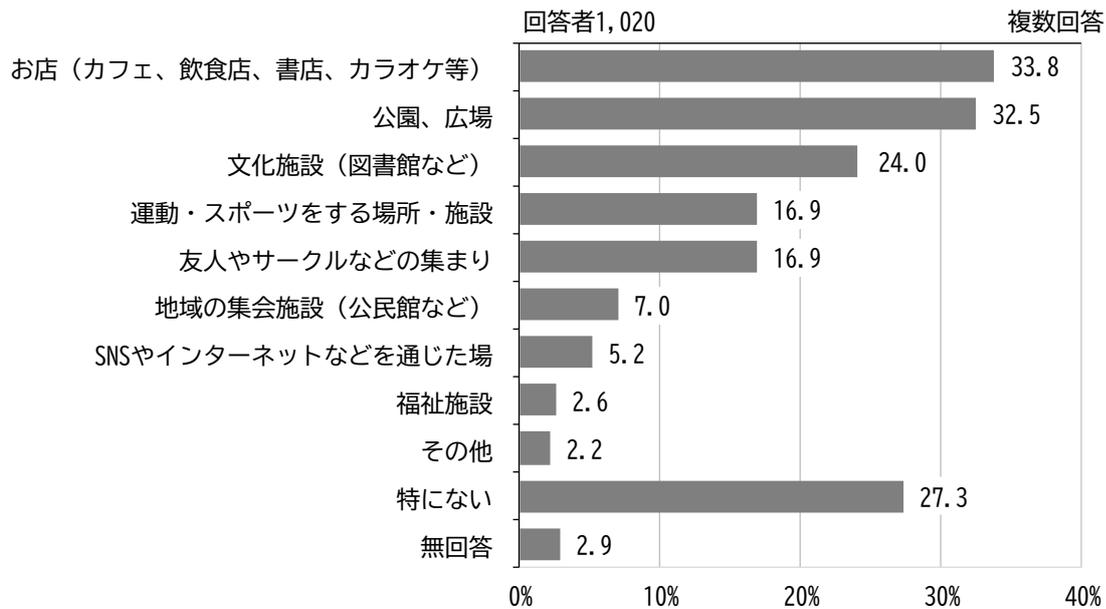
(%)

各項目1位に網掛		現在参加している	機会があれば参加したい	関心はあるが、参加できるかは分からない	参加したいとは思わない	無回答
性別	男性 (n=429)	0.5	11.4	56.9	29.1	2.1
	女性 (n=562)	0.5	9.8	59.1	26.2	4.4
年齢	18～29歳 (n=62)	0.0	19.4	51.6	29.0	0.0
	30～39歳 (n=123)	0.0	13.8	44.7	39.0	2.4
	40～49歳 (n=169)	0.6	8.9	50.9	39.1	0.6
	50～59歳 (n=200)	0.0	13.0	67.5	18.0	1.5
	60～64歳 (n=98)	0.0	9.2	64.3	26.5	0.0
	65～69歳 (n=67)	1.5	9.0	61.2	22.4	6.0
	70～74歳 (n=97)	1.0	10.3	70.1	17.5	1.0
	75～79歳 (n=74)	1.4	6.8	64.9	18.9	8.1
	80歳以上 (n=116)	0.9	4.3	46.6	33.6	14.7
圏域	西部地区 (n=281)	0.4	12.5	57.3	28.5	1.4
	北東部地区 (n=238)	0.0	8.4	55.9	30.7	5.0
	中部地区 (n=204)	1.5	8.8	61.3	23.5	4.9
	南部地区 (n=282)	0.4	11.3	58.2	27.3	2.8

6. これからの取組について

問37 ご自宅以外で、気兼ねなく過ごせる、あなたにとって「居心地の良い場所」は市内にありますか。(いくつでも○)

ご自宅以外で、気兼ねなく過ごせる、あなたにとって「居心地の良い場所」は市内にありますかについて、「お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ等）」(33.8%)が最も多く、次いで「公園、広場」(32.5%)、「特にない」(27.3%)となっています。



性別にみると、男性は「公園、広場」、女性は「お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ等）」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳から50～59歳までは「お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ等）」、60～64歳、65～69歳、75～79歳、80歳以上は「公園、広場」、70～74歳は「特にない」が最も多くなっています。

圏域別にみると、西部地区は「公園、広場」、北東部地区、中部地区、南部地区は「お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ等）」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		文化施設（図書館など）	地域の集会施設（公民館など）	運動・スポーツをする場所・施設	福祉施設	等） お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ	公園、広場	友人やサークルなどの集まり	SNSやインターネットなどを通じた場	その他	特にない	無回答
性別	男性 (n=429)	25.2	5.6	19.1	2.8	30.1	36.1	8.6	4.4	1.6	29.1	2.8
	女性 (n=562)	23.3	8.2	15.5	2.5	37.5	30.8	23.7	5.7	2.5	25.1	3.0
年齢	18～29歳 (n=62)	24.2	3.2	17.7	1.6	53.2	24.2	17.7	12.9	1.6	22.6	0.0
	30～39歳 (n=123)	18.7	5.7	12.2	1.6	52.0	46.3	17.9	13.8	2.4	19.5	0.8
	40～49歳 (n=169)	21.9	3.6	17.8	0.0	37.9	33.7	16.0	4.7	3.0	28.4	0.6
	50～59歳 (n=200)	24.5	4.5	10.5	0.5	40.5	27.0	14.0	4.5	1.5	32.5	2.0
	60～64歳 (n=98)	28.6	9.2	20.4	2.0	32.7	35.7	17.3	4.1	3.1	23.5	0.0
	65～69歳 (n=67)	28.4	4.5	17.9	0.0	26.9	32.8	11.9	0.0	0.0	31.3	6.0
	70～74歳 (n=97)	24.7	9.3	22.7	4.1	24.7	25.8	17.5	4.1	3.1	30.9	4.1
	75～79歳 (n=74)	24.3	10.8	24.3	5.4	16.2	36.5	23.0	1.4	1.4	25.7	4.1
80歳以上 (n=116)	26.7	15.5	19.8	10.3	13.8	32.8	21.6	0.9	2.6	23.3	10.3	
圏域	西部地区 (n=281)	25.3	8.5	18.9	2.1	34.9	37.0	16.7	4.6	2.8	24.6	1.8
	北東部地区 (n=238)	23.9	7.6	18.9	2.9	31.5	29.4	16.0	7.1	0.8	28.2	2.9
	中部地区 (n=204)	26.0	7.4	12.3	2.9	34.8	30.4	17.6	2.5	2.5	28.9	2.5
	南部地区 (n=282)	22.3	5.0	17.4	2.5	35.5	33.3	18.1	6.0	2.5	27.0	3.9

問38 安心して暮らせるまちのために、住民参加の取組として、どのような活動が重要だと思いますか。【選択欄】から3つまで選んで、最も重要な順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

安心して暮らせるまちのために、住民参加の取組として、どのような活動が重要だと思いますかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「地域での声かけ、見守り活動」(23.7%)が最も多く、次いで「災害時に助け合うための関係づくり」(17.5%)、「防犯活動」(10.4%)となっています。

2位は「災害時に助け合うための関係づくり」(15.7%)が最も多く、次いで「防犯活動」(13.2%)、「子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)」(8.3%)となっています。

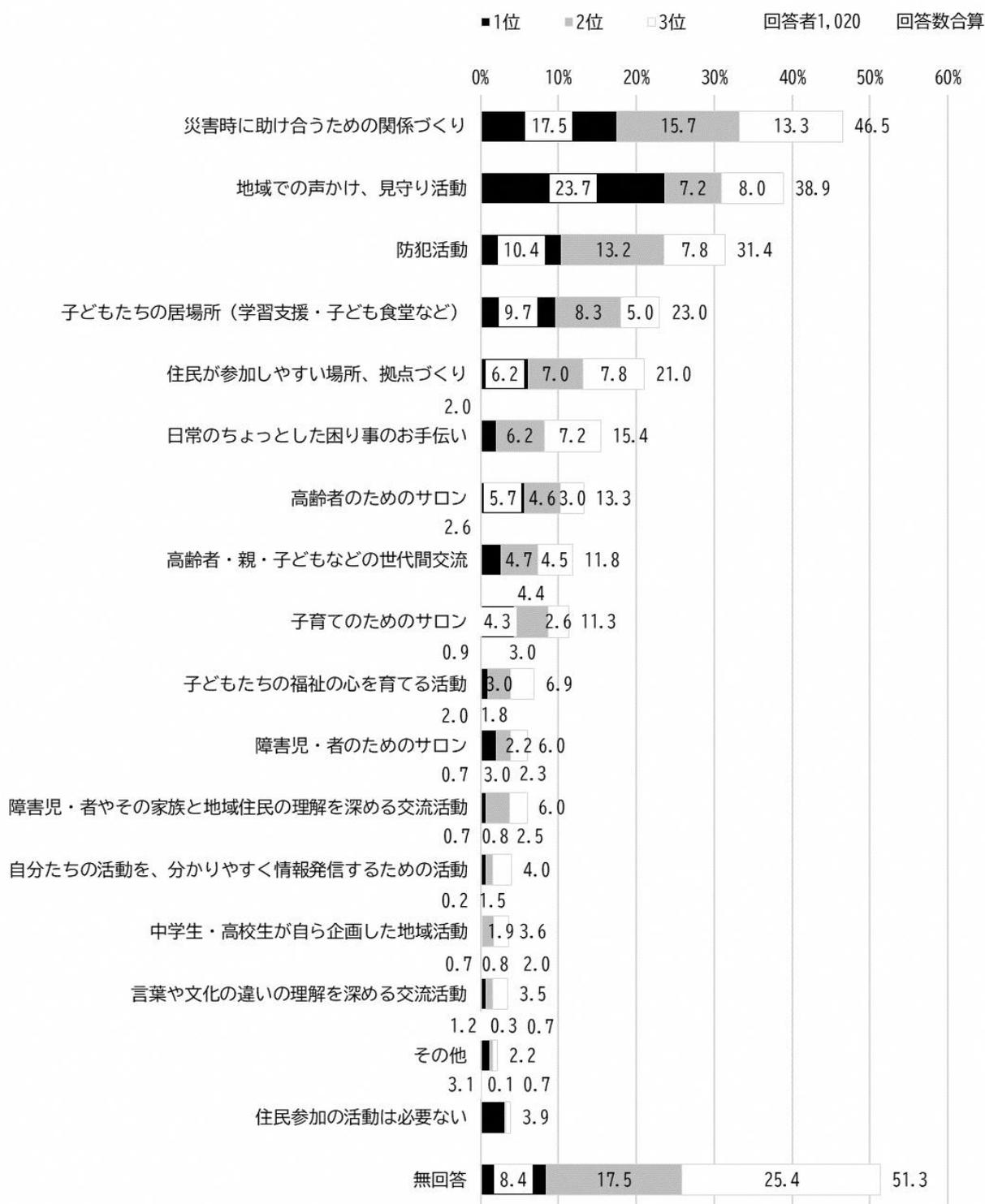
3位は「災害時に助け合うための関係づくり」(13.3%)が最も多く、次いで「地域での声かけ、見守り活動」(8.0%)、「防犯活動」、「住民が参加しやすい場所、拠点づくり」(7.8%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	地域での声かけ、見守り活動(23.7)	災害時に助け合うための関係づくり(15.7)	災害時に助け合うための関係づくり(13.3)
2番目に多い回答	災害時に助け合うための関係づくり(17.5)	防犯活動(13.2)	地域での声かけ、見守り活動(8.0)
3番目に多い回答	防犯活動(10.4)	子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)(8.3)	防犯活動(7.8) 住民が参加しやすい場所、拠点づくり(7.8)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「災害時に助け合うための関係づくり」(46.5%)が最も多く、次いで「地域での声かけ、見守り活動」(38.9%)、「防犯活動」(31.4%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

性別にみると、すべての区分で「地域での声かけ、見守り活動」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳は「防犯活動」、30～39歳は「子どもたちの居場所（学習支援・子ども食堂など）」、40～49歳は「地域での声かけ、見守り活動」と「災害時に助け合うための関係づくり」、50～59歳と65～69歳は「災害時に助け合うための関係づくり」、60～64歳と70～74歳以上は「地域での声かけ、見守り活動」が最も多くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「地域での声かけ、見守り活動」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		地域での声かけ、見守り活動	高齢者のためのサロン	障害児・者のためのサロン	子育てのためのサロン	子どもたちの居場所（学習支援・子ども食堂など）	子どもたちの福祉の心を育てる活動	高齢者・親・子どもとの世代間交流	障害児・者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動	防犯活動	災害時に助け合うための関係づくり
性別	男性 (n=429)	22.6	5.1	2.8	2.1	9.3	0.9	2.1	1.4	12.8	19.1
	女性 (n=562)	24.9	5.9	1.2	5.7	10.3	0.9	3.0	0.2	8.4	16.7
年齢	18～29歳 (n=62)	11.3	4.8	6.5	8.1	8.1	1.6	1.6	0.0	16.1	11.3
	30～39歳 (n=123)	17.1	1.6	1.6	11.4	18.7	0.8	4.1	0.0	13.8	12.2
	40～49歳 (n=169)	20.7	3.0	1.8	7.1	14.8	1.2	1.8	1.2	11.2	20.7
	50～59歳 (n=200)	18.0	5.5	3.0	4.0	10.0	0.0	1.5	1.0	13.0	18.5
	60～64歳 (n=98)	39.8	5.1	3.1	1.0	6.1	2.0	1.0	1.0	8.2	14.3
	65～69歳 (n=67)	16.4	6.0	1.5	1.5	7.5	0.0	3.0	0.0	13.4	22.4
	70～74歳 (n=97)	30.9	9.3	0.0	0.0	9.3	1.0	2.1	2.1	7.2	21.6
	75～79歳 (n=74)	35.1	8.1	1.4	0.0	6.8	1.4	6.8	0.0	1.4	18.9
80歳以上 (n=116)	30.2	9.5	0.0	1.7	0.9	0.9	3.4	0.0	6.0	17.2	
圏域	西部地区 (n=281)	27.4	4.6	1.4	3.6	11.4	0.7	2.8	0.7	9.6	17.1
	北東部地区 (n=238)	22.3	5.9	1.3	3.8	11.3	1.3	2.5	0.0	10.5	15.5
	中部地区 (n=204)	19.6	6.9	2.5	4.4	8.8	0.5	3.4	1.0	11.3	18.6
	南部地区 (n=282)	24.8	5.3	2.8	5.3	7.8	1.1	1.8	1.1	10.6	19.1

(次ページに続く)

(%)

各項目1位に網掛			住民が参加しやすい場所、拠点づくり	日常のちよつとした困り事のお手伝い	言葉や文化の違いの理解を深める交流活動	中学生・高校生が自ら企画した地域活動	自分たちの活動を、分りやすく情報発信するため	その他	住民参加の活動は必要ない	無回答
性別	男性	(n=429)	6.3	1.9	0.2	0.2	0.9	0.7	3.3	8.2
	女性	(n=562)	5.7	2.1	1.1	0.2	0.5	1.4	3.0	8.7
年齢	18～29歳	(n=62)	6.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	14.5	1.6
	30～39歳	(n=123)	4.9	3.3	0.8	0.0	0.0	1.6	4.1	4.1
	40～49歳	(n=169)	4.7	1.2	0.0	0.0	0.6	1.8	4.1	4.1
	50～59歳	(n=200)	8.5	3.0	2.0	0.0	0.5	2.0	2.5	7.0
	60～64歳	(n=98)	6.1	0.0	0.0	1.0	2.0	1.0	1.0	7.1
	65～69歳	(n=67)	4.5	3.0	1.5	0.0	3.0	0.0	4.5	11.9
	70～74歳	(n=97)	7.2	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2
	75～79歳	(n=74)	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	14.9
	80歳以上	(n=116)	5.2	1.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	21.6
圏域	西部地区	(n=281)	6.4	2.1	0.7	0.0	0.7	1.4	2.8	6.4
	北東部地区	(n=238)	7.6	0.4	1.7	0.0	1.3	1.3	2.9	10.5
	中部地区	(n=204)	6.4	2.5	0.5	1.0	1.0	1.0	2.9	7.8
	南部地区	(n=282)	3.9	2.8	0.0	0.0	0.0	1.1	3.9	8.5

問39 前問（問38）のような住民参加の取組を進めるに当たって、何が必要だと思いますか。

【選択欄】から3つまで選んで、最も必要な順に記入してください。

（1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式）

1位	2位	3位

前問（問38）のような住民参加の取組を進めるに当たって、何が必要だと思いますかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「活動を支える協力者」（30.7%）が最も多く、次いで「リーダーの養成」（9.8%）、「活動の資金」、「活動する場」（9.5%）となっています。

2位は「活動する場」（12.3%）が最も多く、次いで「活動者・協力者間の交流・相談の場」（11.7%）、「活動の資金」（11.0%）となっています。

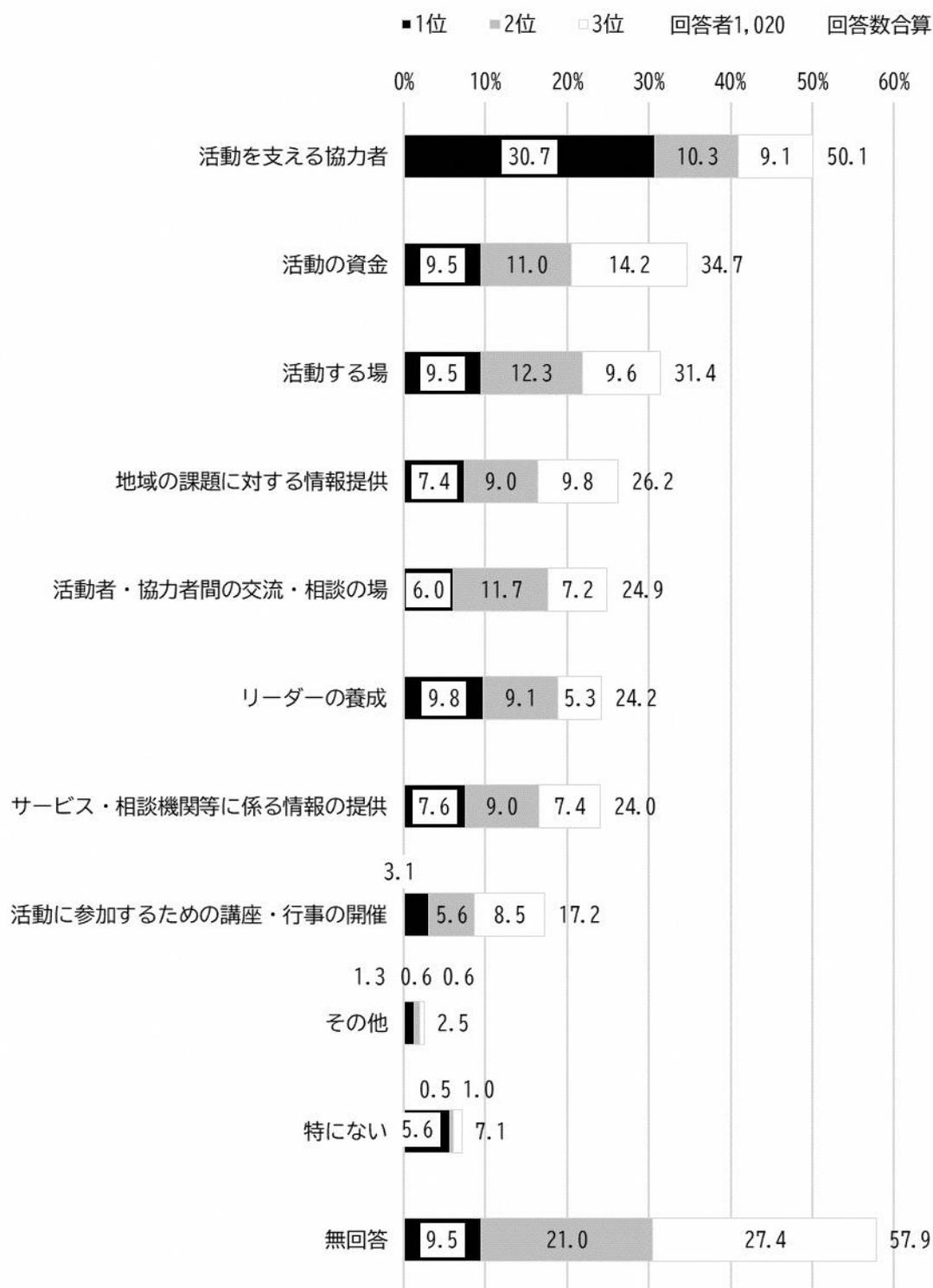
3位は「活動の資金」（14.2%）が最も多く、次いで「地域の課題に対する情報提供」（9.8%）、「活動する場」（9.6%）となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	活動を支える協力者 (30.7)	活動する場 (12.3)	活動の資金 (14.2)
2番目に多い回答	リーダーの養成 (9.8)	活動者・協力者間の交流・相談の場 (11.7)	地域の課題に対する情報提供 (9.8)
3番目に多い回答	活動の資金 (9.5) 活動する場 (9.5)	活動の資金 (11.0)	活動する場 (9.6)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「活動を支える協力者」(50.1%)が最も多く、次いで「活動の資金」(34.7%)、「活動する場」(31.4%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

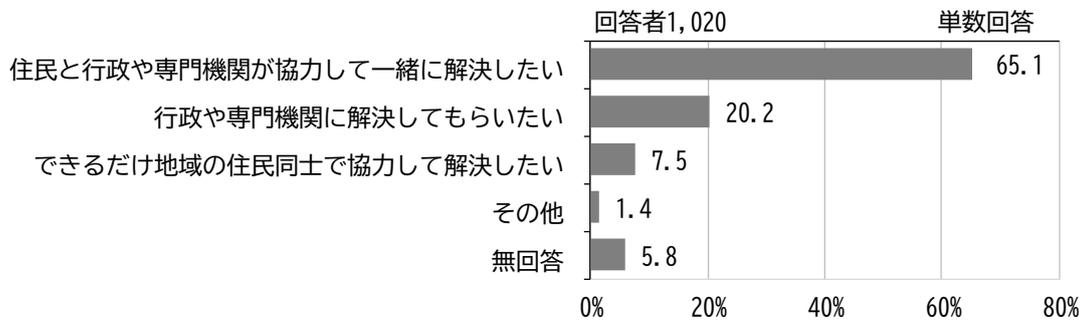
性別にみると、すべての区分で「活動を支える協力者」が最も多くなっています。
 年齢別にみても、すべての年齢で「活動を支える協力者」が最も多くなっています。
 圏域別にみても、すべての圏域で「活動を支える協力者」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		活動を支える協力者	リーダーの養成	活動者・協力者間の交流・相談の場	活動する場	サービス・相談機関等に係る情報の提供	活動の資金	地域の課題に対する情報提供	活動に参加するための講座・行事の開催	その他	特にない	無回答
性別	男性 (n=429)	27.3	12.6	6.1	8.2	6.8	12.1	7.2	3.7	0.9	6.3	8.9
	女性 (n=562)	33.6	7.7	5.7	10.7	7.8	8.0	7.3	2.8	1.4	5.0	10.0
年齢	18～29歳 (n=62)	22.6	8.1	4.8	16.1	9.7	9.7	8.1	1.6	3.2	14.5	1.6
	30～39歳 (n=123)	26.8	7.3	8.1	7.3	8.9	12.2	11.4	1.6	2.4	7.3	6.5
	40～49歳 (n=169)	26.6	13.0	5.9	13.0	4.7	11.8	7.1	3.6	0.6	10.1	3.6
	50～59歳 (n=200)	31.5	7.5	8.5	9.0	10.0	12.0	6.0	5.0	1.5	3.5	5.5
	60～64歳 (n=98)	29.6	14.3	3.1	10.2	8.2	13.3	6.1	5.1	0.0	3.1	7.1
	65～69歳 (n=67)	23.9	7.5	3.0	6.0	9.0	11.9	13.4	3.0	1.5	6.0	14.9
	70～74歳 (n=97)	35.1	11.3	5.2	13.4	8.2	7.2	6.2	2.1	1.0	2.1	8.2
	75～79歳 (n=74)	37.8	9.5	2.7	9.5	8.1	1.4	8.1	2.7	1.4	1.4	17.6
80歳以上 (n=116)	41.4	8.6	6.9	2.6	1.7	2.6	1.7	1.7	0.9	4.3	27.6	
圏域	西部地区 (n=281)	31.3	7.5	7.1	10.0	5.3	12.1	6.8	3.9	1.4	7.1	7.5
	北東部地区 (n=238)	26.1	14.7	7.1	11.3	8.4	6.7	7.1	2.5	0.8	5.5	9.7
	中部地区 (n=204)	32.8	7.8	5.4	7.8	8.3	10.3	8.3	2.9	2.0	3.4	10.8
	南部地区 (n=282)	32.6	9.2	4.3	9.2	8.2	9.2	6.7	3.2	1.1	6.0	10.3

問40 今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに○)

今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますかについて、「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」(65.1%)が最も多く、次いで「行政や専門機関に解決してもらいたい」(20.2%)、「できるだけ地域の住民同士で協力して解決したい」(7.5%)となっています。



性別にみると、すべての区分で「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」が最も多くなっています。

年齢別にみても、すべての年齢で「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」が最も多くなっています。

圏域別にみても、すべての圏域で「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」が最も多くなっています。

各項目1位に網掛		住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい (%)	行政や専門機関に解決してもらいたい (%)	できるだけ地域の住民同士で協力して解決したい (%)	その他 (%)	無回答 (%)
性別	男性 (n=429)	63.4	23.1	6.8	1.4	5.4
	女性 (n=562)	66.7	18.0	8.2	1.2	5.9
年齢	18~29歳 (n=62)	50.0	40.3	8.1	1.6	0.0
	30~39歳 (n=123)	60.2	30.1	6.5	1.6	1.6
	40~49歳 (n=169)	65.7	25.4	5.9	0.6	2.4
	50~59歳 (n=200)	70.0	15.5	8.5	2.0	4.0
	60~64歳 (n=98)	69.4	22.4	3.1	3.1	2.0
	65~69歳 (n=67)	70.1	16.4	3.0	3.0	7.5
	70~74歳 (n=97)	74.2	14.4	8.2	0.0	3.1
	75~79歳 (n=74)	66.2	6.8	13.5	0.0	13.5
80歳以上 (n=116)	53.4	14.7	11.2	0.9	19.8	
圏域	西部地区 (n=281)	64.8	21.7	7.8	1.4	4.3
	北東部地区 (n=238)	63.4	22.7	6.3	1.3	6.3
	中部地区 (n=204)	65.7	19.6	9.8	0.5	4.4
	南部地区 (n=282)	66.3	17.7	6.7	2.1	7.1

問41 市の地域福祉推進のために重要な取組は何ですか。【選択欄】から3つまで選んで、最も重要な順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

市の地域福祉推進のために重要な取組は何ですかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「分かりやすい情報の提供」(16.1%)が最も多く、次いで「学校における福祉教育の充実」(9.8%)、「福祉活動を行う人材の発掘」(8.2%)となっています。

2位は「分かりやすい情報の提供」(11.0%)が最も多く、次いで「防災対策の充実」(8.8%)、「相談支援体制の充実」(7.7%)となっています。

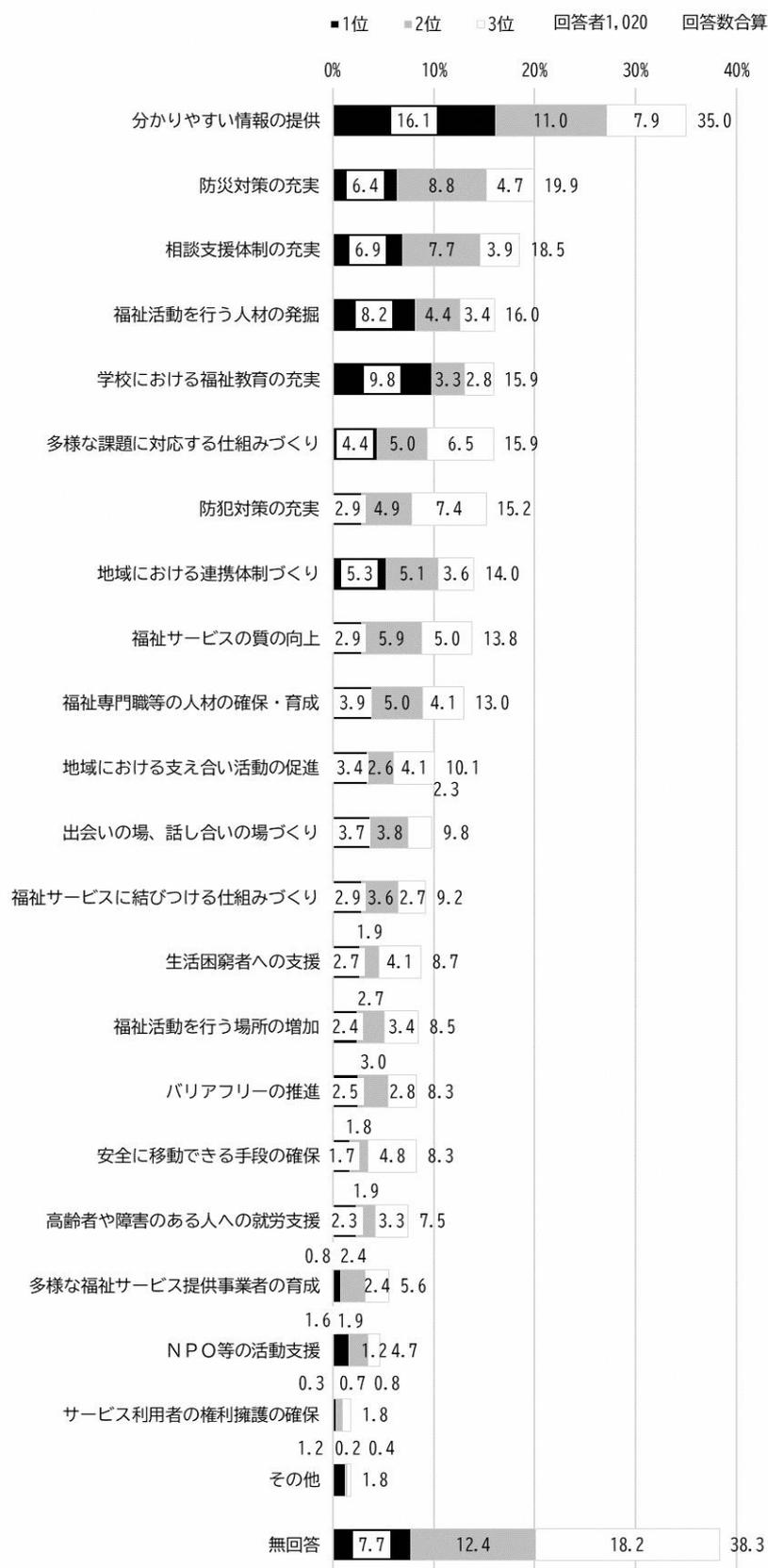
3位は「分かりやすい情報の提供」(7.9%)が最も多く、次いで「防犯対策の充実」(7.4%)、「多様な課題に対応する仕組みづくり」(6.5%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	分かりやすい情報の提供 (16.1)	分かりやすい情報の提供 (11.0)	分かりやすい情報の提供 (7.9)
2番目に多い回答	学校における福祉教育の充実 (9.8)	防災対策の充実 (8.8)	防犯対策の充実 (7.4)
3番目に多い回答	福祉活動を行う人材の発掘 (8.2)	相談支援体制の充実 (7.7)	多様な課題に対応する仕組みづくり (6.5)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「分かりやすい情報の提供」(35.0%)が最も多く、次いで「防災対策の充実」(19.9%)、「相談支援体制の充実」(18.5%)となっています。



< 1 位回答のクロス集計 >

性別にみると、すべての区分で「分かりやすい情報の提供」が最も多くなっています。

年齢別にみると、18～29 歳は「学校における福祉教育の充実」、30～39 歳から 70～74 歳までは「分かりやすい情報の提供」（60～64 歳は「福祉活動を行う人材の発掘」が同率）、75～79 歳以上は「福祉活動を行う人材の発掘」が最も多くなっています。

圏域別にみると、すべての圏域で「分かりやすい情報の提供」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		学校における福祉教育の充実	福祉活動を行う人材の発掘	福祉活動を行う場所の増加	NPO等の活動支援	地域における連携体制づくり	出合いの場、話し合いの場づくり	促進地域における支え合い活動の	相談支援体制の充実	分かりやすい情報の提供	確保	サービス利用者の権利擁護の	福祉サービスに結びつける仕組みづくり	多様な課題に対応する仕組み
性別	男性 (n=429)	10.5	6.3	2.1	1.9	6.3	2.1	4.2	8.6	13.1	0.2	3.0	4.2	
	女性 (n=562)	9.3	9.6	2.3	1.2	4.6	4.4	3.0	5.7	18.0	0.4	3.0	4.8	
年齢	18～29歳 (n=62)	25.8	6.5	1.6	0.0	3.2	9.7	0.0	6.5	11.3	0.0	1.6	1.6	
	30～39歳 (n=123)	17.1	3.3	0.0	1.6	4.9	3.3	2.4	4.1	21.1	0.0	4.1	4.1	
	40～49歳 (n=169)	7.7	6.5	1.8	3.0	4.7	5.9	2.4	8.3	21.3	0.0	1.2	5.9	
	50～59歳 (n=200)	9.0	5.5	3.5	2.5	7.0	2.5	2.0	6.0	16.5	0.5	4.5	3.5	
	60～64歳 (n=98)	7.1	12.2	0.0	1.0	4.1	3.1	3.1	11.2	12.2	1.0	3.1	7.1	
	65～69歳 (n=67)	10.4	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	3.0	9.0	14.9	1.5	3.0	4.5	
	70～74歳 (n=97)	7.2	10.3	7.2	2.1	5.2	3.1	7.2	5.2	20.6	0.0	3.1	3.1	
	75～79歳 (n=74)	2.7	16.2	5.4	0.0	5.4	1.4	13.5	8.1	12.2	0.0	1.4	8.1	
80歳以上 (n=116)	4.3	13.8	0.9	0.9	6.9	0.9	1.7	5.2	7.8	0.0	3.4	2.6		
圏域	西部地区 (n=281)	10.3	7.8	2.5	1.4	5.3	3.9	4.3	4.6	15.7	0.0	3.2	6.4	
	北東部地区 (n=238)	10.9	7.1	1.7	1.7	5.9	3.8	2.1	7.6	13.9	0.4	2.5	3.8	
	中部地区 (n=204)	9.8	12.7	1.0	2.0	6.4	2.5	2.5	7.8	18.1	0.5	2.5	3.9	
	南部地区 (n=282)	7.8	6.4	3.5	1.4	4.3	3.9	4.6	7.8	17.0	0.4	3.5	3.5	

(次ページに続く)

(%)

各項目1位に網掛		福祉サービスの質の向上	育成 福祉専門職等の人材の確保・	多様な福祉サービス提供事業者の育成	防災対策の充実	防犯対策の充実	バリアフリーの推進	安全に移動できる手段の確保	労働者や障害のある人への就	高年齢者や障害のある人への就	生活困窮者への支援	その他	無回答
性別	男性 (n=429)	3.3	2.3	1.2	8.4	2.6	2.8	1.9	3.0	4.0	1.2	7.0	
	女性 (n=562)	2.8	5.2	0.5	4.8	3.2	2.3	1.6	1.8	1.8	1.1	8.5	
年齢	18～29歳 (n=62)	0.0	1.6	0.0	8.1	8.1	3.2	1.6	3.2	1.6	3.2	1.6	
	30～39歳 (n=123)	1.6	4.9	0.0	5.7	4.9	4.9	0.8	0.8	2.4	0.8	7.3	
	40～49歳 (n=169)	3.6	2.4	1.8	6.5	3.6	2.4	1.8	2.4	1.8	1.8	3.6	
	50～59歳 (n=200)	3.5	3.0	0.5	9.0	2.5	3.5	1.5	4.0	4.0	1.5	4.0	
	60～64歳 (n=98)	2.0	7.1	2.0	9.2	2.0	4.1	2.0	2.0	1.0	0.0	3.1	
	65～69歳 (n=67)	3.0	7.5	0.0	9.0	3.0	0.0	4.5	0.0	1.5	1.5	10.4	
	70～74歳 (n=97)	5.2	4.1	1.0	2.1	2.1	2.1	1.0	1.0	4.1	0.0	3.1	
	75～79歳 (n=74)	2.7	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	1.4	0.0	14.9	
80歳以上 (n=116)	3.4	4.3	0.9	3.4	1.7	0.0	2.6	2.6	5.2	1.7	25.9		
圏域	西部地区 (n=281)	3.9	5.3	0.7	6.4	3.6	1.4	1.1	1.4	2.8	1.1	6.8	
	北東部地区 (n=238)	2.1	4.2	0.8	5.9	3.4	4.2	3.4	2.9	3.8	0.8	7.1	
	中部地区 (n=204)	1.5	2.9	1.0	5.9	2.0	2.0	1.0	2.0	4.4	0.5	7.4	
	南部地区 (n=282)	3.5	2.8	0.7	7.1	2.8	2.5	1.4	2.8	0.7	2.1	9.2	

問42 以下のテーマについて、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

(自由記述)

(1) みんなで助け合い・支え合う地域をつくるためのご意見やアイデア

区分	郵送回答	WEB 回答	計
地域づくりを進めるための意見 (支え合いを進めるアイデア、取組のヒント等)	128 人	30 人	158 人
その他の意見	3 人	2 人	5 人
テーマ以外の意見	6 人	1 人	7 人
合計	137 人	33 人	170 人

<地域づくりを進めるための意見>

- ✓ まずは近所の方と知り合う事が大事と思いますが、なかなか世代も違ってくると知り合う機会がないのが残念です。
- ✓ 困っているテーマを外へ出して相談を求めてくれるように促す機会の創出の仕方が難しい。
- ✓ 活発な活動には幅広い世代の参加が良いと思う。若い世代を中心に上下の世代を引き寄せる何か良い活動があればと思います。
- ✓ 高齢者の一人暮らしが増えています。地域の皆で声掛けや見守り、手が空いている人がいれば通院のお手伝いを是非してあげて欲しいです。車が無く、困っているお年寄りが沢山います。
- ✓ 少子化対策として！？出会いの場の提供！
- ✓ 子育てママが交流出来る場。
- ✓ みんなつながりたい、役に立ちたい、助けが欲しいと思っているはずだが、その手段を持たない。きっかけや場所、手段が必要。
- ✓ 地域に負担を求めるのではなく、楽しみから提供する仕組（市民祭り等は地域を好きになれる枠組みの一つだったが、やり方が如何にも役所的であり残念だった）。
- ✓ 福祉について内容までは深く理解していない方に向けて、何かしら情報提供の場があると福祉に関心を抱く方も増えるのではないかと思います（仕事で時間が限られると思うので、オンラインで情報収集できれば有難いです）。
- ✓ 沢山のアンケートに回答しながら、改めて福祉について広い視野が持てました。お世話になりました。

<その他の意見>

- ✓ 「みんな」「市民」では、中途半端であり、市政・都政として、公的な行政活動で行う。

(2) 地域福祉を進める取組について、ご意見、ご提案があれば教えてください。

区分	郵送回答	WEB 回答	計
地域福祉を進めるための意見 (施策のアイデア、取組のヒント等)	89 人	23 人	112 人
テーマ以外の意見	15 人	2 人	17 人
合計	104 人	25 人	129 人

<地域福祉を進めるための意見>

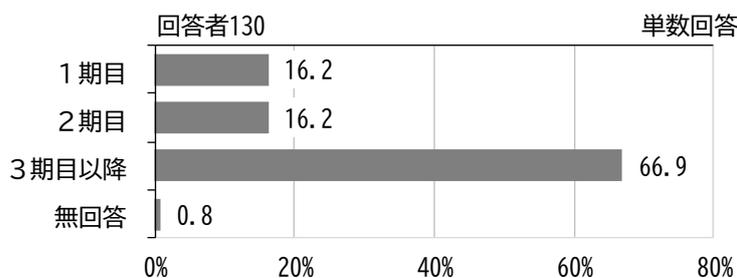
- ✓ 「こんな事で困っています」に関する情報発信がないので実情が全くわかりません。まずは行政からの情報発信を強化して欲しい。
- ✓ 手伝いが必要でも家庭の事情をしられたくない（特に近所に）人もいるだろうと思う。気軽に相談…というのは頼む側の気持ちもあるし他人からは困っているように見えても当事者は困っていないこともあるので難しい課題。気軽に話せる場があることを市民が感じられるような周知が出来たらいい気がする。
- ✓ 自治会など、世代間のギャップを感じることもある。もう少しそのギャップを埋めるような取り組みが必要と感じる。
- ✓ 子育てをし始めて、初めて地域との繋がり特に近所に知っている人が 1 人もいない、という状態に不安を感じるようになりました。自治会に入るのは少しハードルが高く（どう入ったら良いかも分からない）、より小規模の自治コミュニティ的なものがあればいいなと思っています。
- ✓ 介護の資格を活かしたい。
- ✓ お元気なシニア世代の方も多くいらっしゃると思う。定年後の方などコミュニティを求める方も多くいると思うので、そういうシニア世代の方がリーダーとなって活躍できるボランティアや地域活動、支え合い体制作りを促進し、高齢者の生きがい作り、孤立対策、居場所作り、健康の向上、就労機会の提供と支え合いのしくみが両立できるような体制ができると良いと思います。
- ✓ 祭りや朝市などにぎやかなイベントがあると活気づいて人も集まって楽しいと思う。
- ✓ “ふれまち助け合い” “ささえあい訪問” 等のボランティアをしましたが疲れました。ボランティアでも評価基準は「公平」におねがいしたいと思っています。
- ✓ 各地域にいる民生児童委員の方。もう少し、地域の中を見聞きして、本当に体を動かして、実態を把握していただけるとありがたいです。ぜひかかっている地域の中の地域福祉を必要としている方の為をお願いします。もちろんきちんとやっつけてくださっている方も大勢いらっしゃいます。若い方の力も必要ですかね。

Ⅲ 民生委員・児童委員調査結果

1. 活動について

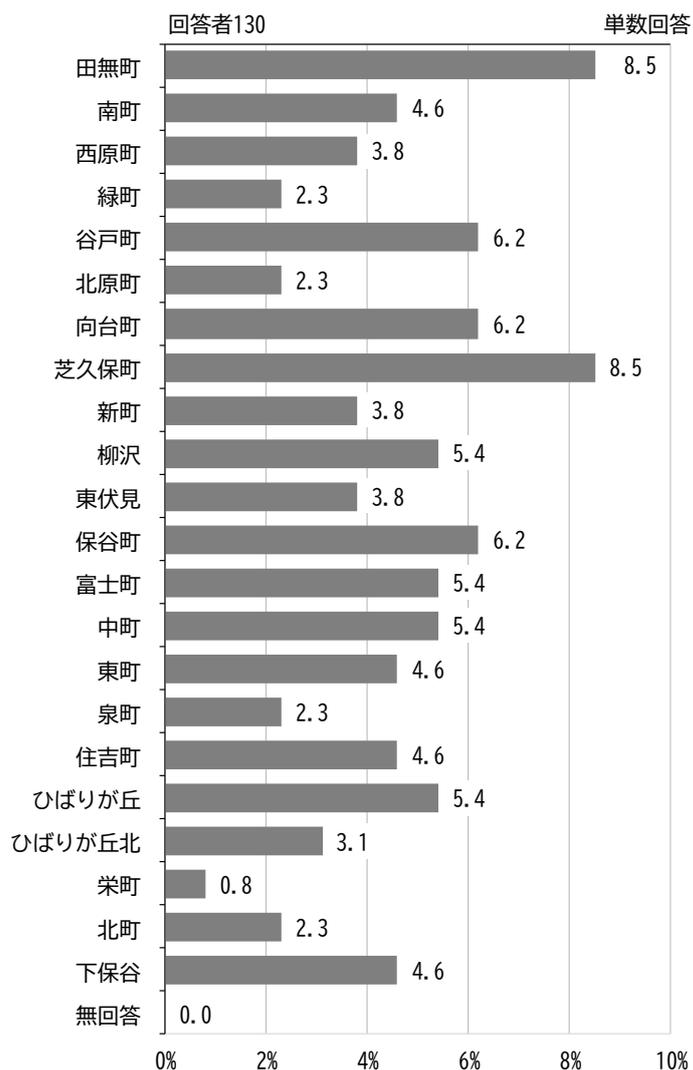
問1 11月1日現在、何期目ですか。(1つに○)

11月1日現在、何期目ですかについて、「3期目以降」(66.9%)が最も多く、次いで「1期目」、「2期目」(16.2%)となっています。



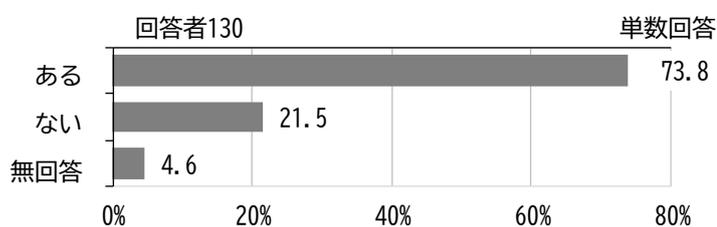
問2 現在の担当地区を教えてください。(1つに○)

現在の担当地区を教えてくださいについて、「田無町」、「芝久保町」(8.5%)が最も多く、次いで「谷戸町」、「向台町」、「保谷町」(6.2%)となっています。



問3 地域の課題を解決するために、行政（市、都、国などの行政機関）に相談したり、手助けを求めたりしたことがありますか。（1つに○）

地域の課題を解決するために、行政（市、都、国などの行政機関）に相談したり、手助けを求めたりしたことがありますかについて、「ある」（73.8%）、「ない」（21.5%）となっています。



担当圏域別にみると、すべての圏域で「ある」が最も多くなっています。

(%)

		ある	ない	無回答
各項目1位に網掛				
圏域	西部地区 (n=34)	70.6	23.5	5.9
	北東部地区 (n=34)	64.7	26.5	8.8
	中部地区 (n=31)	77.4	19.4	3.2
	南部地区 (n=31)	83.9	16.1	0.0

問4 現在の民生委員・児童委員活動をどのようにお考えですか。(それぞれ1つに○)

現在の民生委員・児童委員活動をどのようにお考えですかについて、以下のとおりとなっています。

ア 社会調査活動について、「現状で十分」(76.9%)が最も多く、次いで「充実させる」(15.4%)、「多すぎる」(6.2%)となっています。

イ 相談活動について、「現状で十分」(65.4%)が最も多く、次いで「充実させる」(33.1%)、「多すぎる」(0.8%)となっています。

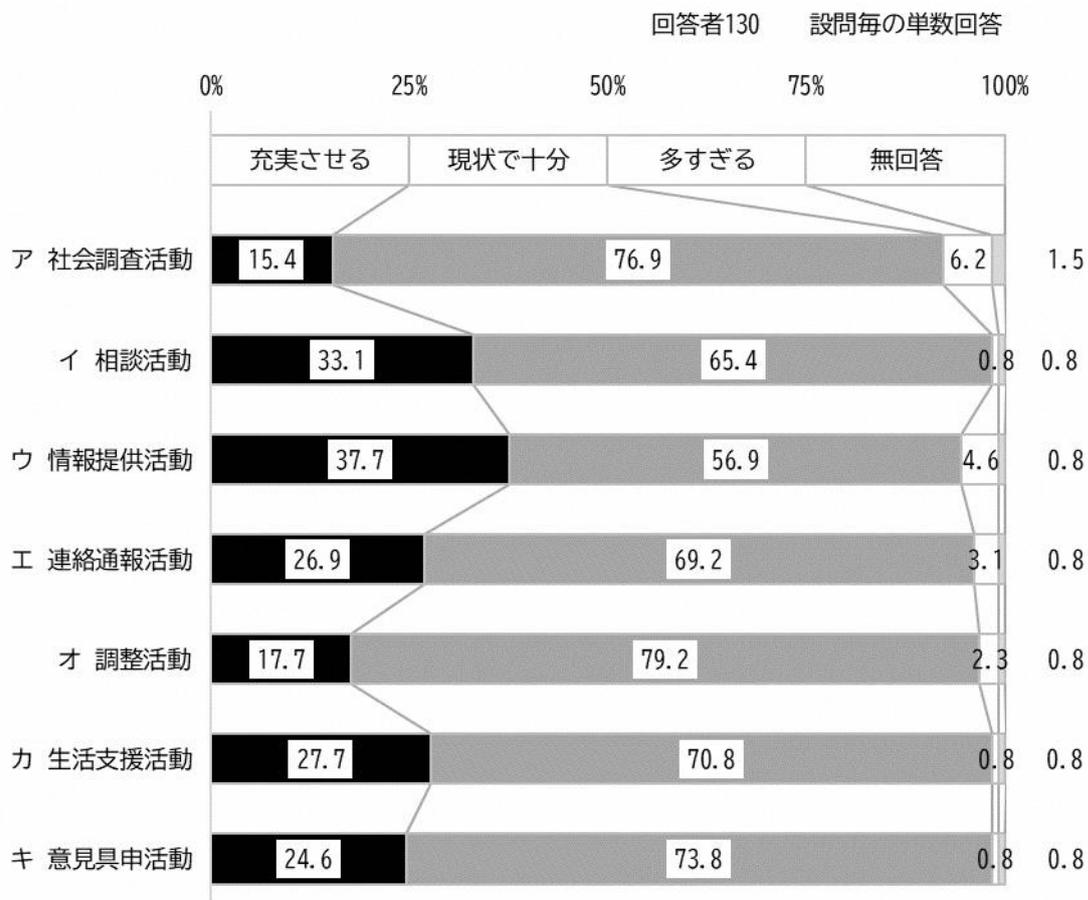
ウ 情報提供活動について、「現状で十分」(56.9%)が最も多く、次いで「充実させる」(37.7%)、「多すぎる」(4.6%)となっています。

エ 連絡通報活動について、「現状で十分」(69.2%)が最も多く、次いで「充実させる」(26.9%)、「多すぎる」(3.1%)となっています。

オ 調整活動について、「現状で十分」(79.2%)が最も多く、次いで「充実させる」(17.7%)、「多すぎる」(2.3%)となっています。

カ 生活支援活動について、「現状で十分」(70.8%)が最も多く、次いで「充実させる」(27.7%)、「多すぎる」(0.8%)となっています。

キ 意見具申活動について、「現状で十分」(73.8%)が最も多く、次いで「充実させる」(24.6%)、「多すぎる」(0.8%)となっています。



<充実させる割合のクロス集計>

担当圏域別にみると、西部地区は「イ 相談活動」、北東部地区は「イ 相談活動」、「ウ 情報提供活動」、中部地区は「ウ 情報提供活動」、南部地区は「ウ 情報提供活動」、「カ 生活支援活動」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		ア 社会調査活動	イ 相談活動	ウ 情報提供活動	エ 連絡通報活動	オ 調整活動	カ 生活支援活動	キ 意見具申活動
圏域	西部地区 (n=34)	8.8	35.3	32.4	26.5	17.6	23.5	14.7
	北東部地区 (n=34)	8.8	32.4	32.4	23.5	11.8	17.6	29.4
	中部地区 (n=31)	25.8	35.5	48.4	38.7	16.1	32.3	35.5
	南部地区 (n=31)	19.4	29.0	38.7	19.4	25.8	38.7	19.4

2. 担当地区について

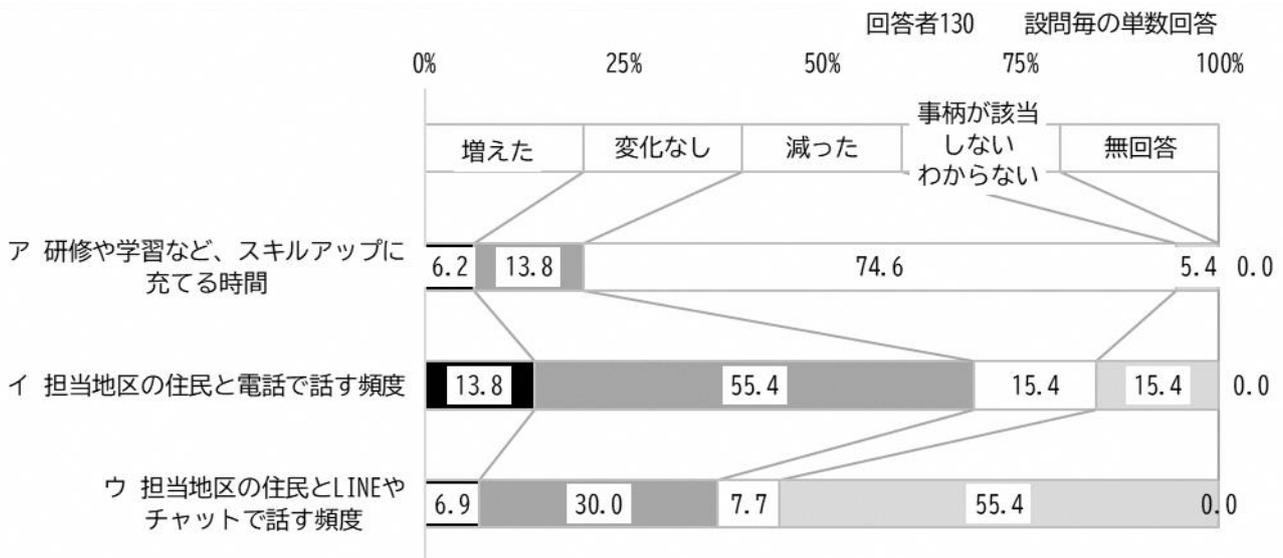
問5 新型コロナウイルス感染症の流行により、民生委員・児童委員活動にどのような影響がありましたか（影響があった時期は問いません）。（それぞれ1つに○）

新型コロナウイルス感染症の流行により、民生委員・児童委員活動にどのような影響がありましたか（影響があった時期は問いません）について、以下のとおりとなっています。

ア 研修や学習など、スキルアップに充てる時間について、「減った」(74.6%)が最も多く、次いで「変化なし」(13.8%)、「増えた」(6.2%)となっています。

イ 担当地区の住民と電話で話す頻度について、「変化なし」(55.4%)が最も多く、次いで「減った」(15.4%)、「増えた」(13.8%)となっています（「事柄が該当しない 分からない」を除く）。

ウ 担当地区の住民とLINEやチャットで話す頻度について、「変化なし」(30.0%)が最も多く、次いで「減った」(7.7%)、「増えた」(6.9%)となっています（「事柄が該当しない 分からない」を除く）。



担当圏域別にみると、増えた割合は、西部地区、中部地区、南部地区は「イ 担当地区の住民と電話で話す頻度」、北東部地区は「ウ 担当地区の住民とLINE やチャットで話す頻度」が最も多くなっています。

一方、減った割合は、すべての圏域で「ア 研修や学習など、スキルアップに充てる時間」が最も多くなっています。

<増えた割合> (%)

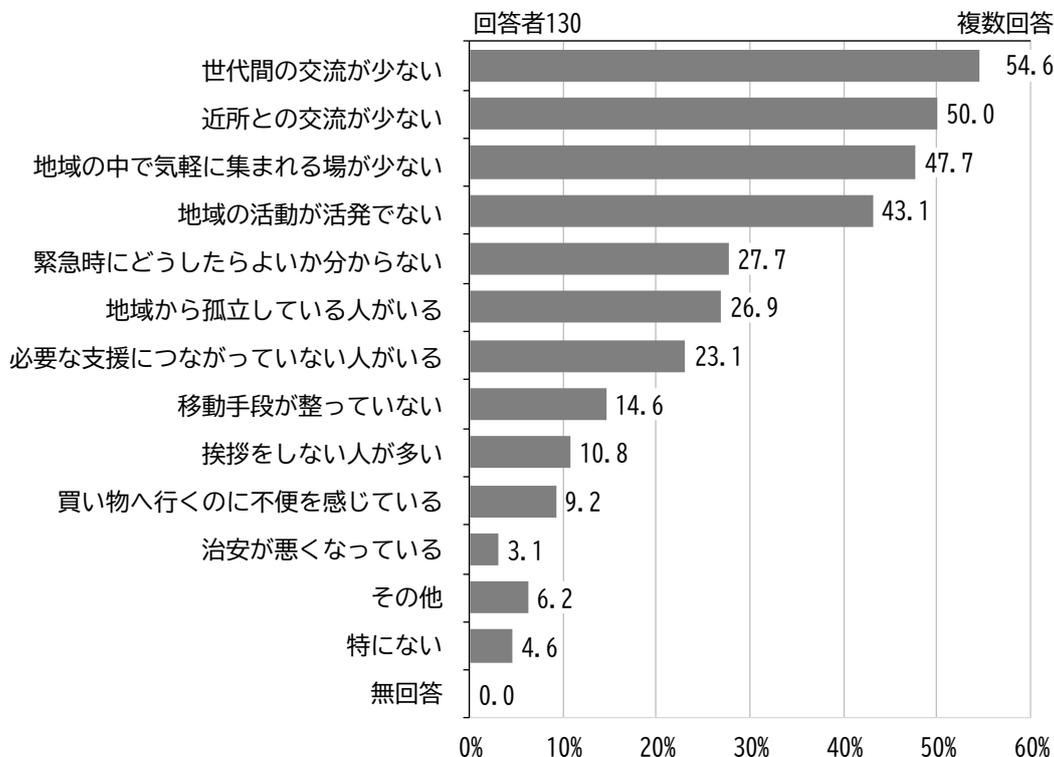
各項目1位に網掛		スキル研修や学習など、 時間充てる	電話で話す地区の住民と 頻度	LINE 担当地区の住民と 頻度
圏域	西部地区 (n=34)	8.8	17.6	2.9
	北東部地区 (n=34)	5.9	5.9	11.8
	中部地区 (n=31)	3.2	6.5	0.0
	南部地区 (n=31)	6.5	25.8	12.9

<減った割合> (%)

各項目1位に網掛		スキル研修や学習など、 時間充てる	電話で話す地区の住民と 頻度	LINE 担当地区の住民と 頻度
圏域	西部地区 (n=34)	79.4	17.6	8.8
	北東部地区 (n=34)	70.6	11.8	0.0
	中部地区 (n=31)	74.2	22.6	19.4
	南部地区 (n=31)	74.2	9.7	3.2

問6 担当地区において、課題に感じることは何ですか。(いくつでも○)

担当地区において、課題に感じることは何ですかについて、「世代間の交流が少ない」(54.6%)が最も多く、次いで「近所との交流が少ない」(50.0%)、「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」(47.7%)となっています。



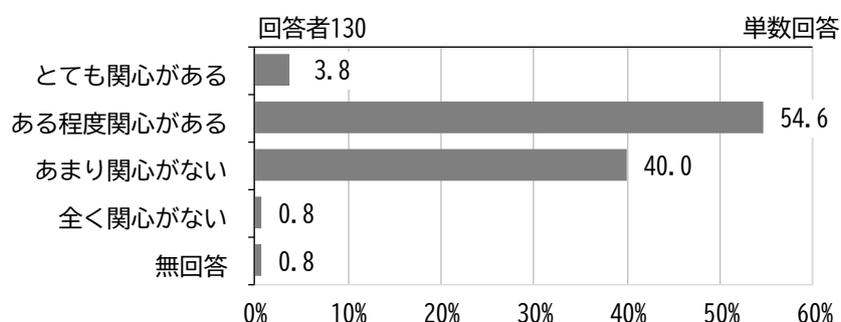
担当圏域別にみると、西部地区は「近所との交流が少ない」、北東部地区は「近所との交流が少ない」、「世代間の交流が少ない」、中部地区は「世代間の交流が少ない」、南部地区は「世代間の交流が少ない」、「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		挨拶をしない人が多い	近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	い地域の中で気軽に集まれる場が少ない	移動手段が整っていない	買い物へ行くのに不便を感じている	い緊急時にどうしたらよいか分からない	治安が悪くなっている	地域から孤立している人がいる	いる必要な支援につがっていない人が	その他	特にない	無回答
圏域	西部地区 (n=34)	11.8	61.8	50.0	47.1	38.2	8.8	2.9	32.4	0.0	14.7	14.7	5.9	8.8	0.0
	北東部地区 (n=34)	17.6	55.9	55.9	44.1	52.9	14.7	14.7	26.5	2.9	29.4	29.4	0.0	0.0	0.0
	中部地区 (n=31)	6.5	41.9	67.7	38.7	54.8	16.1	6.5	25.8	9.7	32.3	22.6	9.7	3.2	0.0
	南部地区 (n=31)	6.5	38.7	45.2	41.9	45.2	19.4	12.9	25.8	0.0	32.3	25.8	9.7	6.5	0.0

問7 担当地区の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思いますか。
(主なもの1つに○)

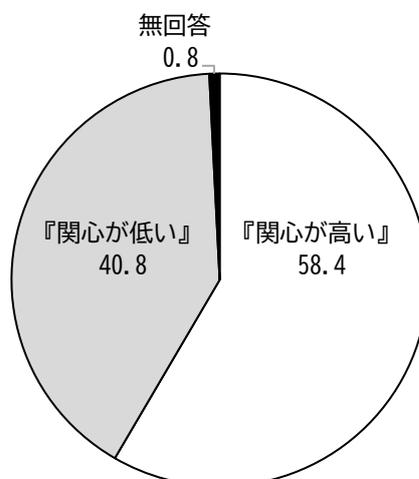
担当地区の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思いますかについて、「ある程度関心がある」(54.6%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(40.0%)、「とても関心がある」(3.8%)となっています。



『関心が高い』(「とても関心がある」+「ある程度関心がある」の合計)と『関心が高い』(「あまり関心がない」+「全く関心がない」の合計)で見ると、『関心が高い』(58.4%)、『関心が高い』(40.8%)となっています。

回答者130

単数回答



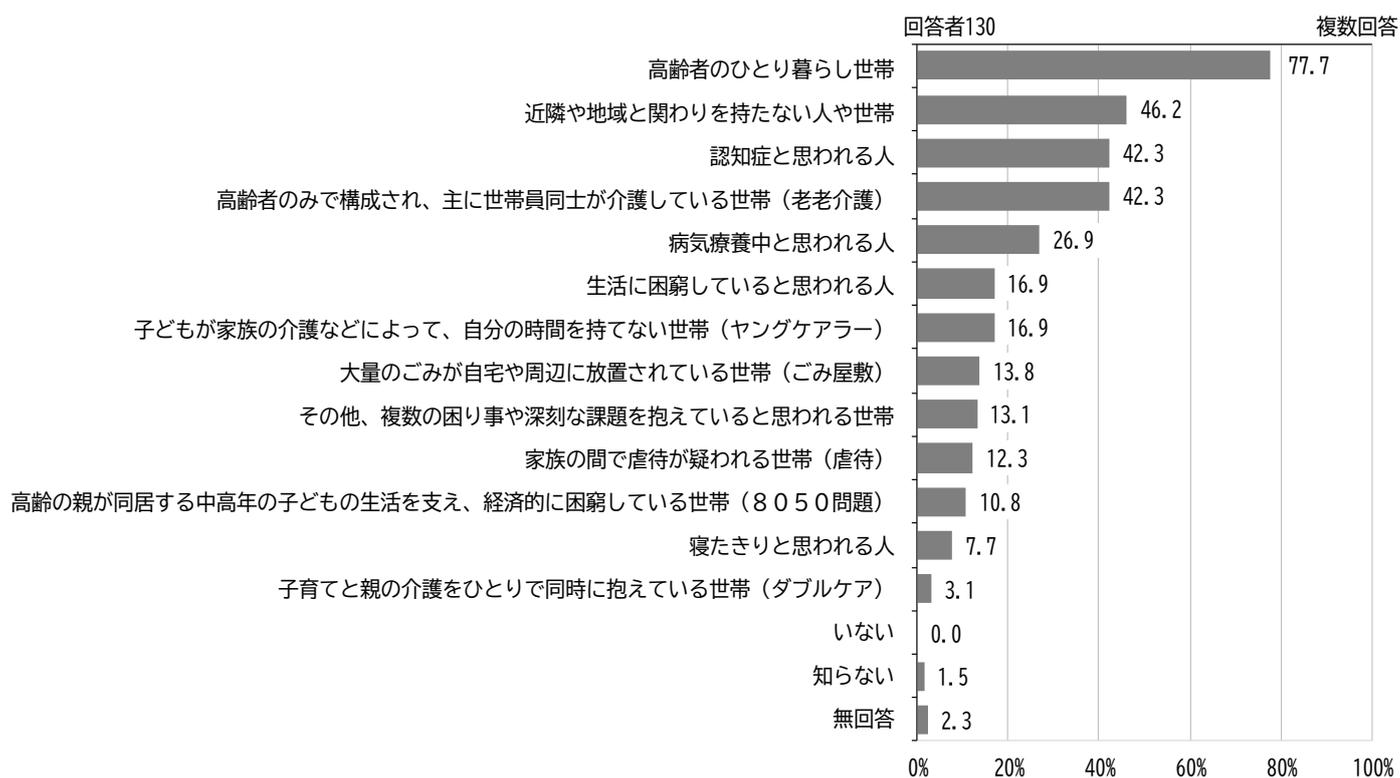
単位 (%)

担当圏域別にみると、西部地区、北東部地区、中部地区は「ある程度関心がある」、南部地区は「あまり関心がない」が最も多くなっています。なお、南部地区は『関心が低い』が5割台と多くなっています。

各項目1位に網掛		とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答	(%)	
							『関心が高い』	『関心が低い』
圏域	西部地区 (n=34)	2.9	55.9	38.2	0.0	2.9	58.8	38.2
	北東部地区 (n=34)	2.9	61.8	35.3	0.0	0.0	64.7	35.3
	中部地区 (n=31)	6.5	54.8	38.7	0.0	0.0	61.3	38.7
	南部地区 (n=31)	3.2	45.2	48.4	3.2	0.0	48.4	51.6

問8 担当地区に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。(いくつでも○)

担当地区に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますかについて、「高齢者のひとり暮らし世帯」(77.7%)が最も多く、次いで「近隣や地域と関わりを持たない人や世帯」(46.2%)、「認知症と思われる人」、「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)」(42.3%)となっています。



担当圏域別にみると、すべての圏域で「高齢者のひとり暮らし世帯」が最も多くなっています。中部地区は「近隣や地域と関わりを持たない人や世帯」が6割台と多くなっています。

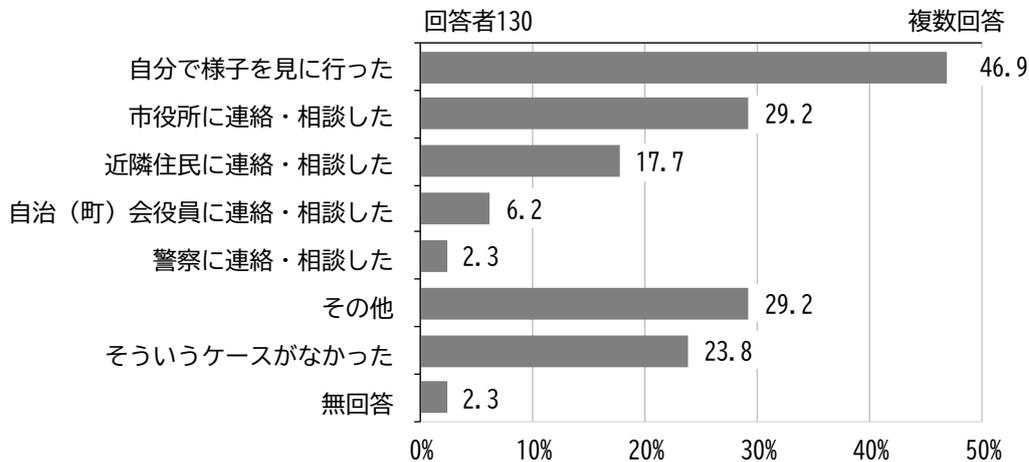
(%)

各項目1位に網掛		高齢者のひとり暮らし世帯	寝たきりと思われる人	認知症と思われる人	病気療養中と思われる人	生活に困窮していると思われる人	大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯（ごみ屋敷）	高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯（老老介護）	近隣や地域と関わりを持たない人や世帯	高齢の親が同居する中高年の子どもたちの生活を支え、経済的に困窮している世帯（8050問題）	子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯（ダブルケア）
圏域	西部地区 (n=34)	82.4	8.8	38.2	32.4	14.7	23.5	50.0	38.2	8.8	0.0
	北東部地区 (n=34)	79.4	5.9	50.0	23.5	23.5	11.8	50.0	44.1	11.8	2.9
	中部地区 (n=31)	80.6	9.7	38.7	22.6	12.9	12.9	25.8	61.3	12.9	3.2
	南部地区 (n=31)	67.7	6.5	41.9	29.0	16.1	6.5	41.9	41.9	9.7	6.5

各項目1位に網掛		子どもが家族の介護などにやがて、自分の時間を持てない世帯（ヤングケアラー）	家族の間で虐待が疑われる世帯（虐待）	その他、複数の困り事や深刻な課題を抱えていると思われる世帯	知らない	知らない	無回答
圏域	西部地区 (n=34)	23.5	14.7	8.8	0.0	2.9	0.0
	北東部地区 (n=34)	17.6	5.9	17.6	0.0	2.9	2.9
	中部地区 (n=31)	19.4	12.9	16.1	0.0	0.0	3.2
	南部地区 (n=31)	6.5	16.1	9.7	0.0	0.0	3.2

問9 直近の在任期間において、近隣と関わりを持たず、何らかの助けが必要と思われる世帯を発見した際、どのように行動しましたか。(いくつでも○)

直近の在任期間において、近隣と関わりを持たず、何らかの助けが必要と思われる世帯を発見した際、どのように行動しましたかについて、「自分で様子を見に行った」(46.9%)が最も多く、次いで「市役所に連絡・相談した」、「その他」(29.2%)となっています。



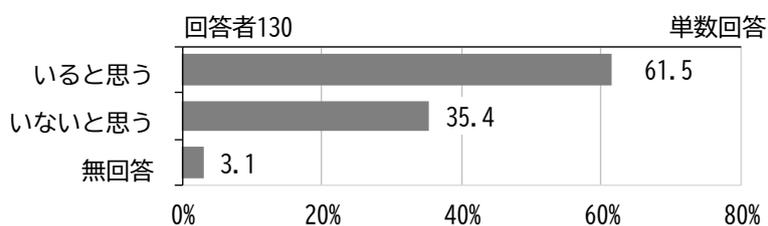
担当圏域別にみると、すべての圏域で「自分で様子を見に行った」が最も多くなっています。

(%)

		自分で様子を見に行った	近隣住民に連絡・相談した	自治(町)会役員に連絡・相談した	市役所に連絡・相談した	警察に連絡・相談した	その他	そういうケースがなかった	無回答
各項目1位に網掛									
圏域	西部地区 (n=34)	41.2	14.7	8.8	29.4	0.0	17.6	29.4	2.9
	北東部地区 (n=34)	50.0	14.7	2.9	20.6	0.0	38.2	29.4	2.9
	中部地区 (n=31)	45.2	22.6	0.0	32.3	6.5	29.0	19.4	0.0
	南部地区 (n=31)	51.6	19.4	12.9	35.5	3.2	32.3	16.1	3.2

問10 担当地区に「ひきこもり」の傾向にあると思われる方はいますか（相談や情報提供の有無は問いません）。（1つに○）

担当地区に「ひきこもり」の傾向にあると思われる方はいますかについて、「いると思う」（61.5%）が最も多く、次いで「いないと思う」（35.4%）となっています。



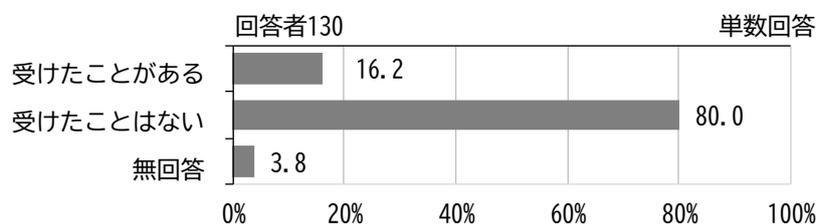
担当圏域別にみると、すべての圏域で「いると思う」が最も多くなっています。

(%)

		いる と思 う	い な い と思 う	無 回 答
各項目1位に網掛				
圏 域	西部地区 (n=34)	58.8	41.2	0.0
	北東部地区 (n=34)	64.7	29.4	5.9
	中部地区 (n=31)	58.1	41.9	0.0
	南部地区 (n=31)	64.5	29.0	6.5

問11 直近の在任期間で、「ひきこもり」の傾向にある方やご家族などから、相談や情報提供を受けたことがありますか。(1つに○)

直近の在任期間で、「ひきこもり」の傾向にある方やご家族などから、相談や情報提供を受けたことがありますかについて、「受けたことはない」(80.0%)が最も多く、次いで「受けたことがある」(16.2%)となっています。

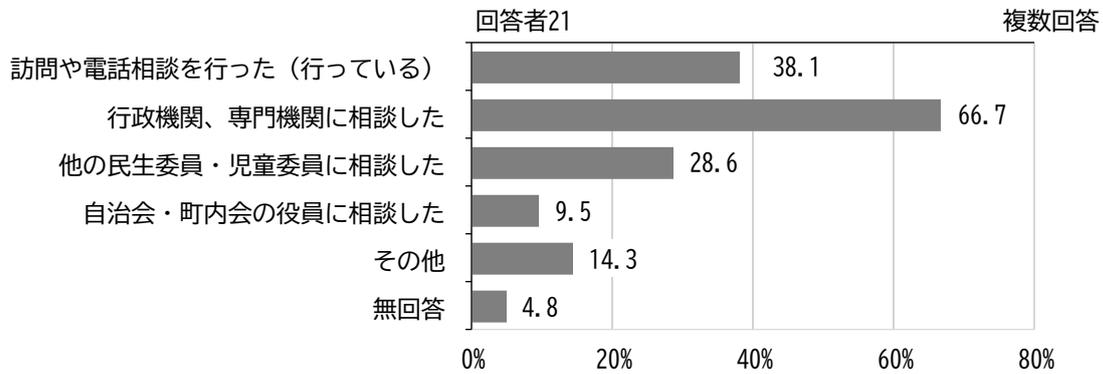


担当圏域別にみると、すべての圏域で「受けたことはない」が最も多くなっています。南部地区は「受けたことがある」が3割近くと多くなっています。

		(%)		
		受けたことがある	受けたことはない	無回答
各項目1位に網掛				
圏域	西部地区 (n=34)	14.7	82.4	2.9
	北東部地区 (n=34)	11.8	85.3	2.9
	中部地区 (n=31)	9.7	83.9	6.5
	南部地区 (n=31)	29.0	67.7	3.2

付問 《問11で「受けたことがある」とお答えの方におたずねします》
相談を受けてから、どのように対応しましたか。(いくつでも○)

「ひきこもり」の傾向にある方やご家族などから相談や情報提供を「受けたことがある」と回答した方に、相談を受けてから、どのように対応しましたかを聞いたところ、「行政機関、専門機関に相談した」(66.7%)が最も多く、次いで「訪問や電話相談を行った(行っている)」(38.1%)、「他の民生委員・児童委員に相談した」(28.6%)となっています。



※クロス集計は、対象の回答者が少数のため、掲載していません。

問12 「ひきこもり」の相談を受ける上で、あなたが困ること、課題と感ずることがあれば具体的に記入してください。(自由記述)

区分	郵送回答	WEB 回答	計
相談先に関すること	23 人	0 人	23 人
支援や仕組みに関すること	27 人	6 人	33 人
本人や家族に関すること	11 人	1 人	12 人
合計	61 人	7 人	68 人

<相談先に関すること>

- ✓ 地域共生係に相談する。
- ✓ 専門知識がないので専門機関につなぎたいと思う。
- ✓ どこに相談するのか、どんな対応があるのか(具体的な例が知りたい)。
- ✓ ご家族の方への相談窓口はどこが適切であるのか悩む。

<支援や仕組みに関すること>

- ✓ 個人情報の問題で直接会うことは不可能と思われる。見守りまたは地域包括センターの協力が必要と思われる。
- ✓ 相談を受ける上では、一人で行くのは不安になる。
- ✓ うまく話を聞いてつなげることが出来るか不安である。
- ✓ 具体的に何をすればよいかマニュアルが欲しい。

<本人や家族に関すること>

- ✓ 8050 問題の場合、親(高齢)が元気な場合、子供の「ひきこもり」に関して隠したいと思って助けは必要ないといわれるところ。
- ✓ 包括に相談したが、本人の強い意志で支援を拒絶された。
- ✓ 人によって内容が違うので対応が変わる。余計なお世話と感ずる人もいるので難しい。

3. 福祉について

問13 福祉に係る用語や市の事業等について知っていますか。(それぞれ1つに○)

福祉に係る用語や市の事業等について知っていますかについて、以下のとおりとなっています。

ア 成年後見制度について、「名前も内容も知っている」(47.7%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(40.0%)、「名前は知っているが、内容は知らない」(11.5%)となっています。「名前も内容も知らない」はいませんでした。

イ 生活困窮者自立支援制度について、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(50.0%)が最も多く、次いで「名前も内容も知っている」(29.2%)、「名前は知っているが、内容は知らない」(19.2%)、「名前も内容も知らない」(1.5%)となっています。

ウ 地域包括支援センターについて、「名前も内容も知っている」(86.2%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(13.8%)となっています。「名前は知っているが、内容は知らない」、「名前も内容も知らない」はいませんでした。

エ 西東京市社会福祉協議会について、「名前も内容も知っている」(80.8%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(19.2%)となっています。「名前は知っているが、内容は知らない」、「名前も内容も知らない」はいませんでした。

オ ほっとするまちネットワークシステム(通称 ほっとネット)について、「名前も内容も知っている」(56.9%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(36.9%)、「名前は知っているが、内容は知らない」(6.2%)となっています。「名前も内容も知らない」はいませんでした。

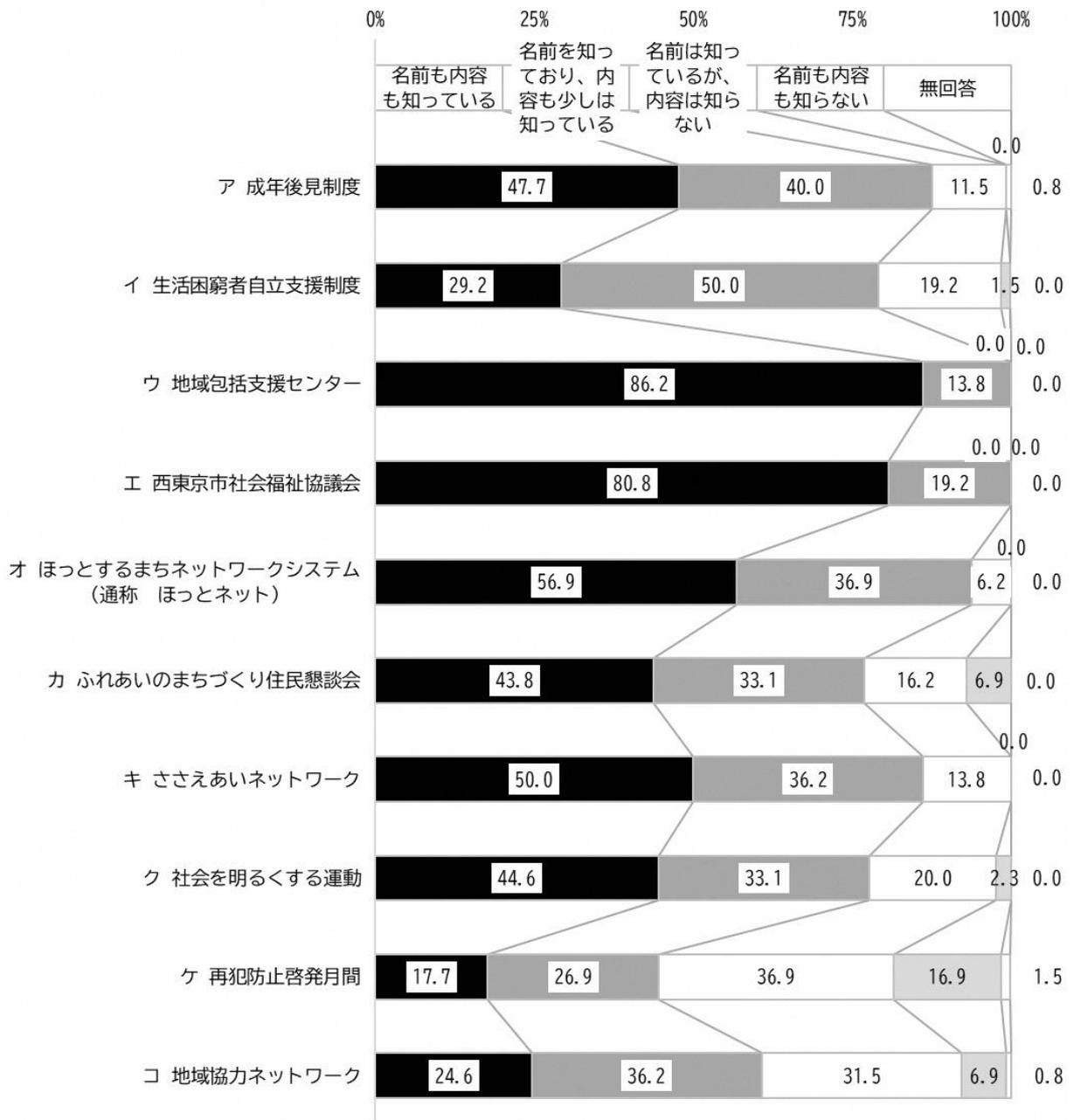
カ ふれあいのまちづくり住民懇談会について、「名前も内容も知っている」(43.8%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(33.1%)、「名前は知っているが、内容は知らない」(16.2%)、「名前も内容も知らない」(6.9%)となっています。

キ ささえあいネットワークについて、「名前も内容も知っている」(50.0%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(36.2%)、「名前は知っているが、内容は知らない」(13.8%)となっています。「名前も内容も知らない」はいませんでした。

ク 社会を明るくする運動について、「名前も内容も知っている」(44.6%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(33.1%)、「名前は知っているが、内容は知らない」(20.0%)、「名前も内容も知らない」(2.3%)となっています。

ケ 再犯防止啓発月間について、「名前は知っているが、内容は知らない」(36.9%)が最も多く、次いで「名前を知っており、内容も少しは知っている」(26.9%)、「名前も内容も知っている」(17.7%)、「名前も内容も知らない」(16.9%)となっています。

コ 地域協力ネットワークについて、「名前を知っており、内容も少しは知っている」(36.2%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」(31.5%)、「名前も内容も知っている」(24.6%)、「名前も内容も知らない」(6.9%)となっています。



<名前や内容を知っている割合（「名前も内容も知っている」と「名前を知っており、内容も少しは知っている」の合計）のクロス集計>

担当圏域別にみると、ほとんどの項目で名前や内容を知っている割合が多くなっており、5割未満の項目は、西部地区、北東部地区、南部地区で「ケ 再犯防止啓発月間」、西部地区で「コ 地域協力ネットワーク」となっています。

(%)

		ア 成年後見制度	イ 生活困窮者自立支援制度	ウ 地域包括支援センター	エ 西東京市社会福祉協議会	オ ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）	カ ふれあいのまちづくり住民懇談会	キ ささえあいネットワーク	ク 社会を明るくする運動	ケ 再犯防止啓発月間	コ 地域協力ネットワーク
各項目1位に網掛											
圏域	西部地区 (n=34)	88.3	79.4	100.0	100.0	85.3	73.6	76.5	64.7	32.4	47.1
	北東部地区 (n=34)	76.5	73.6	100.0	100.0	97.1	82.3	88.2	82.4	41.2	55.9
	中部地区 (n=31)	93.6	77.4	100.0	100.0	93.6	77.4	90.3	90.3	58.1	77.4
	南部地区 (n=31)	93.6	87.1	100.0	100.0	100.0	74.2	90.4	74.2	48.4	64.5

問14 市や関係機関が実施している事業について、民生委員・児童委員として相談や連携をしたことはありますか。(それぞれ1つに○)

市や関係機関が実施している事業について、民生委員・児童委員として相談や連携をしたことはありますかについて、以下のとおりとなっています。

ア ほっとネット推進員について、「知っているが、関わったことはない」(61.5%)が最も多く、次いで「知っており、関わったことがある」(34.6%)、「知らなかった」(1.5%)となっています。

イ ささえあい訪問協力員について、「知っているが、関わったことはない」(58.5%)が最も多く、次いで「知っており、関わったことがある」(40.8%)となっています。「知らなかった」はいませんでした。

ウ 地域福祉コーディネーターについて、「知っているが、関わったことはない」(73.1%)が最も多く、次いで「知っており、関わったことがある」(16.9%)、「知らなかった」(8.5%)となっています。

エ 生活支援コーディネーターについて、「知っているが、関わったことはない」(74.6%)が最も多く、次いで「知っており、関わったことがある」、「知らなかった」(12.3%)となっています。

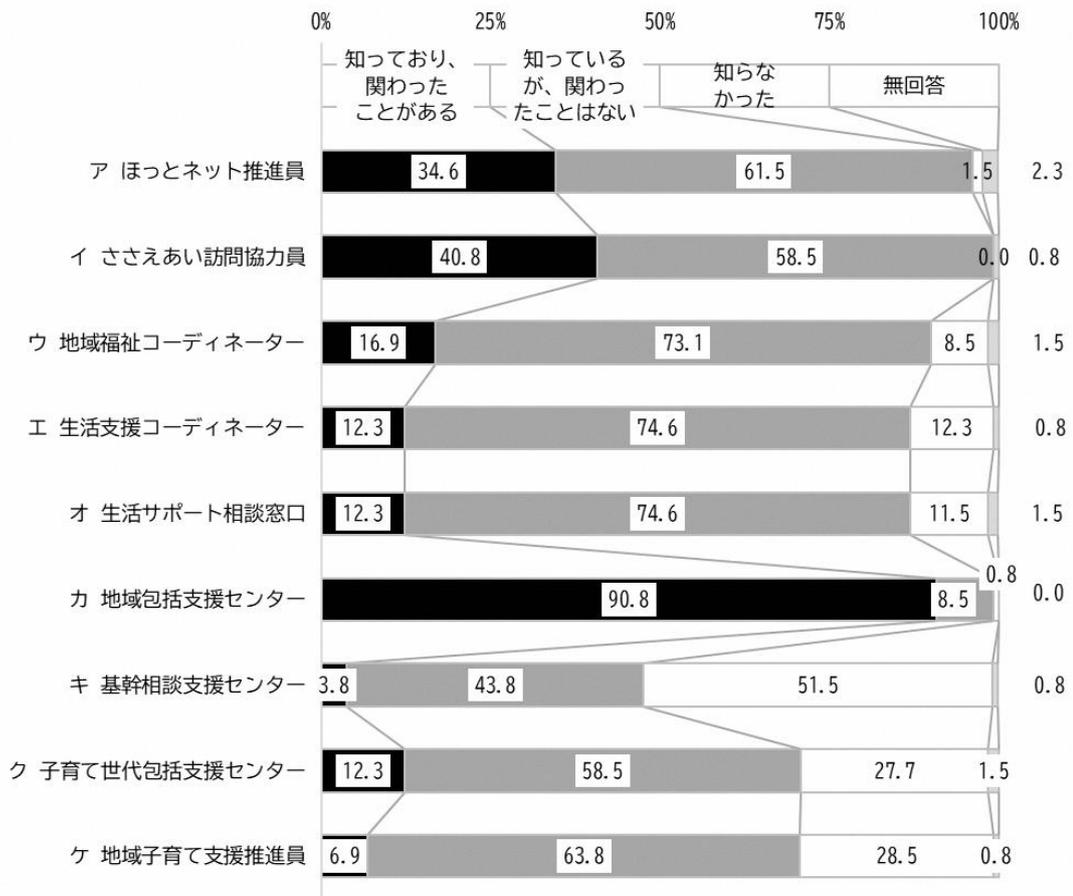
オ 生活サポート相談窓口について、「知っているが、関わったことはない」(74.6%)が最も多く、次いで「知っており、関わったことがある」(12.3%)、「知らなかった」(11.5%)となっています。

カ 地域包括支援センターについて、「知っており、関わったことがある」(90.8%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(8.5%)、「知らなかった」(0.8%)となっています。

キ 基幹相談支援センターについて、「知らなかった」(51.5%)が最も多く、次いで「知っているが、関わったことはない」(43.8%)、「知っており、関わったことがある」(3.8%)となっています。

ク 子育て世代包括支援センターについて、「知っているが、関わったことはない」(58.5%)が最も多く、次いで「知らなかった」(27.7%)、「知っており、関わったことがある」(12.3%)となっています。

ケ 地域子育て支援推進員について、「知っているが、関わったことはない」(63.8%)が最も多く、次いで「知らなかった」(28.5%)、「知っており、関わったことがある」(6.9%)となっています。



<関わったことがあるか知っている割合（「関わったことがある」と「知っているが、関わったことはない」の合計）のクロス集計>

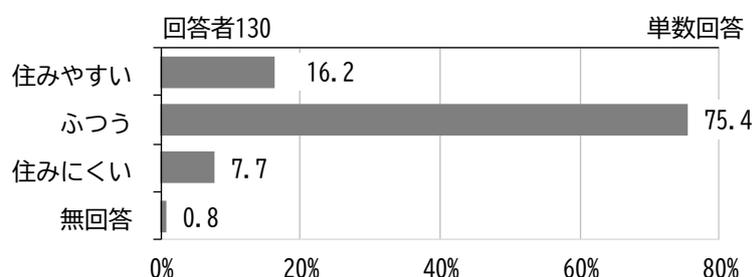
担当圏域別にみると、ほとんどの項目で関わったことがあるか知っている割合が多くなっており、5割未満の項目は、北東部地区と南部地区で「キ 基幹相談支援センター」となっています。

(%)

各項目1位に網掛		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
		ほつとネット推進員	ささえあい訪問協力員	地域福祉コーディネーター	生活支援コーディネーター	生活サポート相談窓口	地域包括支援センター	基幹相談支援センター	子育て世代包括支援センター	地域子育て支援推進員
圏域	西部地区 (n=34)	97.1	100.0	88.3	82.4	82.3	97.0	50.0	67.7	70.6
	北東部地区 (n=34)	97.1	100.0	94.2	91.2	94.1	100.0	47.1	70.5	61.7
	中部地区 (n=31)	93.6	96.8	96.8	87.1	83.9	100.0	51.7	74.2	67.8
	南部地区 (n=31)	96.8	100.0	80.6	87.1	87.1	100.0	42.0	70.9	83.9

問15 担当地区は、高齢者、障害者、子どもなど、誰にとっても住みやすい地域と思いますか。(1つに○)

担当地区は、高齢者、障害者、子どもなど、誰にとっても住みやすい地域と思いますかについて、「ふつう」(75.4%)が最も多く、次いで「住みやすい」(16.2%)、「住みにくい」(7.7%)となっています。



担当圏域別にみると、すべての圏域で「ふつう」が最も多くなっています。南部地区は「住みやすい」が3割近くと多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		住みやすい	ふつう	住みにくい	無回答
圏域	西部地区 (n=34)	8.8	88.2	2.9	0.0
	北東部地区 (n=34)	17.6	70.6	11.8	0.0
	中部地区 (n=31)	9.7	74.2	12.9	3.2
	南部地区 (n=31)	29.0	67.7	3.2	0.0

付問 《問15で「住みにくい」とお答えの方におたずねします》

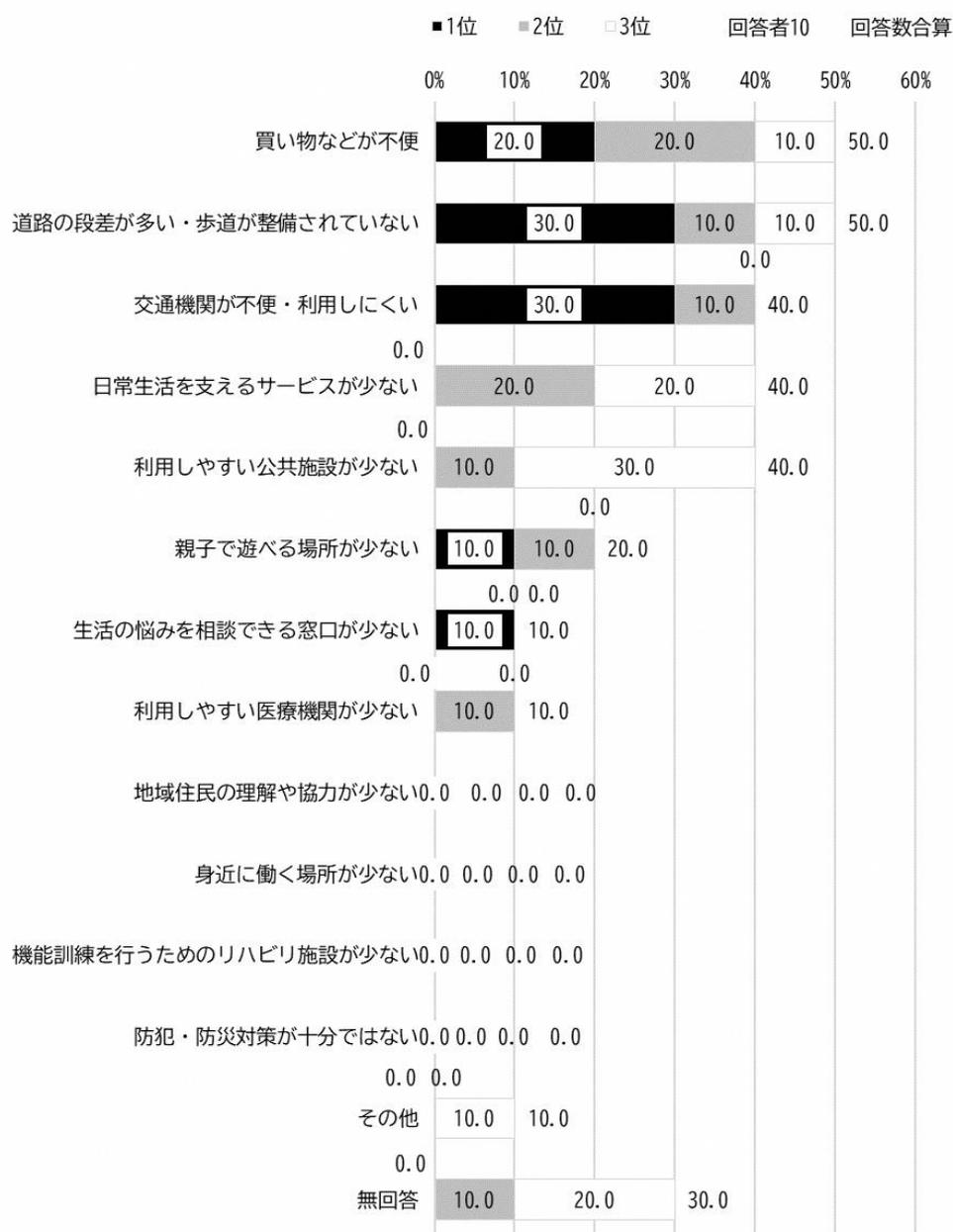
住みにくいと思う理由は何ですか。【選択欄】から3つまで選んで、最も感じる順に記入してください。(選択番号を記入)

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

担当地区が誰にとっても住みやすいと思うかに「住みにくい」と回答した方に、住みにくいと思う理由は何ですかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位、2位、3位の回答数を合計すると、「買い物などが不便」、「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」(50.0%)が最も多く、次いで「交通機関が不便・利用しにくい」(40.0%)となっています。

※該当する回答者が少数(10人)のため、1～3位の回答数合算グラフのみ掲載します。



問16 民生委員・児童委員の活動をする上で、以下の機関との連携をどのようにお考えですか。(それぞれ1つに○)

民生委員・児童委員の活動をする上で、以下の機関との連携をどのようにお考えですかについて、以下のとおりとなっています。

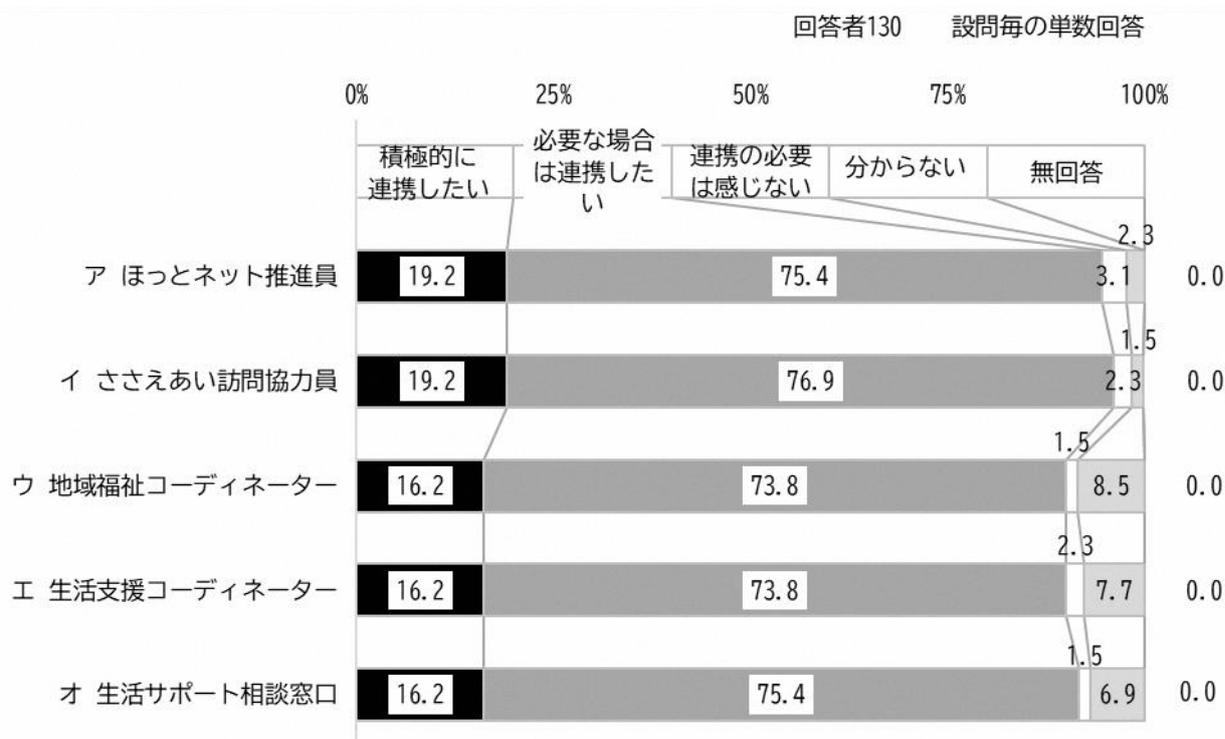
ア ほっとネット推進員について、「必要な場合は連携したい」(75.4%)が最も多く、次いで「積極的に連携したい」(19.2%)、「連携の必要は感じない」(3.1%)となっています。

イ ささえあい訪問協力員について、「必要な場合は連携したい」(76.9%)が最も多く、次いで「積極的に連携したい」(19.2%)、「連携の必要は感じない」(2.3%)となっています。

ウ 地域福祉コーディネーターについて、「必要な場合は連携したい」(73.8%)が最も多く、次いで「積極的に連携したい」(16.2%)、「分からない」(8.5%)となっています。

エ 生活支援コーディネーターについて、「必要な場合は連携したい」(73.8%)が最も多く、次いで「積極的に連携したい」(16.2%)、「分からない」(7.7%)となっています。

オ 生活サポート相談窓口について、「必要な場合は連携したい」(75.4%)が最も多く、次いで「積極的に連携したい」(16.2%)、「分からない」(6.9%)となっています。



<連携意向（「積極的に連携したい」と「必要な場合は連携したい」の合計）のクロス集計>

担当圏域別にみると、連携意向（「積極的に連携したい」と「必要な場合は連携したい」の合計）は、すべての項目で8～9割台と多くなっています。

(%)

		ア	イ	ウ	エ	オ
		ほつとネット推進員	ささえあい訪問協力員	地域福祉コーディネーター	生活支援コーディネーター	生活サポート相談窓口
各項目1位に網掛						
圏域	西部地区 (n=34)	94.1	97.0	85.3	88.2	88.2
	北東部地区 (n=34)	94.1	97.1	85.3	85.3	91.2
	中部地区 (n=31)	96.8	96.7	96.8	96.8	96.8
	南部地区 (n=31)	93.5	93.6	93.6	90.3	90.4

問17 民生委員・児童委員の活動をする上で、どのような情報を関係機関と共有したいですか。【選択欄】から3つまで選んで、最も共有したい順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

民生委員・児童委員の活動をする上で、どのような情報を関係機関と共有したいですかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「福祉サービス事業所の情報（保育、介護、障害等を含む）」(42.3%)が最も多く、次いで「市の事業」(22.3%)、「地域で活動する団体の情報」(14.6%)となっています。

2位は「地域で活動する団体の情報」(23.8%)が最も多く、次いで「福祉サービス事業所の情報（保育、介護、障害等を含む）」(20.8%)、「学校の情報」(16.9%)となっています。

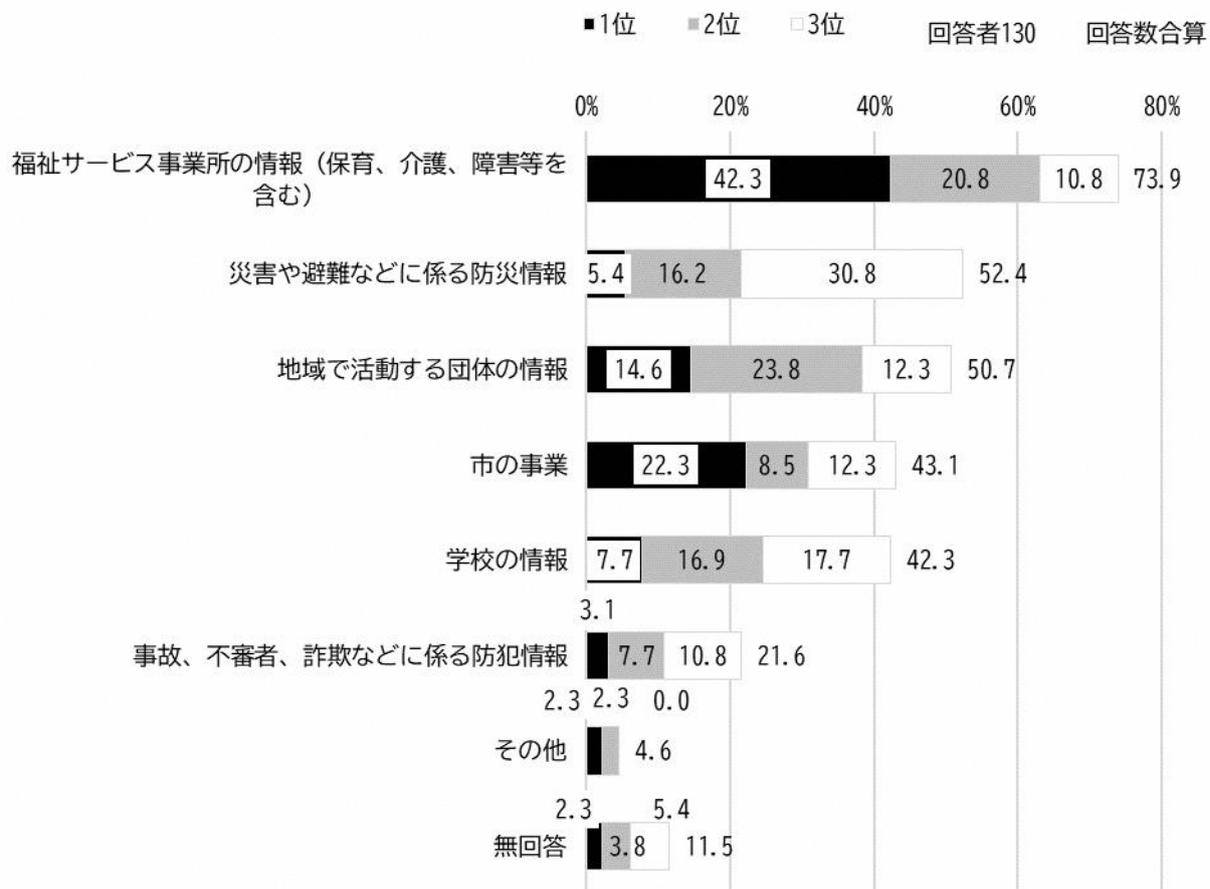
3位は「災害や避難などに係る防災情報」(30.8%)が最も多く、次いで「学校の情報」(17.7%)、「地域で活動する団体の情報」、「市の事業」(12.3%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	福祉サービス事業所の情報（保育、介護、障害等を含む）(42.3)	地域で活動する団体の情報 (23.8)	災害や避難などに係る防災情報 (30.8)
2番目に多い回答	市の事業 (22.3)	福祉サービス事業所の情報（保育、介護、障害等を含む）(20.8)	学校の情報 (17.7)
3番目に多い回答	地域で活動する団体の情報 (14.6)	学校の情報 (16.9)	地域で活動する団体の情報 (12.3) 市の事業 (12.3)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「福祉サービス事業所の情報（保育、介護、障害等を含む）」（73.9%）が最も多く、次いで「災害や避難などに係る防災情報」（52.4%）、「地域で活動する団体の情報」（50.7%）となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

担当圏域別にみると、すべての圏域で「福祉サービス事業所の情報（保育、介護、障害等を含む）」が最も多くなっています。

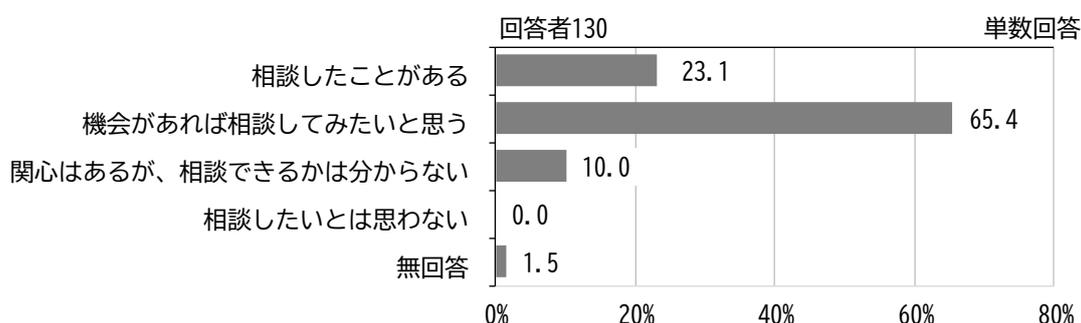
(%)

各項目1位に網掛		市の事業	地域で活動する団体の情報	福祉サービス事業所の情報（保育、介護、障害等を含む）	学校の情報	事故、不審者、詐欺などに係る防犯情報	災害や避難などに係る防災情報	その他	無回答
圏域	西部地区 (n=34)	20.6	20.6	41.2	2.9	2.9	11.8	0.0	0.0
	北東部地区 (n=34)	23.5	14.7	44.1	8.8	0.0	2.9	2.9	2.9
	中部地区 (n=31)	22.6	9.7	45.2	6.5	6.5	0.0	6.5	3.2
	南部地区 (n=31)	22.6	12.9	38.7	12.9	3.2	6.5	0.0	3.2

4. 「ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）」について

問18 地域の皆様からの、生活上の困り事の相談を受け付ける窓口として、「ほっとネットステーション」を設置しており、「地域福祉コーディネーター」が常駐しております。今後活動の中で地域の方の困り事を聞いたときに、相談してみたいと思いますか。（1つに○）

地域の皆様からの、生活上の困り事の相談を受け付ける窓口として、「ほっとネットステーション」を設置しており、「地域福祉コーディネーター」が常駐しております。今後活動の中で地域の方の困り事を聞いたときに、相談してみたいと思いますかについて、「機会があれば相談してみたいと思う」（65.4%）が最も多く、次いで「相談したことがある」（23.1%）、「関心はあるが、相談できるかは分からない」（10.0%）となっています。

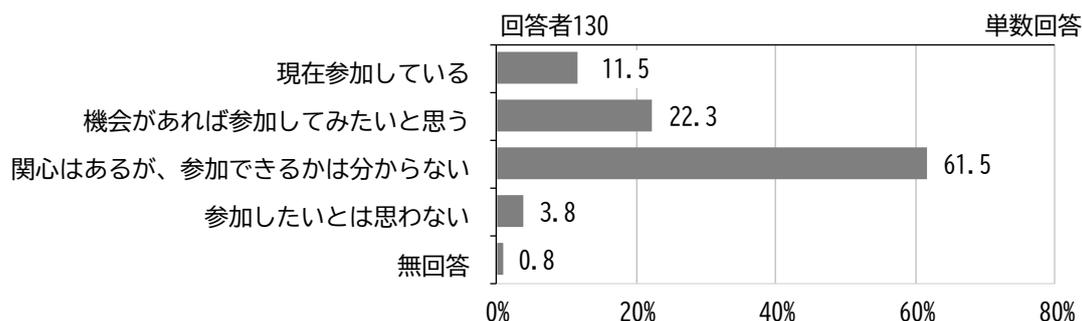


担当圏域別にみると、すべての圏域で「機会があれば相談してみたいと思う」が最も多くなっています。北東部地区、南部地区で「相談したことがある」が3割台と多くなっています。

		相談したことがある	機会があれば相談してみたいと思う	関心はあるが、相談できるかは分からない	相談したいとは思わない	無回答
各項目1位に網掛						
圏域	西部地区 (n=34)	11.8	70.6	17.6	0.0	0.0
	北東部地区 (n=34)	32.4	50.0	11.8	0.0	5.9
	中部地区 (n=31)	12.9	77.4	9.7	0.0	0.0
	南部地区 (n=31)	35.5	64.5	0.0	0.0	0.0

問19 ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）の中で、地域の問題や課題を発見し、解決のために協力してくださる市民の方（ほっとネット推進員）を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。（1つに○）

ほっとするまちネットワークシステム（通称 ほっとネット）の中で、地域の問題や課題を発見し、解決のために協力してくださる市民の方（ほっとネット推進員）を募集しています。今後、参加してみたいと思いますかについて、「関心はあるが、参加できるかは分からない」（61.5%）が最も多く、次いで「機会があれば参加してみたいと思う」（22.3%）、「現在参加している」（11.5%）となっています。



担当圏域別にみると、すべての圏域で「関心はあるが、参加できるかは分からない」が最も多くなっています。西部地区で「現在参加している」がほかの圏域に比べて少なくなっています。

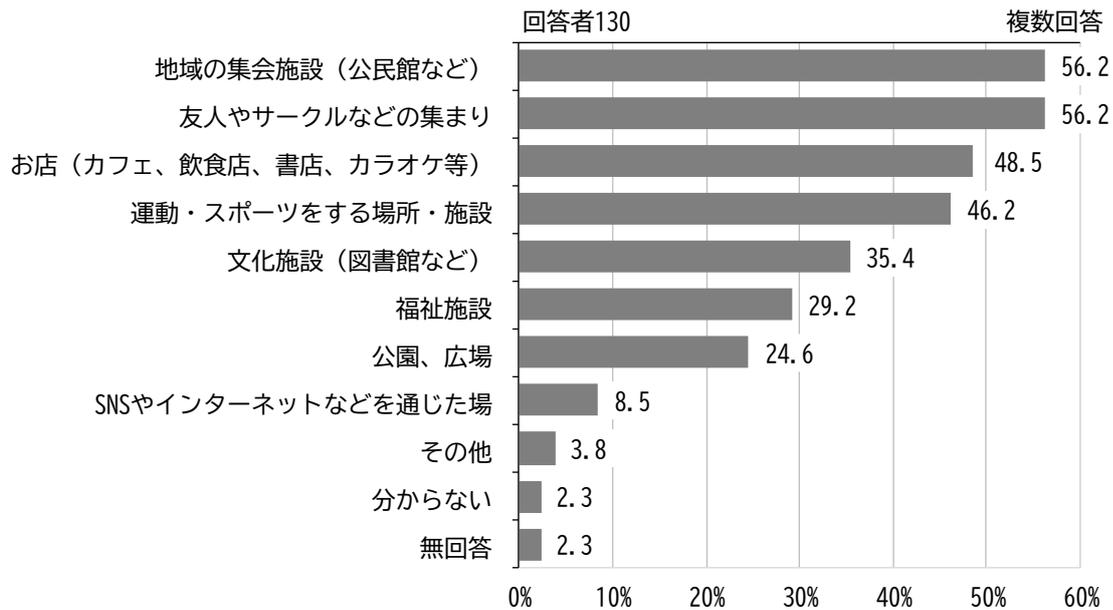
(%)

		現在参加している	機会があれば参加してみたいと思う	関心はあるが、参加できるかは分からない	参加したいとは思わない	無回答
各項目1位に網掛						
圏域	西部地区 (n=34)	2.9	20.6	76.5	0.0	0.0
	北東部地区 (n=34)	14.7	11.8	64.7	5.9	2.9
	中部地区 (n=31)	16.1	29.0	48.4	6.5	0.0
	南部地区 (n=31)	12.9	29.0	54.8	3.2	0.0

5. これからの取組について

問20 住民が孤立せず、孤独感を感じないよう、気兼ねなく過ごせる「居心地の良い場所」として、担当地区にどのような場が増えるとよいと思いますか。(いくつでも○)

住民が孤立せず、孤独感を感じないよう、気兼ねなく過ごせる「居心地の良い場所」として、担当地区にどのような場が増えるとよいと思いますかについて、「地域の集会施設（公民館など）」、「友人やサークルなどの集まり」(56.2%)が最も多く、次いで「お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ等）」(48.5%)となっています。



担当圏域別にみると、西部地区は「地域の集会施設（公民館など）」と「友人やサークルなどの集まり」、北東部地区、中部地区は「友人やサークルなどの集まり」、南部地区は「地域の集会施設（公民館など）」と「お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ等）」が最も多くなっています。

		(%)										
各項目1位に網掛		文化施設（図書館など）	地域の集会施設（公民館など）	運動・スポーツをする場所・施設	福祉施設	お店（カフェ、飲食店、書店、カラオケ等）	公園、広場	友人やサークルなどの集まり	SNSやインターネットなどを通じた場	その他	分からない	無回答
圏域	西部地区 (n=34)	26.5	52.9	47.1	29.4	44.1	26.5	52.9	11.8	0.0	2.9	5.9
	北東部地区 (n=34)	38.2	61.8	38.2	26.5	55.9	35.3	64.7	5.9	0.0	2.9	2.9
	中部地区 (n=31)	38.7	58.1	58.1	35.5	41.9	19.4	67.7	9.7	3.2	3.2	0.0
	南部地区 (n=31)	38.7	51.6	41.9	25.8	51.6	16.1	38.7	6.5	12.9	0.0	0.0

問21 安心して暮らせるまちのために、住民参加の取組として、どのような活動が重要だと思いますか。【選択欄】から3つまで選んで、最も重要な順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

安心して暮らせるまちのために、住民参加の取組として、どのような活動が重要だと思いますかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「地域での声かけ、見守り活動」(39.2%)が最も多く、次いで「高齢者・親・子どもなどの世代間交流」(10.8%)、「災害時に助け合うための関係づくり」(10.0%)となっています。

2位は「災害時に助け合うための関係づくり」(16.9%)が最も多く、次いで「高齢者・親・子どもなどの世代間交流」(15.4%)、「住民が参加しやすい場所、拠点づくり」(13.8%)となっています。

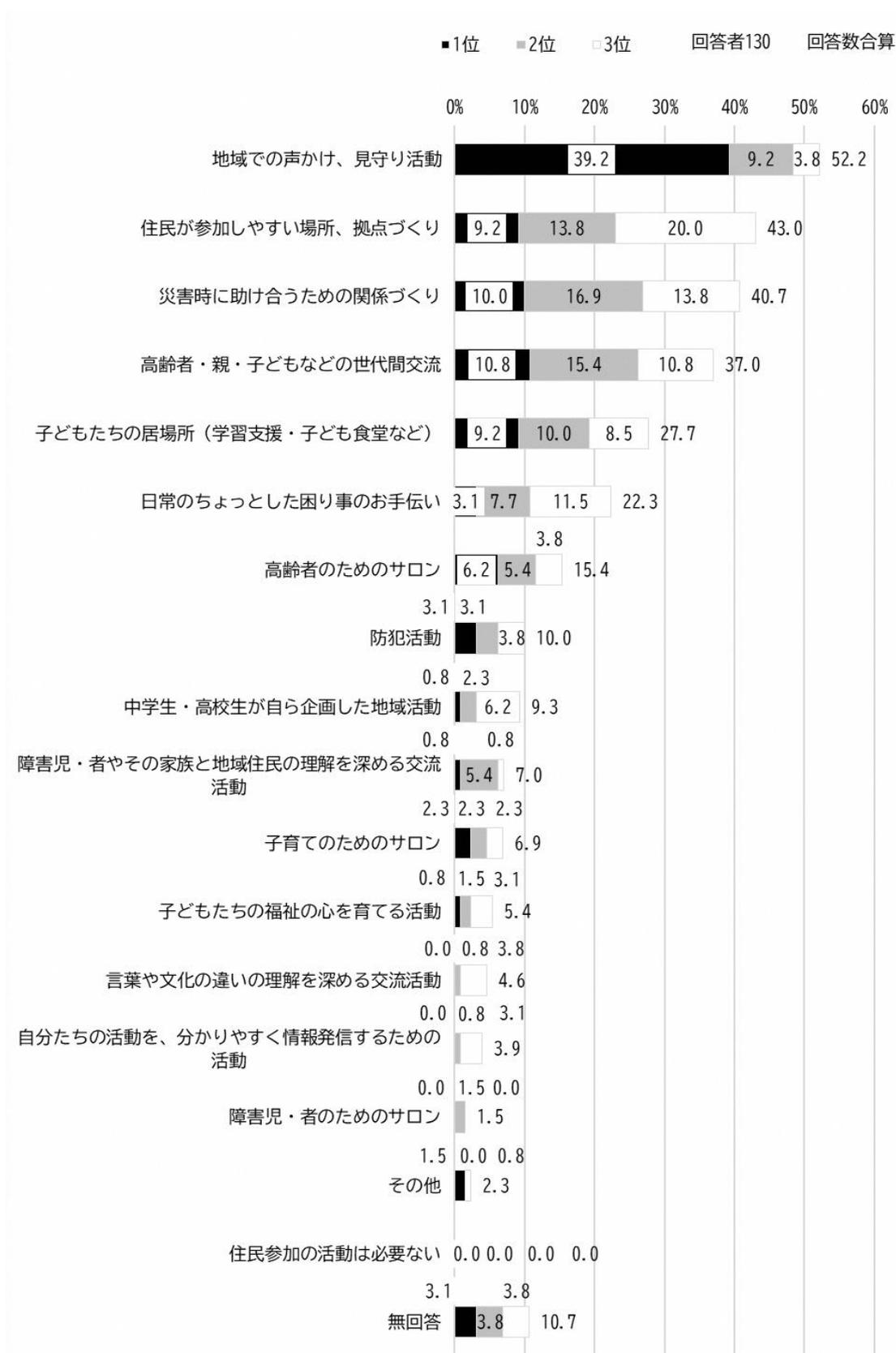
3位は「住民が参加しやすい場所、拠点づくり」(20.0%)が最も多く、次いで「災害時に助け合うための関係づくり」(13.8%)、「日常のちょっとした困り事のお手伝い」(11.5%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	地域での声かけ、見守り活動 (39.2)	災害時に助け合うための関係づくり (16.9)	住民が参加しやすい場所、拠点づくり (20.0)
2番目に多い回答	高齢者・親・子どもなどの世代間交流 (10.8)	高齢者・親・子どもなどの世代間交流 (15.4)	災害時に助け合うための関係づくり (13.8)
3番目に多い回答	災害時に助け合うための関係づくり (10.0)	住民が参加しやすい場所、拠点づくり (13.8)	日常のちょっとした困り事のお手伝い (11.5)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「地域での声かけ、見守り活動」(52.2%)が最も多く、次いで「住民が参加しやすい場所、拠点づくり」(43.0%)、「災害時に助け合うための関係づくり」(40.7%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

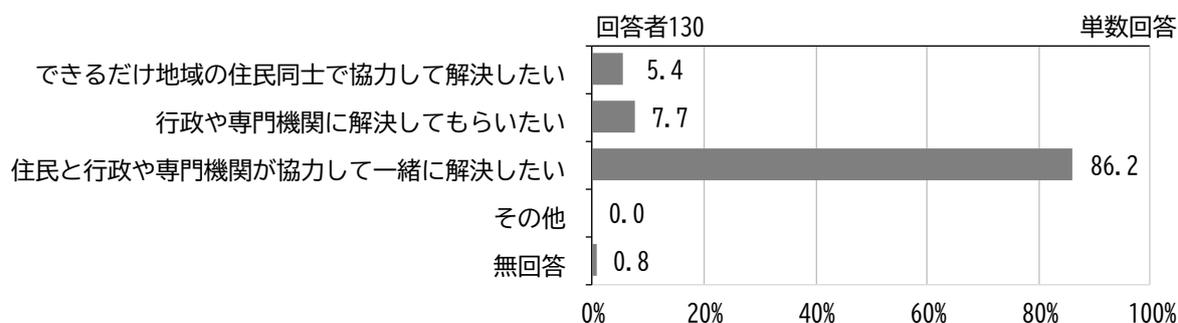
担当圏域別にみると、すべての圏域で「地域での声かけ、見守り活動」が最も多くなっています。

		(%)											
各項目1位に網掛		地域での声かけ、見守り活動	高齢者のためのサロン	障害児・者のためのサロン	子育てのためのサロン	子どもたちの居場所（学習支援・子ども食堂など）	子どもたちの福祉の心を育てる活動	高齢者・親・子どもなどの世代間交流	障害児・者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動	防犯活動	災害時に助け合うための関係づくり	住民が参加しやすい場所、拠点づくり	日常のちょっとした困り事のお手伝い
圏域	西部地区 (n=34)	38.2	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	11.8	0.0	2.9	17.6	11.8	11.8
	北東部地区 (n=34)	38.2	5.9	0.0	5.9	17.6	2.9	5.9	2.9	0.0	8.8	2.9	0.0
	中部地区 (n=31)	38.7	6.5	0.0	3.2	3.2	0.0	12.9	0.0	6.5	9.7	9.7	0.0
	南部地区 (n=31)	41.9	9.7	0.0	0.0	12.9	0.0	12.9	0.0	3.2	3.2	12.9	0.0

各項目1位に網掛		言葉や文化の違いの理解を深める交流活動	中学生・高校生が自ら企画した地域活動	自分たちの活動を、分かりやすく情報発信するための活動	その他	住民参加の活動は必要ない	無回答
圏域	西部地区 (n=34)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北東部地区 (n=34)	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	5.9
	中部地区 (n=31)	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0	3.2
	南部地区 (n=31)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2

問22 今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに○)

今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますかについて、「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」(86.2%)が最も多く、次いで「行政や専門機関に解決してもらいたい」(7.7%)、「できるだけ地域の住民同士で協力して解決したい」(5.4%)となっています。



担当圏域別にみると、すべての圏域で「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」が最も多くなっています。

		(%)					
各項目1位に網掛		協 力 し て だ け 解 決 し た い	ら い た い	行 政 や 専 門 機 関 に 解 決 し て も	住 民 と 一 緒 に 政 行 専 門 機 関 が 協 力	そ の 他	無 回 答
圏 域	西部地区 (n=34)	2.9	8.8	88.2	0.0	0.0	
	北東部地区 (n=34)	2.9	5.9	88.2	0.0	2.9	
	中部地区 (n=31)	3.2	12.9	83.9	0.0	0.0	
	南部地区 (n=31)	12.9	3.2	83.9	0.0	0.0	

問23 市の地域福祉推進のために重要な取組は何ですか。【選択欄】から3つまで選んで、最も重要な順に記入してください。

(1位～3位の欄に選択番号を記入する回答方式)

1位	2位	3位

市の地域福祉推進のために重要な取組は何ですかについて、1位、2位、3位の順位を付けて聞いたところ、1位は「地域における連携体制づくり」(27.7%)が最も多く、次いで「福祉活動を行う人材の発掘」(12.3%)、「出会いの場、話し合いの場づくり」(10.8%)となっています。

2位は「地域における支え合い活動の促進」(16.2%)が最も多く、次いで「相談支援体制の充実」(12.3%)、「分かりやすい情報の提供」(10.8%)となっています。

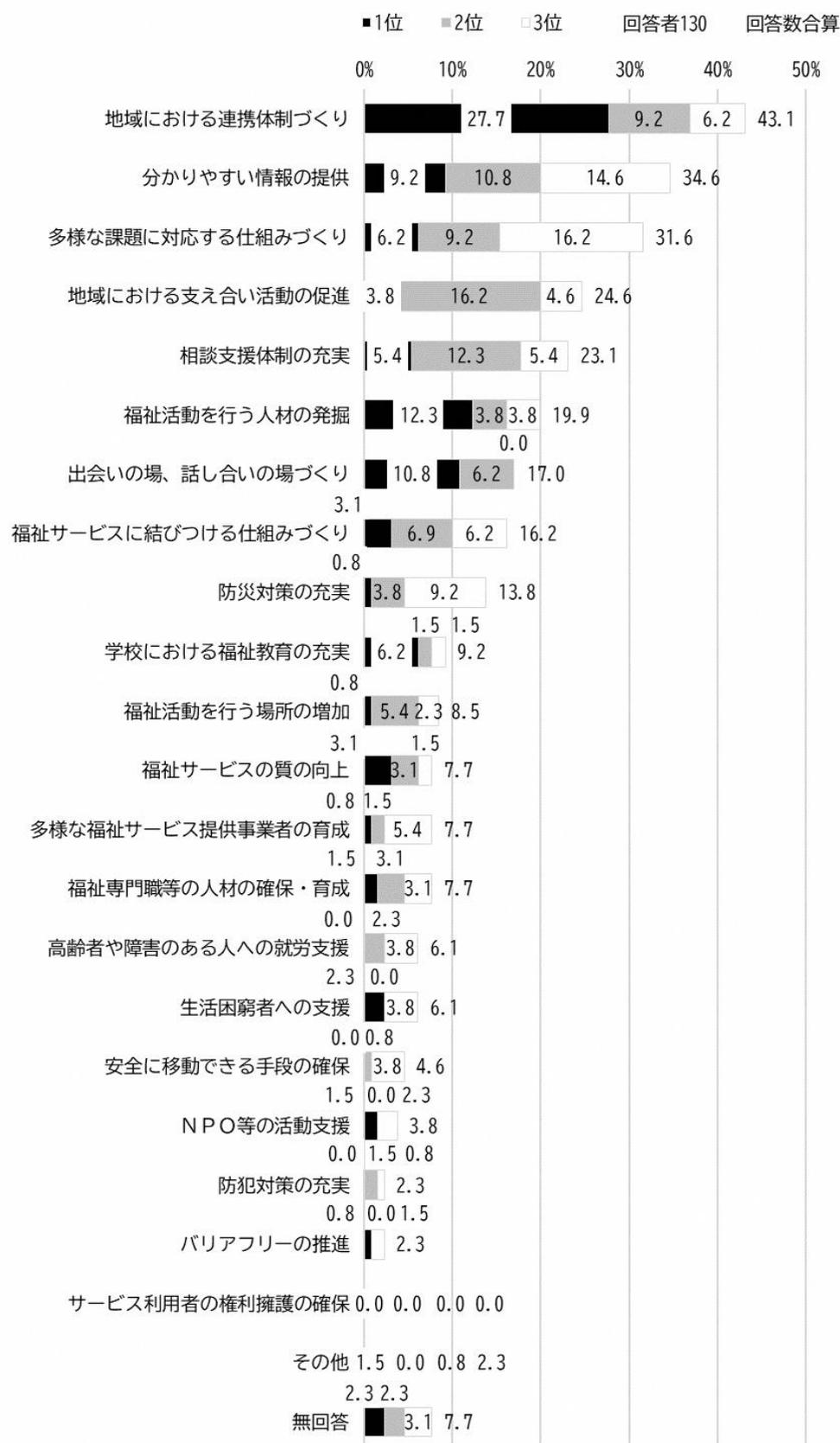
3位は「多様な課題に対応する仕組みづくり」(16.2%)が最も多く、次いで「分かりやすい情報の提供」(14.6%)、「防災対策の充実」(9.2%)となっています。

(%)

	1位の回答	2位の回答	3位の回答
最も多い回答	地域における連携体制づくり (27.7)	地域における支え合い活動の促進 (16.2)	多様な課題に対応する仕組みづくり (16.2)
2番目に多い回答	福祉活動を行う人材の発掘 (12.3)	相談支援体制の充実 (12.3)	分かりやすい情報の提供 (14.6)
3番目に多い回答	出会いの場、話し合いの場づくり (10.8)	分かりやすい情報の提供 (10.8)	防災対策の充実 (9.2)

< 1位、2位、3位の回答数を合計 >

1位、2位、3位の回答数を合計すると、「地域における連携体制づくり」(43.1%)が最も多く、次いで「分かりやすい情報の提供」(34.6%)、「多様な課題に対応する仕組みづくり」(31.6%)となっています。



< 1位回答のクロス集計 >

担当圏域別にみると、西部地区、北東部地区、中部地区は「地域における連携体制づくり」、南部地区は「福祉活動を行う人材の発掘」と「出会いの場、話し合いの場づくり」が最も多くなっています。

(%)

各項目1位に網掛		学校における福祉教育の充実	福祉活動を行う人材の発掘	福祉活動を行う場所の増加	NPO等の活動支援	地域における連携体制づくり	出会いの場、話し合いの場づくり	地域における支え合い活動の促進	相談支援体制の充実	分かりやすい情報の提供	サービス利用者の権利擁護の確保	福祉サービスに結びつける仕組みづくり	多様な課題に対応する仕組みづくり
圏域	西部地区 (n=34)	2.9	8.8	0.0	0.0	38.2	14.7	0.0	5.9	8.8	0.0	2.9	2.9
	北東部地区 (n=34)	2.9	17.6	0.0	2.9	29.4	14.7	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9
	中部地区 (n=31)	9.7	9.7	0.0	0.0	32.3	0.0	3.2	6.5	6.5	0.0	3.2	6.5
	南部地区 (n=31)	9.7	12.9	3.2	3.2	9.7	12.9	6.5	3.2	9.7	0.0	6.5	9.7

各項目1位に網掛		福祉サービスの質の向上	福祉専門職等の人材の確保・育成	多様な福祉サービス提供事業者の育成	防災対策の充実	防犯対策の充実	バリアフリーの推進	安全に移動できる手段の確保	高齢者や障害のある人への就労支援	生活困窮者への支援	その他	無回答
圏域	西部地区 (n=34)	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	2.9	0.0
	北東部地区 (n=34)	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中部地区 (n=31)	6.5	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5
	南部地区 (n=31)	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2

問24 以下のテーマについて、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

(自由記述)

(1) みんなで助け合い・支え合う地域をつくるためのご意見やアイデア

区分	郵送回答	WEB 回答	計
自治組織や地域活動に関すること	12 人	1 人	13 人
交流や居場所に関すること	28 人	0 人	28 人
市の取組に関すること（上記以外）	17 人	5 人	22 人
その他	0 人	2 人	2 人
合計	57 人	8 人	65 人

<自治組織や地域活動に関すること>

- ✓ 自治会など地域分けしてグループを作る。ある程度仕組みづくりをする。どんなこともそこからの立ち上がりだと思う。
- ✓ 自治会のような組織づくりは、もう不可能でしょうか。

<交流や居場所に関すること>

- ✓ コロナでみんなで会う機会が減っていますのでまず、出会う機会を作ることが大切だと思います。
- ✓ 地域の世代間交流がほとんどないように思う。行政 NPO 等の支援を受けて活動が始められれば良いが。
- ✓ 独り住まいの高齢者に家に引きこもってないで老人クラブ、体操教室、趣味のサークル活動等々に興味を持ってもらいたい。健康で長生きしていくための活動をしていきたいと思っています。

<市の取組に関すること（上記以外）>

- ✓ 共働きの若い保護者の方も多く、地域活動まで時間が回せない方も沢山いらっしゃると思います。また、ご自宅に引きこもってしまいがちな高齢者もいらっしゃいます。世代によって求めているニーズが違うので地域、学校、行政が一体となり課題に取り組む必要があると思います。
- ✓ 幅広い年齢層で支え合うことを考えていかないと、見守る側が減っていってしまうと思う。やはり学校での福祉、ボランティア活動に対する教育が足りないと思う。小学生のうちから支え合いとは？福祉とは？ボランティアとは？などの教育を始めるべき。

(2) 地域福祉を進める取組について、ご意見、ご提案があれば教えてください。

区分	郵送回答	WEB 回答	計
相談や情報に関すること	19 人	2 人	21 人
民生委員の活動に関すること	9 人	2 人	11 人
市の取組に関すること（上記以外）	16 人	3 人	19 人
その他	0 人	1 人	1 人
合計	44 人	8 人	52 人

<相談や情報に関すること>

- ✓ 活動内容が重複してそうな関係機関の整理と情報交換が必要に感じます。
- ✓ 市内に様々な相談体制はできているがそれぞれ、独立しているように感じる事が多くその困りごとを抱えている家庭、個人のため、連携がうまく出来ていない事を感じることがある。
- ✓ 具体的にわかりやすいものがよいのではと思う。相談をどこに、どのようにしたらよいのか分からずに活用されずにいる人もいるのではと感じます。「必要ならここに来てください」ではなく、もっと身近に何となく互に行き来出来る場所や人とのつながりを作れたらよいと思います。

<民生委員の活動に関すること>

- ✓ 本当に助けが必要な人を、本人からのアプローチが無しでは、なかなか気が付くことは難しいです。
- ✓ 民生委員が地域住民に対して行政側の実施する施策が伝わらない。民生委員も誰に言えば良いかわからないのでコンタクト方法を模索する何かを教えてほしい

<市の取組に関すること（上記以外）>

- ✓ 高齢者施設、小学校、中学校、高校、保育施設等の連携が取れるとよいと思う。コロナ中は難しいが比較的元気な高齢者施設の一角で託児 or 放課後学習、カフェ、子供食堂ができるといいのでは。
- ✓ 地域にはいろいろな世代、いろいろな職種についている方がいるので、各々が自分のできることを活かせる部分で助け合いができる場を作る。平日の昼間に研修や講座を設けても参加できるのは一部なので、休日を利用したり、オンラインで参加できる場を設ける。

IV 経年比較

1. 一般市民

(注)(SA)は単数回答、(MA)は複数回答

令和4年調査の(MA)設問のうち、1位、2位、3位を選ぶ設問は<1位、2位、3位の回答数合計>

(%)

No.	問1 性別を教えてください。(SA)	平成24年 (n=1,321)	平成29年 (n=1,270)	令和4年 (n=1,020)		
1	男性	44.0	43.4	42.1		
2	女性	55.7	52.8	55.1		
*	回答しない			1.2		
	無回答	0.3	3.9	1.7		
No.	問2 年齢を教えてください。(SA)	平成24年 (n=1,321)	平成29年 (n=1,270)	令和4年 (n=1,020)		
1	18~29歳	10.4	7.4	6.1		
2	30~39歳	16.2	10.2	12.1		
3	40~49歳	21.2	16.5	16.6		
4	50~59歳	18.8	16.5	19.6		
5	60~64歳	21.0	16.1	9.6		
6	65~69歳			6.6		
7	70~74歳			9.8		
8	75~79歳			8.6		
9	80歳以上			11.2		
	無回答	0.0	3.8	1.4		
No.	問3 同居している方を教えてください。(MA)	平成24年 (n=1,321)	平成29年 (n=1,270)	令和4年 (n=1,020)		
1	ひとり暮らし(同居はいない)	11.1	13.5	15.7		
2	配偶者(パートナー含む)			64.3		
3	ご自身の子ども			42.0		
4	ご自身の親			11.7		
5	配偶者の親			1.9		
6	孫			2.0		
7	その他の親族・家族			4.1		
8	その他			0.8		
*	夫婦ふたり暮らし			23.0	27.1	
*	親と同居(二世帯)			15.6	12.2	
*	子どもと同居(二世帯)			42.3	35.3	
*	子どもと親又は孫の三世帯同居	3.4	4.6			
*	その他の世帯	3.6	2.8			
	無回答	0.9	4.4	1.5		
No.	問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(SA)	平成24年 (n=1,321)	平成29年 (n=1,270)	令和4年 (n=1,020)		
1	2年以内	11.6	5.9	5.5		
2	3~5年	10.0	8.1	10.3		
3	6~10年	16.7	10.2	11.5		
4	11~20年	22.1	21.5	20.1		
5	21~30年	14.2	14.6	16.0		
6	31年以上	24.9	35.2	34.8		
	無回答	0.5	4.5	1.9		

No.	問 5 現在、お住まいの地区を教えてください。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	田無町	5.8	6.3	5.5
2	南町	5.8	5.7	7.0
3	西原町	3.2	3.5	3.4
4	緑町	2.3	1.8	1.6
5	谷戸町	7.3	6.4	8.1
6	北原町	2.3	2.2	2.0
7	向台町	8.5	7.8	7.3
8	芝久保町	9.9	9.9	9.0
9	新町	4.3	4.6	5.4
10	柳沢	6.1	6.0	4.8
11	東伏見	2.8	2.4	3.2
12	保谷町	5.9	5.7	5.3
13	富士町	5.2	4.9	5.2
14	中町	3.5	3.8	4.0
15	東町	2.6	3.7	4.2
16	泉町	4.2	4.6	3.3
17	住吉町	4.0	3.2	3.9
18	ひばりが丘	4.7	4.6	5.4
19	ひばりが丘北	2.5	1.9	2.0
20	栄町	2.2	1.9	2.0
21	北町	1.9	2.1	2.1
22	下保谷	4.0	3.1	3.9
	無回答	1.1	3.9	1.5
No.	問 6 現在の住居形態を教えてください。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	一軒家(持ち家)	50.4	50.7	50.1
2	集合住宅(持ち家)	19.1	20.6	19.5
3	一軒家(民間賃貸)	2.0	2.2	1.8
4	集合住宅(民間賃貸)	24.2	20.6	19.8
5	公営住宅(市営・都営住宅等)			5.5
6	寮・社宅・公務員住宅等	0.8	0.2	0.7
7	その他	2.3	1.9	1.1
	無回答	1.2	3.9	1.6
No.	問 7 現在の職業を教えてください。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	正規の社員・職員・役員	29.6	24.0	30.7
2	非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)	15.2	14.3	21.2
3	自由業・自営業(家業手伝いを含む)	1.5	2.0	5.0
4	専業主婦・主夫	20.5	14.8	15.3
5	学生	3.5	2.3	2.9
6	無職	14.2	23.7	21.9
7	農林漁業	0.3	0.1	
8	自営業・家族従業	5.5	5.4	
9	公務員	3.6	4.1	
10	派遣等	1.8	1.7	
11	その他	4.3	3.4	1.4
	無回答	0.1	4.3	1.7

No.	問8 ふだん、近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか。(SA)	平成24年 (n=1,321)	平成29年 (n=1,270)	令和4年 (n=1,020)
1	ほとんど顔も知らない	8.6	7.9	10.9
2	顔は知っているが、声をかけたことがない	1.8	3.1	2.3
3	顔を合わせれば、挨拶をする	71.8	72.0	75.4
4	2~3日留守にするときは、声をかける	6.3	5.9	4.7
5	常備品が切れたときに、貸し借りをすることがある	0.9	1.3	1.2
6	家族ぐるみで親交を持ち、ときどき家を行き来する	4.5	4.1	3.5
7	その他	0.8	0.5	0.9
	無回答	5.3	5.2	1.2
No.	問9 あなたは、地域での人との付き合いや関わりが必要だと考えますか。(SA)	平成24年 (n=1,321)	平成29年 (n=1,270)	令和4年 (n=1,020)
1	必要だと思う	34.8	35.1	34.6
2	まあまあ必要だと思う	48.5	46.7	49.9
3	ほとんど必要ないと思う	6.9	8.1	11.8
4	必要でない	0.9	1.2	1.8
	無回答	8.9	8.9	2.0
No.	付問 《問9で「1または2」とお答えの方におたずねします》 どのようなときに、地域との関わりが必要を感じますか。 (MA)	平成24年 (n=1,094)	平成29年 (n=1,039)	令和4年 (n=862)
1	近所の人に気軽に相談したいと思ったとき	21.6	23.5	26.7
2	高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき	55.6	44.2	44.6
3	子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき	31.7	24.3	22.5
4	言葉や文化の違いで、地域に溶け込めない外国籍の人を見かけたとき	3.2	3.8	4.1
5	災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき	71.5	62.8	69.4
6	近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき	23.4	21.5	51.8
7	近所に手助けが必要な人を見かけたとき	36.2	29.0	34.1
8	防犯活動やふれあいのまちづくり住民懇談会など、地域ぐるみで取り組んでいる活動があることを聞いたとき	17.9	16.6	17.8
9	地域の行事に参加したとき	11.4	10.2	8.6
10	その他	2.3	2.7	2.1
	無回答	0.9	1.3	18.4

No.	問 10 ご自宅や近所に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。(MA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,039)	令和 4 年 (n=1,020)
1	高齢者のひとり暮らし世帯			25.1
2	寝たきりと思われる人		1.8	2.4
3	認知症と思われる人		6.8	7.8
4	病気療養中と思われる人		7.1	7.9
5	生活に困窮していると思われる人		2.3	2.5
6	大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)			5.5
7	高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)			9.3
8	近隣や地域と関わりを持たない人や世帯			9.0
9	高齢の親が同居する中高年の子どもの生活を支え、経済的に困窮している世帯(8050 問題)			1.9
10	子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯(ダブルケア)			1.2
11	子どもが家族の介護などによって、自分の時間を持ってない世帯(ヤングケアラー)			1.7
12	家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待)			1.6
13	その他、複数の困り事や深刻な課題を抱えていると思われる世帯		2.2	3.3
14	いない		21.4	18.2
15	知らない	39.8	38.7	
*	高齢者のみの世帯	25.4		
*	閉じこもりや引きこもりの人	4.7		
	無回答	10.0	4.6	
No.	問 13 お住まいの地域に次のようなことを感じていますか。(MA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	挨拶をしない人が多い	17.3	14.2	19.2
2	近所との交流が少ない	32.7	30.0	37.0
3	世代間の交流が少ない	23.4	17.2	25.6
4	地域の活動が活発でない	20.4	17.2	24.2
5	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	17.4	14.2	20.6
6	移動手段が整っていない	10.6	7.2	6.7
7	買い物へ行くのに不便を感じている		9.3	8.1
8	緊急時にどうしたらよいか分からない	33.1	22.0	22.3
9	治安が悪くなっている	7.7	5.5	4.7
10	地域から孤立している人がいる	6.1	3.7	2.9
11	必要な支援につながない人がいる	4.5	2.6	2.6
12	その他	7.6	4.6	2.3
13	特にない		25.4	25.3
	無回答	17.8	6.9	3.0
No.	問 14 日常生活で困ったときに、手助けを頼める人がいますか(家族・親族を含む)。(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	手助けを頼める人がいる		48.3	69.6
2	手助けを頼みたい人がいない		8.8	7.7
3	困っていることはあるが、手助けは不要		3.6	2.7
4	特に困っていることはない		32.7	17.8
	無回答		6.5	2.1

No.	問 15 もし、あなたが高齢・障害や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちに手伝ってほしいことはありますか。(MA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	趣味などの話し相手	8.9	8.5	5.6
2	安否確認の見守り、声かけ	37.4	31.7	33.5
3	ごみ出し	11.7	12.4	10.6
4	ペットの世話	2.0	3.4	3.7
5	庭の手入れ	3.3	5.4	3.2
6	ちょっとした買い物	16.7	13.5	16.6
7	短時間の子どもの預かり	3.6	3.6	4.7
8	通院・外出などの手伝い	16.3	12.3	16.3
9	お弁当の配食	10.0	8.3	10.6
10	食事の支度や片付け	8.5	8.0	9.0
11	掃除・洗濯	12.6	12.5	11.6
12	家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換	4.4	7.2	6.2
13	急病時の対応	44.6	36.9	44.7
14	災害時の手助け	42.0	39.7	44.7
15	子育てや介護など悩み事の相談	2.5	3.4	3.7
16	地域の情報提供	8.8	7.6	9.7
17	その他	2.4	2.3	1.0
18	特になし	11.2	11.1	10.1
	無回答	6.6	6.0	54.7
No.	問 16 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすために、あなた自身にできることはありますか。(MA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	趣味などの話し相手	21.6	19.8	17.3
2	安否確認の見守り、声かけ	55.2	40.5	45.6
3	ごみ出し	15.0	16.0	14.6
4	ペットの世話	3.3	3.9	4.4
5	庭の手入れ	3.9	4.4	3.2
6	ちょっとした買い物	31.5	22.8	29.8
7	短時間の子どもの預かり	7.4	6.6	5.7
8	通院・外出などの手伝い	7.7	8.1	8.7
9	お弁当の配食	2.9	2.8	3.3
10	食事の支度や片付け	2.5	2.1	2.6
11	掃除・洗濯	4.5	6.1	5.6
12	家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換	7.4	6.0	5.2
13	急病時の対応	26.3	18.5	19.1
14	災害時の手助け	43.6	30.5	35.3
15	子育てや介護など悩み事の相談	6.0	5.0	5.4
16	地域の情報提供	7.0	5.7	11.6
17	その他	3.1	2.7	1.2
18	特になし	9.3	13.6	16.0
	無回答	2.0	6.8	66.0

No.	問 19 現在、自治(町)会に加入していますか。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	加入している	24.5	28.3	24.3
2	加入していない	68.5	64.5	72.5
	無回答	7.0	7.2	3.1
No.	付問 《問 19 で「2」とお答えの方におたずねします》 加入していない主な理由は何ですか。(SA)	平成 24 年 (n=905)	平成 29 年 (n=819)	令和 4 年 (n=740)
1	自治(町)会がない	34.7	35.4	32.6
2	自治(町)会があるのかどうか知らない	33.4	28.3	29.3
3	加入の必要性を感じない	3.6	5.4	6.8
4	会費を払いたくない	0.1	0.0	0.9
5	暇がない	6.1	5.5	3.6
6	人付き合いがわずらわしい	1.2	2.0	3.1
7	自治(町)会は不要である	0.8	1.6	0.9
8	加入に誘われない	5.3	5.1	4.6
9	その他	4.1	3.9	2.2
10	特に理由はない	9.9	11.1	11.1
	無回答	0.8	1.7	4.9
No.	問 24 今後、福祉に係るボランティア活動に参加したいとお考えですか。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	積極的に参加したい	1.7	2.0	2.4
2	できるだけ参加したい	46.6	37.7	28.2
3	あまり参加したくない	32.3	35.7	44.6
4	参加したくない	7.0	9.7	20.2
	無回答	12.4	14.8	4.6
No.	問 25 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	参加している	8.8	12.2	9.8
2	参加していない	79.4	75.4	88.4
3	わからない	7.7	6.9	
	無回答	4.1	5.4	1.8
No.	問 26①福祉に係る用語、市や関係機関の事業等についてお聞き します。ア～サについて知っていますか。 ア 成年後見制度(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている	74.6	21.7	21.4
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	12.1	28.6	30.4
3	名前は知っているが、内容は知らない	3.2	20.9	24.8
4	名前も内容も知らない	3.0	23.5	20.0
	無回答	7.1	5.3	3.4
No.	問 26① イ 生活困窮者自立支援制度(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている		10.0	8.7
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		22.0	24.3
3	名前は知っているが、内容は知らない		37.2	41.8
4	名前も内容も知らない		25.3	21.7
	無回答		5.4	3.5
No.	問 26① ウ 地域包括支援センター(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている		19.8	20.7
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		18.7	22.4
3	名前は知っているが、内容は知らない		29.4	30.5
4	名前も内容も知らない		27.3	23.3
	無回答		4.7	3.1

No.	問 26① エ 西東京市社会福祉協議会(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている	15.9	14.3	12.9
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	15.6	20.2	18.3
3	名前は知っているが、内容は知らない	36.1	35.9	39.4
4	名前も内容も知らない	26.0	25.1	26.2
	無回答	6.4	4.6	3.1
No.	問 26① オ 民生委員・児童委員(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている	28.4	20.9	18.1
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	31.8	36.5	33.1
3	名前は知っているが、内容は知らない	23.2	23.5	31.5
4	名前も内容も知らない	9.4	13.9	14.2
	無回答	7.2	5.1	3.0
No.	問 26① カ ほっとするまちネットワークシステム(通称 ほっとネット)(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている	2.6	2.7	2.1
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	3.0	3.3	4.1
3	名前は知っているが、内容は知らない	15.5	15.4	17.9
4	名前も内容も知らない	70.4	73.3	72.5
	無回答	8.5	5.4	3.3
No.	問 26① キ ふれあいのまちづくり住民懇談会(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている	2.9	2.6	1.3
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	3.3	3.1	3.3
3	名前は知っているが、内容は知らない	14.8	16.5	13.2
4	名前も内容も知らない	70.9	72.8	78.5
	無回答	8.0	5.0	3.6
No.	問 26① ク ささえあいネットワーク(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	名前も内容も知っている	3.6	3.3	1.8
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	4.7	3.8	2.9
3	名前は知っているが、内容は知らない	17.1	17.0	13.0
4	名前も内容も知らない	66.5	71.2	78.5
	無回答	8.0	4.7	3.7
No.	問 26② ア〜ケについて知っているか、関わったことはありますか。 ア ほっとネット推進員(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	関わったことがある	/	0.7	1.0
2	知っているが、関わったことはない		11.7	9.4
3	知らなかった		82.3	85.7
4	無回答		5.4	3.9
No.	問 26② イ ささえあい訪問協力員(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	関わったことがある	/	1.4	1.6
2	知っているが、関わったことはない		13.9	9.9
3	知らなかった		79.3	84.4
4	無回答		5.4	4.1
No.	問 26② ウ 地域福祉コーディネーター(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	関わったことがある	/	1.6	1.2
2	知っているが、関わったことはない		19.1	16.5
3	知らなかった		73.9	78.3
4	無回答		5.4	4.0

No.	問 26② エ 生活支援コーディネーター(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1, 270)	令和 4 年 (n=1, 020)
1	関わったことがある		1.5	1.2
2	知っているが、関わったことはない		21.6	20.5
3	知らなかった		71.5	73.9
4	無回答		5.4	4.4
No.	問 26② オ 生活サポート相談窓口(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1, 270)	令和 4 年 (n=1, 020)
1	関わったことがある		1.4	0.8
2	知っているが、関わったことはない		28.6	32.8
3	知らなかった		64.5	61.7
4	無回答		5.5	4.7
No.	問 27 ふだん、福祉に係る情報をどのように得ていますか。 (MA)	平成 24 年 (n=1, 321)	平成 29 年 (n=1, 270)	令和 4 年 (n=1, 020)
1	市の広報紙	77.9	74.5	69.7
2	市のホームページ	13.4	13.9	20.4
3	市や保健医療福祉機関などの窓口	4.5	4.2	4.4
4	市の掲示物	12.4	10.3	11.6
5	市が行う出前講座	0.8	1.2	1.1
6	民生委員・児童委員	3.0	2.4	1.3
7	社会福祉協議会	5.5	3.9	4.1
8	自治(町)会の回覧板などのお知らせ	8.8	8.0	4.7
9	新聞・テレビ・ラジオ	24.8	26.1	15.6
10	インターネット		15.9	14.2
11	SNS			5.1
12	家族・親戚	12.6	11.7	9.2
13	友人・知人	13.6	13.1	11.8
14	その他	4.7	3.2	1.8
15	情報は入手していない			16.1
	無回答		7.2	5.5
No.	問 31 地域で暮らす中で困ったときは、誰(機関)に相談したい ですか。もしくは相談したことがありますか。(MA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1, 270)	令和 4 年 (n=1, 020)
1	家族・親戚		70.7	73.5
2	友人・知人		45.2	52.3
3	近所の人		20.9	16.7
4	自治(町)会		5.1	3.4
5	民生委員・児童委員		5.9	2.7
6	社会福祉協議会		5.3	3.4
7	民間団体(福祉施設等)		1.9	1.2
8	地域包括支援センター		17.5	13.9
9	子ども家庭支援センター		2.5	2.1
10	ボランティア団体やNPO		1.4	1.9
11	市役所		46.8	45.5
12	企業		1.1	1.8
13	ふれまちサポーター		0.2	0.4
14	ほっとネット推進員		0.5	0.4
15	地域福祉コーディネーター		2.5	1.5
16	生活支援コーディネーター		2.4	0.9
17	ささえあい訪問協力員		1.0	0.7
18	誰もいない		2.7	2.2
19	相談したくない		1.1	1.2
20	その他		2.9	2.8
21	無回答		4.5	2.9

No.	問 34 お住まいの地域は、高齢者、障害者、子どもなど、誰にとっても住みやすいと思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	住みやすい	11.4	16.1	23.9
2	ふつう	68.2	64.4	65.3
3	住みにくい	12.9	12.4	8.3
	無回答	7.4	7.0	2.5
No.	付問《問 34 で「3」とお答えの方におたずねします》住みにくいと思う理由は何ですか。(MA)	平成 24 年 (n=170)	平成 29 年 (n=158)	令和 4 年 (n=85)
1	地域住民の理解や協力が少ない	21.8	10.8	14.2
2	交通機関が不便・利用しにくい	38.7	37.3	25.9
3	買い物などが不便	32.4	35.4	22.4
4	生活の悩みを相談できる窓口が少ない	8.5	7.6	9.5
5	日常生活を支えるサービスが少ない	15.5	6.3	10.6
6	利用しやすい公共施設が少ない	18.3	24.1	25.9
7	道路の段差が多い・歩道が整備されていない	44.4	43.7	45.8
8	身近に働く場所が少ない	9.9	10.1	11.8
9	利用しやすい医療機関が少ない	15.5	13.9	20.0
10	機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない	9.2	10.8	11.8
11	防犯・防災対策が十分ではない	22.5	13.9	11.8
12	親子で遊べる場所が少ない	10.6	20.9	27.1
13	その他	21.8	15.8	20.0
	無回答		0.6	43.5
No.	問 35 地域の皆様からの、生活上の困り事の相談を受け付ける窓口として、「ほっとネットステーション」を設置しており、「地域福祉コーディネーター」が常駐しております。今後、日常生活の中で何か困り事があったときに、相談してみたいと思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	相談したことがある		1.7	0.9
2	機会があれば相談してみたいと思う	29.6	42.9	46.5
3	関心はあるが、相談できるかは分からない	44.7	37.4	39.0
4	相談したいとは思わない	12.5	9.6	10.4
	無回答	13.2	8.4	3.2
No.	問 36 ほっとするまちネットワークシステム(通称 ほっとネット)の中で、地域の問題や課題を発見し、解決のために協力してくださる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	現在参加している		0.4	0.5
2	機会があれば参加してみたいと思う	7.4	10.8	10.4
3	関心はあるが、参加できるかは分からない	50.3	52.4	57.8
4	参加したいとは思わない	28.2	26.7	27.8
	無回答	14.2	9.7	3.4

No.	問 38 安心して暮らせるまちのために、住民参加の取組として、どのような活動が重要だと思いますか。(MA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	地域での声かけ、見守り活動		50.9	38.9
2	高齢者のためのサロン		31.3	13.3
3	障害児・者のためのサロン		17.7	6.0
4	子育てのためのサロン		22.4	11.3
5	子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)		32.4	23.0
6	子どもたちの福祉の心を育てる活動		17.3	6.9
7	高齢者・親・子どもなどの世代間交流		21.3	11.8
8	障害児・者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動		16.8	6.0
9	防犯活動		45.7	31.4
10	災害時に助け合うための関係づくり		48.5	46.5
11	住民が参加しやすい場所、拠点づくり		25.2	21.0
12	日常のちょっとした困り事のお手伝い		20.2	15.4
13	言葉や文化の違いの理解を深める交流活動		9.0	3.5
14	中学生・高校生が自ら企画した地域活動		10.0	3.6
15	自分たちの活動を、分かりやすく情報発信するための活動		8.4	4.0
16	その他		1.8	2.2
17	住民参加の活動は必要ない		2.8	3.9
	無回答	10.1	51.3	
No.	問 39 住民参加の取組を進めるに当たって、何が重要だと思いますか。(MA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	活動を支える協力者		50.6	50.1
2	リーダーの養成		26.1	24.2
3	活動者・協力者間の交流・相談の場		29.5	24.9
4	活動する場		28.7	31.4
5	サービス・相談機関等に係る情報の提供		28.3	24.0
6	活動の資金		31.7	34.7
7	地域の課題に対する情報提供		26.5	26.2
8	活動に参加するための講座・行事の開催		19.4	17.2
9	その他		1.4	2.5
10	特になし		5.7	7.1
	無回答	10.9	57.9	
No.	問 40 今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	できるだけ地域の住民同士で協力して解決したい		11.1	7.5
2	行政や専門機関に解決してもらいたい		19.0	20.2
3	住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい		58.9	65.1
4	その他		1.8	1.4
	無回答	9.2	5.8	

No.	問 41 市の地域福祉推進のために重要な取組は何ですか。 (MA)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)	令和 4 年 (n=1,020)
1	学校における福祉教育の充実	24.4	16.3	15.9
2	福祉活動を行う人材の発掘	11.4	10.7	16.0
3	福祉活動を行う場所の増加	5.1	4.3	8.5
4	NPO等の活動支援	5.3	6.5	4.7
5	地域における連携体制づくり	15.1	15.0	14.0
6	出会いの場、話し合いの場づくり	10.5	12.0	9.8
7	地域における支え合い活動の促進	9.1	8.8	10.1
8	相談支援体制の充実	14.6	13.1	18.5
9	分かりやすい情報の提供	35.9	37.7	35.0
10	サービス利用者の権利擁護の確保	2.6	2.7	1.8
11	福祉サービスに結びつける仕組みづくり	7.3	7.8	9.2
12	多様な課題に対応する仕組みづくり	10.6	10.6	15.9
13	福祉サービスの質の向上	14.1	12.4	13.8
14	福祉専門職等の人材の確保・育成	11.7	15.6	13.0
15	多様な福祉サービス提供事業者の育成	5.0	5.2	5.6
16	防災対策の充実	18.5	24.6	19.9
17	防犯対策の充実	14.3	21.8	15.2
18	バリアフリーの推進	11.7	15.8	8.3
19	安全に移動できる手段の確保	7.6	9.2	8.3
20	高齢者や障害のある人への就労支援	9.8	10.8	7.5
21	生活困窮者への支援		7.9	8.7
22	その他	1.4	2.4	1.8
	無回答	15.4	5.0	38.3

2. 民生委員・児童委員

(注)(SA)は単数回答、(MA)は複数回答

令和4年調査の(MA)設問のうち、1位、2位、3位を選ぶ設問は<1位、2位、3位の回答数合計>

(%)

No.	問1 活動は何期目ですか(11月1日現在)。(SA)	平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)	令和4年 (n=130)
1	1期目	23.6	20.4	16.2
2	2期目	18.0	27.0	16.2
3	3期目以降	57.3	49.6	66.9
	無回答	1.1	2.9	0.8
No.	問2 現在の担当地区を教えてください。(SA)	平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)	令和4年 (n=130)
1	田無町	10.1	7.3	8.5
2	南町	7.9	6.6	4.6
3	西原町	5.6	3.6	3.8
4	緑町	3.4	2.2	2.3
5	谷戸町	7.9	8.0	6.2
6	北原町	2.2	2.2	2.3
7	向台町	5.6	5.8	6.2
8	芝久保町	6.7	8.0	8.5
9	新町	4.5	4.4	3.8
10	柳沢	3.4	6.6	5.4
11	東伏見	2.2	2.9	3.8
12	保谷町	5.6	5.1	6.2
13	富士町	2.2	5.8	5.4
14	中町	5.6	3.6	5.4
15	東町	4.5	4.4	4.6
16	泉町	2.2	3.6	2.3
17	住吉町	3.4	3.6	4.6
18	ひばりが丘	4.5	3.6	5.4
19	ひばりが丘北	0.0	2.2	3.1
20	栄町	1.1	1.5	0.8
21	北町	2.2	2.2	2.3
22	下保谷	3.4	3.6	4.6
	無回答	5.6	2.9	0.0
No.	問3 地域の課題を解決するために、行政(市、県、国などの行政機関)に相談したり、手助けを求めたりしたことがありますか。(SA)	平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)	令和4年 (n=130)
1	ある	80.9	62.0	73.8
2	ない	18.0	34.3	21.5
	無回答	1.1	3.6	4.6
No.	問4 現在の民生委員・児童委員活動をどのようにお考えですか。 ア 社会調査活動(SA)	平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)	令和4年 (n=130)
1	充実させる	16.9	11.7	15.4
2	現状で十分	74.2	71.5	76.9
3	多すぎる	4.5	8.8	6.2
	無回答	4.5	8.0	1.5
No.	問4 イ 相談活動(SA)	平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)	令和4年 (n=130)
1	充実させる	33.7	29.2	33.1
2	現状で十分	58.4	61.3	65.4
3	多すぎる	2.2	1.5	0.8
	無回答	5.6	8.0	0.8

No.	問 4 ウ 情報提供活動(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	充実させる	43.8	30.7	37.7
2	現状で十分	50.6	55.5	56.9
3	多すぎる	1.1	7.3	4.6
	無回答	4.5	6.6	0.8
No.	問 4 エ 連絡通報活動(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	充実させる	34.8	21.2	26.9
2	現状で十分	57.3	67.9	69.2
3	多すぎる	2.2	2.9	3.1
	無回答	5.6	8.0	0.8
No.	問 4 オ 調整活動(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	充実させる	16.9	14.6	17.7
2	現状で十分	71.9	71.5	79.2
3	多すぎる	4.5	4.4	2.3
	無回答	6.7	9.5	0.8
No.	問 4 カ 生活支援活動(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	充実させる	23.6	29.9	27.7
2	現状で十分	66.3	61.3	70.8
3	多すぎる	3.4	2.2	0.8
	無回答	6.7	6.6	0.8
No.	問 4 キ 意見具申活動(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	充実させる	28.1	23.4	24.6
2	現状で十分	62.9	66.4	73.8
3	多すぎる	3.4	2.9	0.8
	無回答	5.6	7.3	0.8
No.	問 6 担当地区において、課題に感じることは何ですか。(MA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	挨拶をしない人が多い	13.5	11.7	10.8
2	近所との交流が少ない	64.0	51.1	50.0
3	世代間の交流が少ない	52.8	55.5	54.6
4	地域の活動が活発でない	46.1	40.9	43.1
5	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	51.7	43.8	47.7
6	移動手段が整っていない	20.2	19.7	14.6
7	買い物へ行くのに不便を感じている		20.4	9.2
8	緊急時にどうしたらよいか分からない	42.7	22.6	27.7
9	治安が悪くなっている	6.7	2.9	3.1
10	地域から孤立している人がいる	31.5	25.5	26.9
11	必要な支援につながない人がいる	41.6	32.8	23.1
12	その他	10.1	5.8	6.2
13	特にない		1.5	4.6
	無回答	1.1	3.6	0.0

No.	問 7 担当地区の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	とても関心がある	2.2	1.5	3.8
2	ある程度関心がある	53.9	54.0	54.6
3	あまり関心がない	41.6	40.1	40.0
4	全く関心がない	1.1	0.7	0.8
	無回答	1.1	3.6	0.8
No.	問 8 担当地区に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。(MA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	高齢者のひとり暮らし世帯			77.7
2	寝たきりと思われる人		2.2	7.7
3	認知症と思われる人		32.8	42.3
4	病気療養中と思われる人		19.7	26.9
5	生活に困窮していると思われる人		13.1	16.9
6	大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)			13.8
7	高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)			42.3
8	近隣や地域と関わりを持たない人や世帯			46.2
9	高齢の親が同居する中高年の子どもの生活を支え、経済的に困窮している世帯(8050問題)			10.8
10	子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯(ダブルケア)			3.1
11	子どもが家族の介護などによって、自分の時間を持ってない世帯(ヤングケアラー)			16.9
12	家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待)			12.3
13	その他、複数の困り事や深刻な課題を抱えていると思われる世帯		16.1	13.1
14	いない		2.9	0.0
15	知らない		10.2	1.5
*	高齢者のみの世帯		73.0	
*	閉じこもりや引きこもりの人		26.3	
	無回答		2.9	2.3
No.	問 13 福祉に係る用語や市の事業等(以下の表)について知っていますか。 ア 成年後見制度(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	名前も内容も知っている	76.4	48.9	47.7
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	19.1	42.3	40.0
3	名前は知っているが、内容は知らない	3.4	7.3	11.5
4	名前も内容も知らない	0.0	1.5	0.0
	無回答	1.1	0.0	0.8
No.	問 13 イ 生活困窮者自立支援制度(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	名前も内容も知っている		27.0	29.2
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		54.0	50.0
3	名前は知っているが、内容は知らない		17.5	19.2
4	名前も内容も知らない		0.7	1.5
	無回答		0.7	0.0
No.	問 13 ウ 地域包括支援センター(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	名前も内容も知っている		78.1	86.2
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		20.4	13.8
3	名前は知っているが、内容は知らない		1.5	0.0
4	名前も内容も知らない		0.0	0.0
	無回答		0.0	0.0

No.	問 13 エ 西東京市社会福祉協議会(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	名前も内容も知っている	86.5	70.8	80.8
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	11.2	24.1	19.2
3	名前は知っているが、内容は知らない	0.0	5.1	0.0
4	名前も内容も知らない	0.0	0.0	0.0
	無回答	2.2	0.0	0.0
No.	問 13 オ ほっとするまちネットワークシステム(通称 ほっとネット)(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	名前も内容も知っている	46.1	33.6	56.9
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	34.8	43.8	36.9
3	名前は知っているが、内容は知らない	13.5	17.5	6.2
4	名前も内容も知らない	3.4	4.4	0.0
	無回答	2.2	0.7	0.0
No.	問 13 カ ふれあいのまちづくり住民懇談会(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	名前も内容も知っている	60.7	45.3	43.8
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	21.3	36.5	33.1
3	名前は知っているが、内容は知らない	13.5	16.8	16.2
4	名前も内容も知らない	2.2	1.5	6.9
	無回答	2.2	0.0	0.0
No.	問 13 キ ささえあいネットワーク(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	名前も内容も知っている	/	42.3	50.0
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		45.3	36.2
3	名前は知っているが、内容は知らない		12.4	13.8
4	名前も内容も知らない		0.0	0.0
	無回答		0.0	0.0
No.	問 14 市や関係機関が実施している事業(以下の表)について、民生委員・児童委員として相談や連携をしたことはありますか。ア ほっとネット推進員(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	知っており、関わったことがある	/	32.1	34.6
2	知っているが、関わったことはない		63.5	61.5
3	知らなかった		2.2	1.5
4	無回答		2.2	2.3
No.	問 14 イ ささえあい訪問協力員(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	知っており、関わったことがある	/	33.6	40.8
2	知っているが、関わったことはない		65.0	58.5
3	知らなかった		1.5	0.0
4	無回答		0.0	0.8
No.	問 14 ウ 地域福祉コーディネーター(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	知っており、関わったことがある	/	22.6	16.9
2	知っているが、関わったことはない		67.9	73.1
3	知らなかった		8.0	8.5
4	無回答		1.5	1.5
No.	問 14 エ 生活支援コーディネーター(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	知っており、関わったことがある	/	14.6	12.3
2	知っているが、関わったことはない		75.9	74.6
3	知らなかった		8.0	12.3
4	無回答		1.5	0.8

No.	問 14 オ 生活サポート相談窓口(SA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	知っており、関わったことがある		8.8	12.3
2	知っているが、関わったことはない		80.3	74.6
3	知らなかった		9.5	11.5
4	無回答		1.5	1.5
No.	問 15 担当地区は、高齢者、障害者、子どもなど、誰にとっても住みやすい地域とと思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	住みやすい	19.1	19.0	16.2
2	ふつう	59.6	65.0	75.4
3	住みにくい	19.1	13.1	7.7
	無回答	2.2	2.9	0.8
No.	付問《問 15 で「住みにくい」とお答えの方におたずねします》 住みにくいと思う理由は何ですか。(MA)	平成 24 年 (n=17)	平成 29 年 (n=18)	令和 4 年 (n=10)
1	地域住民の理解や協力が少ない	23.5	11.1	0.0
2	交通機関が不便・利用しにくい	52.9	44.4	40.0
3	買い物などが不便	47.1	38.9	50.0
4	生活の悩みを相談できる窓口が少ない	5.9	5.6	10.0
5	日常生活を支えるサービスが少ない	5.9	0.0	40.0
6	利用しやすい公共施設が少ない	35.3	44.4	40.0
7	道路の段差が多い・歩道が整備されていない	58.8	61.1	50.0
8	身近に働く場所が少ない	11.8	33.3	0.0
9	利用しやすい医療機関が少ない	0.0	11.1	10.0
10	機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない	23.5	16.7	0.0
11	防犯・防災対策が十分ではない	17.6	16.7	0.0
12	親子で遊べる場所が少ない	35.3	38.9	20.0
13	その他	5.9	0.0	10.0
	無回答	0.0	0.0	30.0
No.	問 18 地域の皆様からの、生活上の困り事の相談を受け付ける窓口として、「ほっとネットステーション」を設置しており、「地域福祉コーディネーター」が常駐しております。今後活動の中で地域の人の困り事を聞いたときに、相談してみたいと思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	相談したことがある		14.6	23.1
2	機会があれば相談してみたいと思う		66.3	65.4
3	関心はあるが、相談できるかは分からない		31.5	10.0
4	相談したいとは思わない		1.1	0.0
	無回答	1.1	0.0	1.5
No.	問 19 ほっとするまちネットワークシステム(通称 ほっとネット)の中で、地域の問題や課題を発見し、解決のために協力してくださる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	現在参加している		8.8	11.5
2	機会があれば参加してみたいと思う		24.7	22.3
3	関心はあるが、参加できるかは分からない		56.2	61.5
4	参加したいとは思わない		16.9	3.8
	無回答	2.2	0.0	0.8

No.	問 21 安心して暮らせるまちのために、住民参加の取組として、どのような活動が重要だと思いますか。(MA)	平成 24 年	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	地域での声かけ、見守り活動		83.2	52.2
2	高齢者のためのサロン		41.6	15.4
3	障害児・者のためのサロン		24.8	1.5
4	子育てのためのサロン		33.6	6.9
5	子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)		53.3	27.7
6	子どもたちの福祉の心を育てる活動		28.5	5.4
7	高齢者・親・子どもなどの世代間交流		50.4	37.0
8	障害児・者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動		40.1	7.0
9	防犯活動		41.6	10.0
10	災害時に助け合うための関係づくり		68.6	40.7
11	住民が参加しやすい場所、拠点づくり		40.1	43.0
12	日常のちょっとした困り事のお手伝い		46.0	22.3
13	言葉や文化の違いの理解を深める交流活動		13.1	4.6
14	中学生・高校生が自ら企画した地域活動		30.7	9.3
15	自分たちの活動を、分かりやすく情報発信するための活動		22.6	3.9
16	その他		1.5	2.3
17	住民参加の活動は必要ない		0.0	0.0
	無回答		1.5	10.7
No.	問 22 今後、地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(SA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	できるだけ地域の住民同士で協力して解決したい	10.1	9.5	5.4
2	行政や専門機関に解決してもらいたい	4.5	4.4	7.7
3	住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい	80.9	84.7	86.2
4	その他	1.1	0.7	0.0
	無回答	3.4	0.7	0.8
No.	問 23 市の地域福祉推進のために重要な取組は何ですか。(MA)	平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)	令和 4 年 (n=130)
1	学校における福祉教育の充実	22.5	16.1	9.2
2	福祉活動を行う人材の発掘	19.1	15.3	19.9
3	福祉活動を行う場所の増加	7.9	10.9	8.5
4	NPO等の活動支援	5.6	4.4	3.8
5	地域における連携体制づくり	38.2	41.6	43.1
6	出会いの場、話し合いの場づくり	19.1	14.6	17.0
7	地域における支え合い活動の促進	18.0	21.2	24.6
8	相談支援体制の充実	28.1	24.8	23.1
9	分かりやすい情報の提供	28.1	35.8	34.6
10	サービス利用者の権利擁護の確保	0.0	2.9	0.0
11	福祉サービスに結びつける仕組みづくり	5.6	10.9	16.2
12	多様な課題に対応する仕組みづくり	16.9	21.2	31.6
13	福祉サービスの質の向上	9.0	9.5	7.7
14	福祉専門職等の人材の確保・育成	10.1	14.6	7.7
15	多様な福祉サービス提供事業者の育成	7.9	8.0	7.7
16	防災対策の充実	16.9	23.4	13.8
17	防犯対策の充実	4.5	10.9	2.3
18	バリアフリーの推進	11.2	13.1	2.3
19	安全に移動できる手段の確保	9.0	10.9	4.6
20	高齢者や障害のある人への就労支援	13.5	7.3	6.1
21	生活困窮者への支援		7.3	6.1
22	その他	2.2	2.2	2.3
	無回答	1.1	2.2	7.7

地域福祉に係るアンケート調査結果報告書
(市民(18歳以上)、民生委員・児童委員)

発行・編集:西東京市健康福祉部地域共生課

発行年月日:令和5年3月

〒188-8666 東京都西東京市南町 5-6-13(田無第二庁舎1階)

電話 :042-420-2807(直通) FAX :042-420-2896

E-MAil:fukushisougou@city.nishitokyo.lg.jp